54－S004

社会福祉関連機関等における情報処理システムの研究開発

昭和55年３月

JIPDEC

財団法人　日本情報処理開発協会

JIPDEC
54
S004

この報告書は，日本自転車振興会から競輪収益の一部である機械工業振興資金の補助を受けて昭和54年度に実施した「社会福祉関連機関等における情報処理システムの研究開発」の成果をとりまとめたものであります。

序

高度経済成長時代から安定経済成長下における高福祉時代を迎えるにおよんで，国民の健康・福祉に関連のある各種公益的機関の機械化による運営の合理化に立遅れが散見され，社会福祉関連機関等における情報システムの研究開発に対する社会的要請は極めて大きいものがあります。

こうした社会的要望にこたえるため，社会福祉関連機関等公益的機関が共同で利用可能な情報システムを構築することにより，これらの機関が機械化を図る際に直面する人的・資金的等の面からの隘路を除去し，運営合理化に少しでも役立つよう研究開発に着手しました。

今年度は，昨年度実施した基本構想の検討，概略設計の成果を踏まえて，システム設計およびその一部についてプログラム作成を行ない，その成果を取りまとめました。

当事業は，有識者からなる「社会福祉関連機関等情報システム研究開発委員会」を設置して実施したものであり，ご協力いただいた委員ならびに関係各位に心から謝意を表しますとともに，この報告書が，社会福祉関連機関等のみならず各方面に利用されわが国の情報処理産業の発展の一助として寄与できれば幸です。

昭和55年3月

財団法人　日本情報処理開発協会

会長　上野幸七

社会福祉関連機関等情報処理
システム研究開発　委員会

（敬称略・50音順）

委員長	石井正躬	産業能率大学
委員	加藤　昭	〃
	紙谷和夫	〃
	水野　宰	（財）日本ユース・ホステル協会
	諸星利雄	〃
	佐内則夫	（財）日本情報処理開発協会
	難波正之	〃
事務局	（財）日本情報処理開発協会開発部	

目　　次

1. システムの概要 …… 1

1.1 システム開発の目的と方針 …… 1

1.2 システムの範囲，機能 …… 2

1.3 処 理 概 要 …… 3

2. システム設計 …… 15

2.1 システム仕様 …… 15

2.2 入 出 力 仕 様 …… 53

2.3 ファイル仕様 …… 72

2.4 コ ー ド 仕 様 …… 87

3. 実験モデル・システム …… 95

3.1 実験モデル・システムの概要 …… 95

3.2 実験モデル・システム・プログラム …… 105

付 録　図番・表番一覧表 …… 151

1. システムの概要

1.1　システム開発の目的と方針 …… 1

1.2　システムの範囲，機能 …… 2

1.3　処　理　概　要 …… 3

1. システムの概要

1.1 システム開発の目的と方針

最近におけるわが国の社会福祉指向にともない，とくに国民の健康・福祉に関連のある各種公益的機関において，コンピュータ，通信回線等の情報処理技術の利用による運営の合理化，サービスの向上が要請されている。しかしながら，これらの社会福祉関連機関等が単独で高度かつ複雑な情報システムを構築していくことは，人的にも資金的にも非常に困難であると考えられる。この様な現状に鑑み，これらの機関が共同で利用できる情報システムを構築し，開発，運営することにより運営の合理化，サービスの向上等を図ることを可能にし，健全な運営に資することを目的としている。

そこで，このシステム開発の目的を前提に社会福祉関連機関等における情報処理システムの開発に際しては，53年度に全国的規模で運営されている健康・福祉に関係ある公益的機関について事業内容，組織，情報システム化対象業務，情報システム化に対するニーズ等の調査を実施した。その結果，システム化の対象業務の範囲が広く，他の機関のモデルとなる業務を含んでいること，かつ，情報化のニーズが非常に高く，情報システムに積極的でありシステム化に際して協力が得られ易いという理由から，(財)日本ユース・ホステル協会を情報システム化のモデル機関と選定した。さらに，モデル機関について業務内容の細部にわたって調査・検討し，情報システムの基本構想の構築および概要設計を実施した。(詳細については，53年度報告書「社会福祉関連機関等における情報処理システムの研究開発」参照のこと。)引続き，本年度は，昨年度の成果を踏まえて，システムの設計を行なうとともに，将来の実用化のための実験モデルとして，その一部についてプログラムを作成した。

1.2　システムの範囲，機能

ユース・ホステル協会を円滑に運営するための業務は，大きく分けて，

会員に関する情報の登録管理業務

宿泊予約に関する情報の管理業務

経理に関する情報の管理業務

が挙げられる。これらの業務は，各業務の有機的関連を考慮して統合的システム化を推進し，簡素化，迅速化を図ることによりサービスの向上が求められているが，ここでは，ホステラーに対する直接的サービスの向上とユース・ホステルの稼動率の向上によるユース・ホステル活動の促進の面から，宿泊予約に関する業務のシステム化を取り上げている。そこで，宿泊予約受付業務の合理化すなわち，宿泊予約情報の正確，迅速な把握および宿泊案内サービスの質的向上により，宿泊利用サービスの向上とユース・ホステルの稼動率の向上を図るという観点からシステム化を行なっている。

なお，本システムに要求される機能としては，宿泊予約に関する情報の管理業務に対するシステム化ということから，当然次の様な機能が最少限必要である。

① 予約状況の問い合せ処理

② 宿泊予約処理

③ 予約した内容の取消し処理

④ 予約した内容の変更処理

⑤ 予約利用結果，入金状況の実績把握処理ができること

等である。

以上の機能を包含した宿泊情報管理システムを構築することにより，下記の効果が期待出来る。

① 予約状況の正確・迅速な把握により，ホステラーに対するサービスの向上が期待出来る。

② 予約状況の適確な把握およびユース・ホステルに対する迅速な連絡により，ユース・ホステルの設備，運営者（ヘルパー，アルバイト），材料手配等を

効率良く行なえ，稼動率，利益率の向上が期待出来る。

③　予約利用実績の正確な把握により，ホステラーの利用動向の把握が可能であり，ユース・ホステル事業の推進に資することが出来る。

1.3　処　理　概　要

本システムの対象となる宿泊情報管理業務は，宿泊予約受付業務と管理資料作成業務より構成される。

宿泊予約受付業務は，ホステラーからのユース・ホステルの予約状況の問い合せおよび予約の申し込みに対して，当該ユース・ホステルの予約利用状況を調べて，その状況を案内すると共に必要ならば，宿泊利用券（クーポン券）を発行する。この時，クーポン券と引換えに予約金等を受け取る。また，既に予約した分の取消し，変更も行なう。なお，予約，取消，変更の情報は，当該ユース・ホステルへ通知する。

管理資料作成業務は，運用および経理上必要と考えられる実績表および集計表作成である。

宿泊情報管理システムは，

予約状況案内処理サブシステム

宿泊予約処理サブシステム

管理資料作成サブシステム

より構成されている。処理と情報システムの関連を，図１－３－１宿泊情報管理システム処理概念図に示す。また各サブシステム毎の処理については，表１－３－１宿泊情報管理システムの構成に示すとおりであり，予約状況案内処理，宿泊予約処理は，オンライン処理で行ない，管理資料作成処理は，オフライン処理で行なわれる。

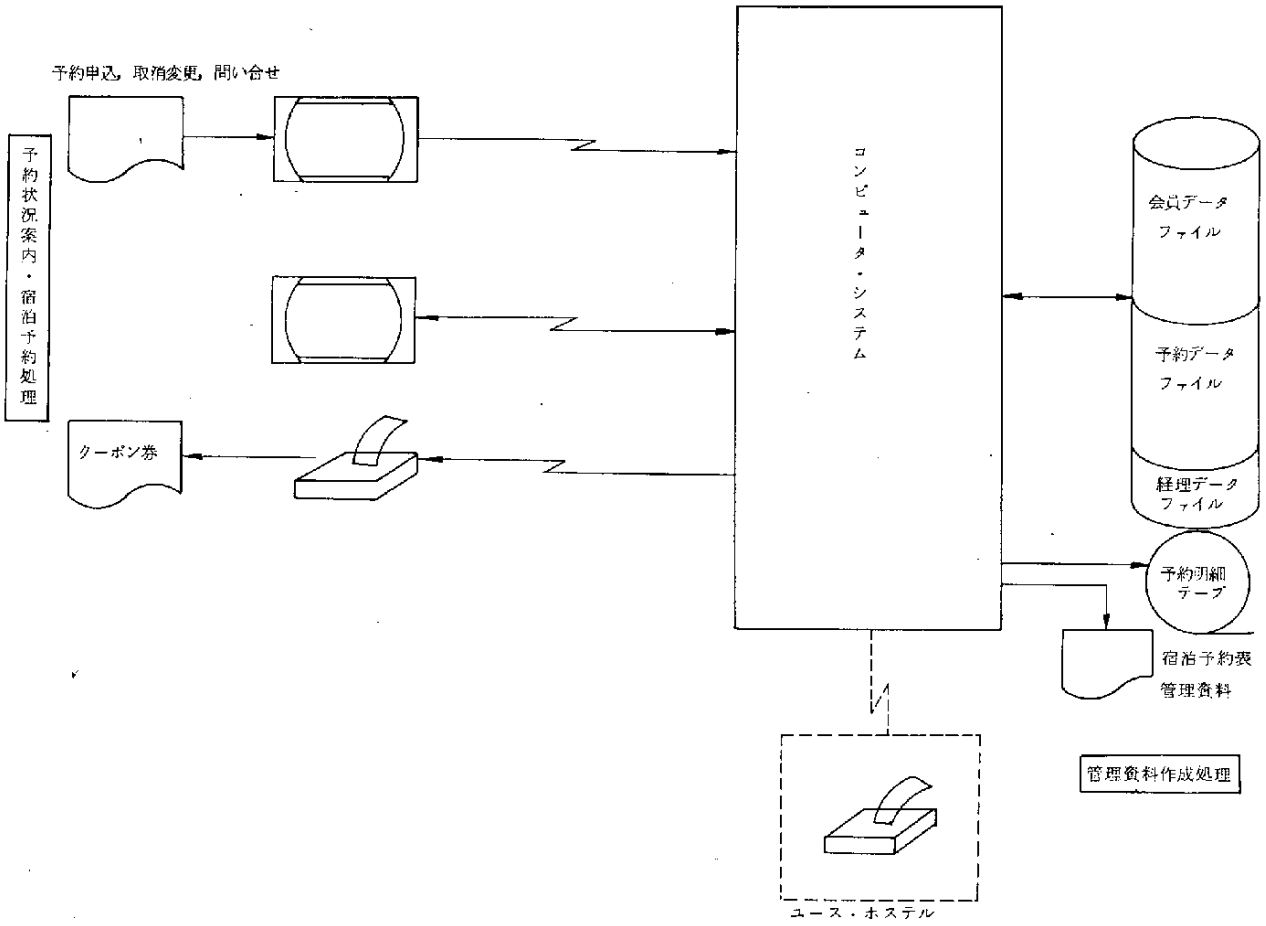


図１－３－１　宿泊情報管理システム処理概念図

表１－３－１　宿泊情報管理システムの構成

予約状況案内処理サブシステム	
	宿泊予約状況問い合せ処理 ユース・ホステル別，日別予約状況 日別，地区ユース・ホステル別予約状況
	行事予約状況問い合せ処理
宿泊予約処理サブシステム	
	宿泊予約・クーポン発行処理
	宿泊予約取消処理
	宿泊予約変更処理
	行事予約処理
	行事予約取消・変更処理
	予約データ・ファイル修正処理
	宿泊予約表作成処理
管理資料作成処理サブシステム	
	ユース・ホステル別予約利用実績表作成処理 案内所別処理別利用実績表作成処理 案内所別入金集計表作成処理 ユース・ホステル別入金集計表作成処理

次に，各サブシステムにおける処理について概要を述べる。

1） 予約状況案内処理サブシステム

予約状況案内処理サブシステムは，

宿泊予約状況問い合せ処理

行事予約状況問い合せ処理

より構成される。以下に各処理の概要について述べる。

イ） 宿泊予約状況問い合せ処理

宿泊予約状況問い合せ処理は，さらに次の処理に分かれている。すなわち，ユース・ホステル別，日別予約状況問い合せ処理と日別，地区ユース・ホステル別予約状況問い合せ処理である。

ユース・ホステル別，日別予約状況問い合せ処理は，ユース・ホステル毎の日別（ホステラーが指定した月日の前後）の予約可能数，予約数等の情報を知ることが出来る。

また，日別，地区ユース・ホステル別予約状況問い合せ処理は，ホステラーが指定した月日の指定地区のユース・ホステル（ホステラーの一日の行動半径内で代替宿泊可能なユース・ホステル）の予約可能数，予約数，食事の可否等の情報を知ることが出来る。これ等の情報により，ホステラーの旅行行動計画に対して適切なアドバイスが可能となる。

ロ） 行事予約状況問い合せ処理

行事予約状況問い合せ処理は，ホステラーからの行事予約に関する問い合せ案内のための処理であり，行事毎の予約状況（予約可能数，予約人数等）の情報を知ることが出来る。本処理で対象とする行事には，ユース・ホステル協会本部または支部主催の行事，ユース・ホステル主催，個人会員グループ主催の行事等が挙げられる。

本サブシステムの処理概念は，図１－３－２に示すとおりである。

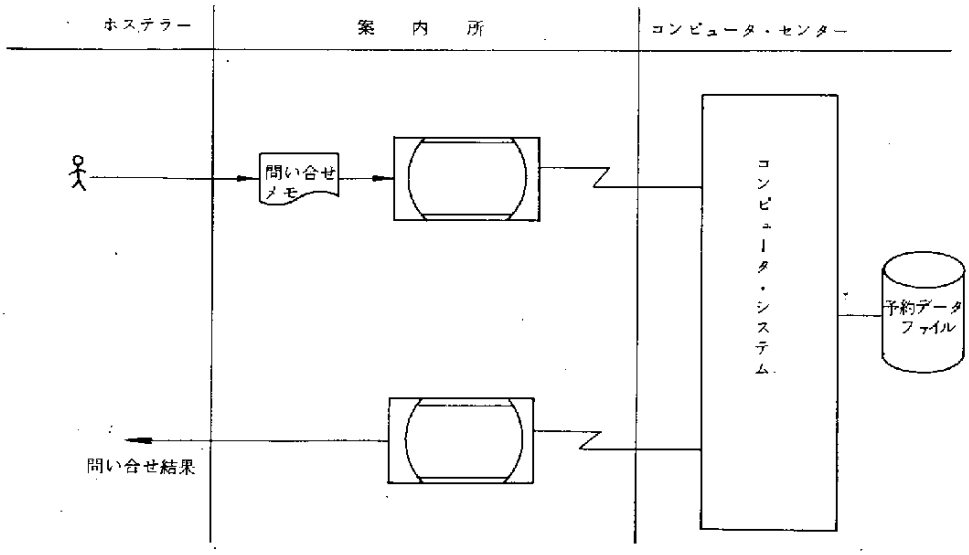


図１－３－２　宿泊予約状況問い合せ処理概念図

2) 宿泊予約処理サブシステム

宿泊予約処理サブシステムは,

宿泊予約・クーポン発行処理

宿泊予約取消処理

宿泊予約変更処理

行事予約処理

行事予約取消・変更処理

宿泊データ・ファイル修正処理

宿泊予約表作成処理

の処理より構成される。以下に各処理の概要について述べる。

イ） 宿泊予約・クーポン発行処理

宿泊予約・クーポン発行処理は，ホステラーからのユース・ホステル宿泊予約・変更申込書（図２－２－３を参照のこと。）による宿泊予約申込みがあった場合，宿泊予約希望日の当該ユース・ホステルの宿泊可否を調べ，宿泊可能な時は，宿泊利用券であるクーポン券を発行する処理である。すなわち，ホステラーは，案内所の窓口で，上述のユース・ホステル宿泊予約申込書に必要事項（宿泊利用希望月日，ユース・ホステルコード，宿泊人数，食事数および宿泊予約申込者の会員番号，氏名，住所等）を記入し，会員証を添えて窓口の担当者に提出する。案内所の窓口担当者は，会員証，宿泊予約申込書の記載内容を確認し，上記申込書の内容に従って端末装置より情報を入力し宿泊予約処理を行なう。宿泊予約希望の月日のユース・ホステルが宿泊可能な場合には，クーポン券を発行しホステラーへ渡す。また，宿泊不可の場合には，ホステラーにその旨を知らせる。以上の流れについて図示したのが，図１－３－３宿泊予約・クーポン発行処理概念図である。

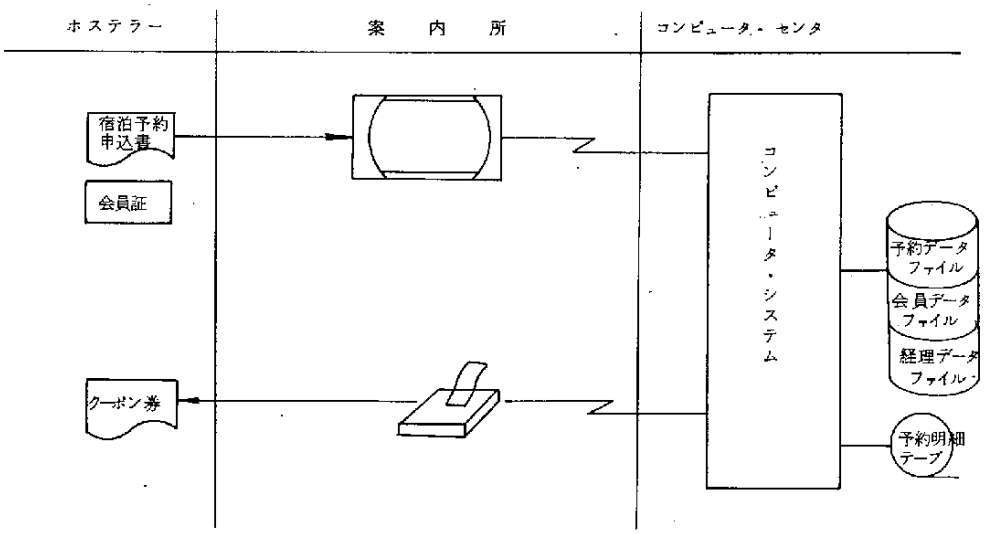


図１－３－３　宿泊予約・クーポン発行処理概念図

ロ) 宿泊予約取消処理

宿泊予約取消処理は，ホステラーからのユース・ホステル宿泊予約・変更申込書（図２－２－３を参照のこと。）による既に宿泊予約した分の予約取消し要求に対する処理である。すなわち，ホステラーは，案内所の窓口において，上述のユース・ホステル宿泊予約・変更申込書に必要事項（既に宿泊予約してある分の宿泊利用月日，ユース・ホステル・コード，宿泊人数，食事数に関する情報および取消処理を要求する宿泊利用月日，ユース・ホステルコードの欄の宿泊人数，食事数を＂００＂とする。）を記入し，宿泊予約処理時発行されたクーポン券および会員証を添えて，窓口担当者へ提出する。案内所の窓口担当者は，会員証，クーポン券および宿泊予約・変更申込書の記載内容を確認し，上記申込書の内容に従って端末装置より情報を入力し取消処理を行なう。取消処理を行なった結果については，端末装置に出力されるので，取消処理完了の旨をホステラーに知らせる。以上の流れについて図示したのが，図１－３－４宿泊予約取消処理概念図である。

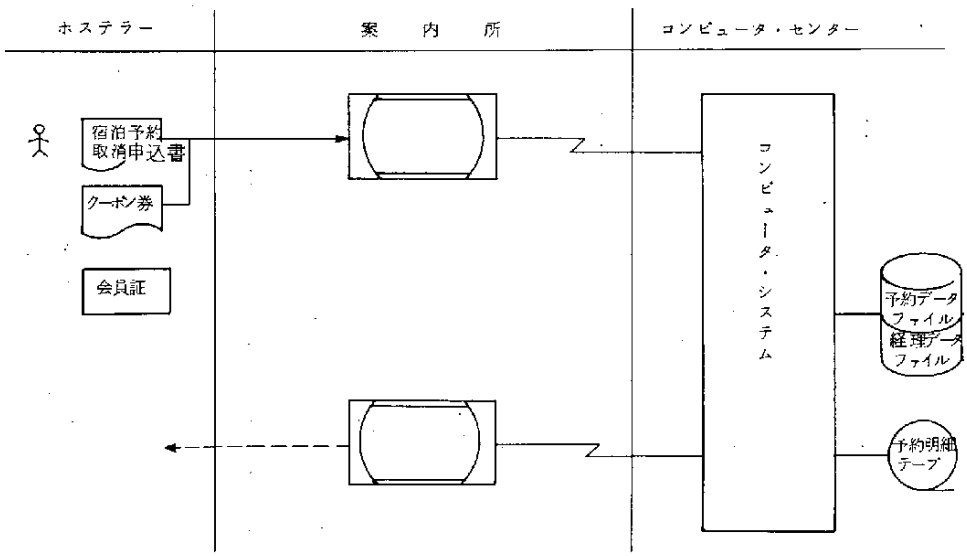


図１－３－４　宿泊予約取消処理概念図

ハ) 宿泊予約変更処理

宿泊予約変更処理は，ホステラーからのユース・ホステル宿泊予約・変更申込書（図２－２－３を参照のこと。）による既に宿泊予約した分の宿泊人数，食事数の変更要求に対する処理である。すなわち，ホステラーは，案内所の窓口において，上述のユース・ホステル宿泊予約・変更申込書に必要事項（既に宿泊予約してある分の宿泊利用月日，ユース・ホステル・コード，宿泊人数，食事数に関する情報および変更処理を要求する宿泊利用月日，ユース・ホステル・コード欄の宿泊人数，食事数に関する変更情報について）を記入し，宿泊予約処理時発行されたクーポン券および会員証を添えて窓口担当者へ提出する。案内所の窓口担当者は，会員証，クーポン券および宿泊予約・変更申込書の記載内容を確認し，上述の申込書の内容に従って端末装置より情報を入力し変更処理を行なう。変更処理を行なった当該ユース・ホステルのクーポン券は，端末装置に出力されホステラーに渡される。以上の流れについて図示したのが，図１－３－５宿泊予約変更処理概念図である。

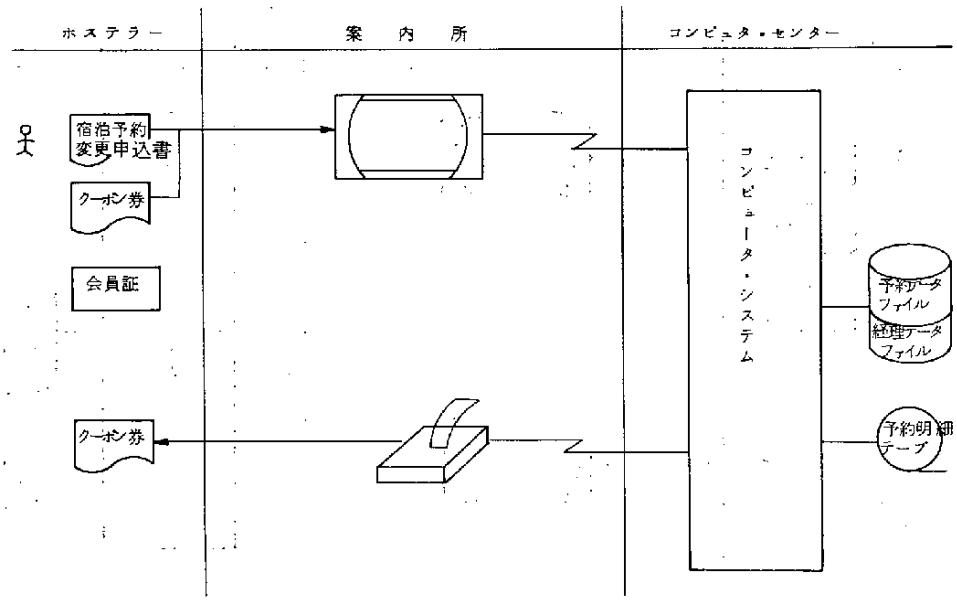


図１－３－５　宿泊予約変更処理概念図

ニ) 行事予約処理

行事予約処理は，ホステラーからの行事予約・変更申込書（図２－２－４を参照のこと。）による行事予約申込みがあった場合，予約希望行事の予約可否を調べ予約可能な時は，予約利用券であるクーポン券を発行する処理である。すなわち，ホステラーは，案内所の窓口において，上述の行事予約申込書に必要事項（予約希望の行事№，利用人数，食事数および行事予約申込者の会員番号，氏名，住所等）を記入し，会員証を添えて窓口の担当者に提出する。案内所の窓口担当者は，会員証，行事予約申込書の記載内容を確認し，上記申込書の内容に従って端末装置より情報を入力し行事予約処理を行なう。予約希望の行事が，予約可能な場合には，クーポン券を発行しホステラーへ渡す。また，予約不可の場合には，ホステラーにその旨を知らせる。以上の流れについて図示したのが，図１－３－６行事予約処理概念図である。

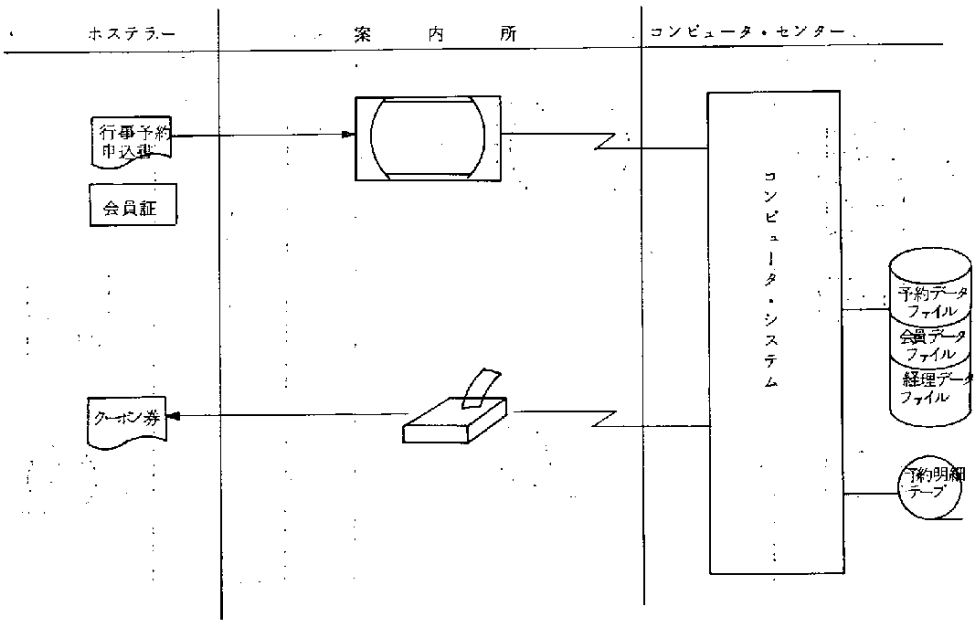


図１－３－６　行事予約処理概念図

ホ）行事予約取消・変更処理

行事予約取消・変更処理は，ホステラーからの行事予約・変更申込書（図２－２－４を参照のこと。）による既に予約した分の予約取消要求および利用人数，食事数の変更要求に対する処理である。すなわち，ホステラーは，案内所の窓口において，上述の行事予約・変更申込書に必要事項（既に予約してある行事№の宿泊人数，食事数の取消しまたは変更情報等）を記入し，行事予約処理発行されたクーポン券および会員証を添えて窓口担当者へ提出する。案内所の窓口担当者は，会員証，クーポン券および行事予約・変更申込書の記載内容を確認し，上述の申込書の内容に従って端末装置より情報を入力し，取消しまたは変更処理を行なう。変更処理を行なった当該行事№のクーポン券は，端末装置に出力されホステラーに渡される。以上の流れについて図示したのが，図１－３－７行事予約取消・変更処理概念図である。

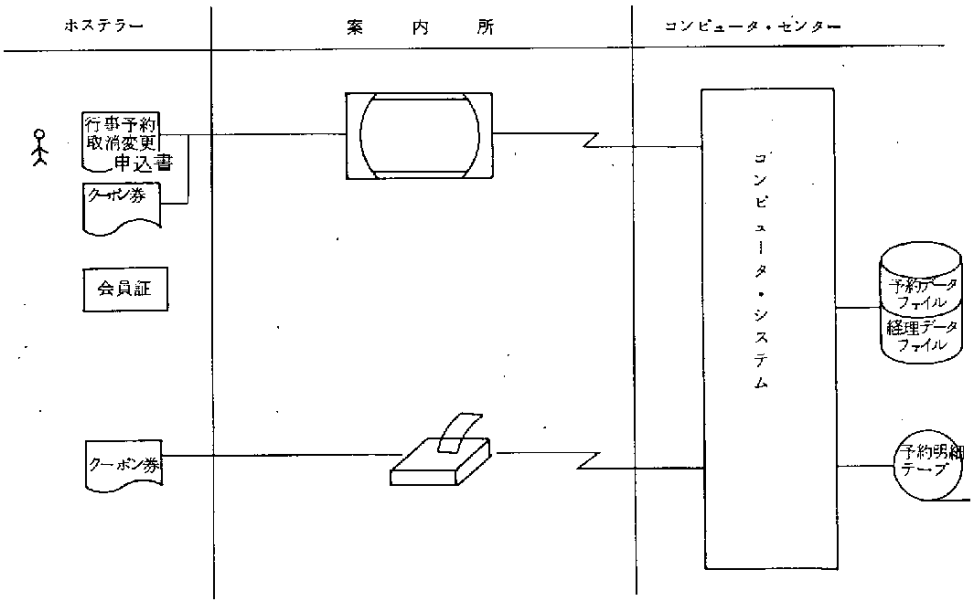


図１－３－７　行事予約取消・変更処理概念図

ヘ) 予約データ・ファイル修正処理

予約データ・ファイル修正処理は，運用上必要とされる処理である。たとえば，ユース・ホステルにおいて団体の予約申込みがあり，それを受付けたため，当該ユース・ホステルの収容可能人数に達した場合，当該ユース・ホステルからの要求により予約ファイルの宿泊可能数をゼロにし，システムによる予約処理を停止したりする場合に使用される。この様に，端末装置から直接宿泊データ・ファイルの内容を変更修正出来る処理である。特に，本処理については，特別に許可されたオペレータのみが処理可能な様に配慮する必要があり，パスワード方式を採用している。

ト) 宿泊予約表作成処理

宿泊予約表作成処理は，案内所にて宿泊予約を受付け，予約クーポン発行処理を行なった宿泊予約に関する情報および取消変更処理による宿泊予約変更情報を当該ユース・ホステルへ通知するための連絡表作成処理である。宿泊予約表は，一定のサイクル，例えば週2回程度作成し送付する。宿泊予約表の項目としては，宿泊月日，予約受付№，会員番号，宿泊人数，食事数連絡電話番号等である。なお，ユース・ホステルに本システムの端末装置が設置されている場合には，その内容が随時端末装置へ出力される。

3) 管理資料作成サブシステム

管理資料作成サブシステムによって作成される管理資料は，運用関係と経理関係に分けることが出来る。

運用関係資料としては，

ユース・ホステル別予約利用実績表

案内別，処理別利用実績表がある。

経理関係資料には，

案内所別入金集計表

ユース・ホステル別入金集計表がある。

2. システム設計

2.1 システム仕様 …… 15

2.2 入出力仕様 …… 53

2.3 ファイル仕様 …… 72

2.4 コード仕様 …… 87

2. システム設計

2.1 システム仕様

本情報システムは，前章にて記述した如く3種類のサブシステムより構成される。以下に各サブシステムの処理内容について述べる。

1) 予約状況案内処理サブシステム

予約状況案内処理サブシステムは，宿泊予約状況問い合せ処理および行事予約状況問い合せ処理より構成される。

イ) 宿泊予約状況問い合せ処理

宿泊予約状況問い合せ処理には，ユース・ホステル別，日別予約状況に関する処理と日別，地区ユース・ホステル別予約状況に関する処理がある。以下それぞれについて述べる。

(1) ユース・ホステル別，日別予約状況

本処理は，ホステラーが宿泊希望するユース・ホステルの希望日前後最大10日間の予約に関する利用状況データを知り，ホステラーへ適切なアドバイスをするためのものである。

本処理の流れは次のとおりである。

① ホステラーが，案内所窓口の係員に口頭にて問い合せ希望ユース・ホステル名または，ユース・ホステルコードおよび希望月日を伝える。担当者は，その内容によりメモを作成する。

② 担当者は，そのメモにより端末装置に本処理要求のための処理コード(11)，ユース・ホステルコードおよび希望月日の前後の月日(○月×日～○月△日)を入力する。図2－1－1に入力例を示す。

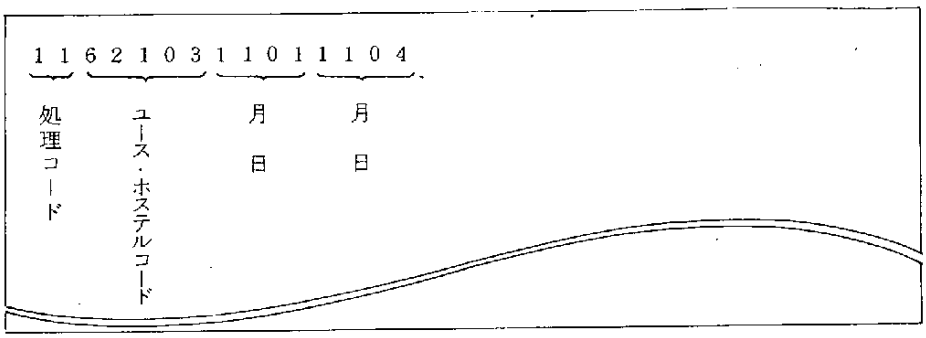


図２－１－１　ユース・ホステル別，日別予約状況処理入力例

③　上記入力された項目，桁数のチェックを行なう。

④　正しく入力された場合は，予約ファイルより該当ユース・ホステルの指示月日のデータを表示する。図２－１－２に表示例を示す（表示装置の仕様については，2.2入出力仕様を参照のこと。）。エラーがある場合は，エラーを表示する。

```
11                ヨヤク　ジョウキョウ          62103←ユース・ホステルコード
                                                ウタノYH←ユース・ホステル名

  ツキヒ    カノウスウ    オトコ    オンナ    ヨヤクスウ
 11.01.      67.      26.      41.      60.      45.
 11.02.      47.      11.      36.      75.      50.
 11.03.       0.       0.       0.      86.      86.
 11.04.       0.       0.       0.      86.      86.

   ↑          ↑        ↑        ↑        ↑        ↑
  月日    可能数(計)    男       女       男       女
```

（表示文字数 32×16）

図２－１－２　ユース・ホステル別，日別予約状況表示例

⑤　上記表示例に示す様な表示内容を参照しながら応対し，ホステラーの

希望している宿泊行動計画の手助けをする。すなわち，例では11月３日と４日が満員となっているが，11月１日と２日にはまだ余裕があるので，予約可能であることが分り，ホステラーにその旨を伝え行動計画作成のアドバイスを行なうことが出来る。

本処理のシステム・フローは，図２－１－３に示すとおりである。

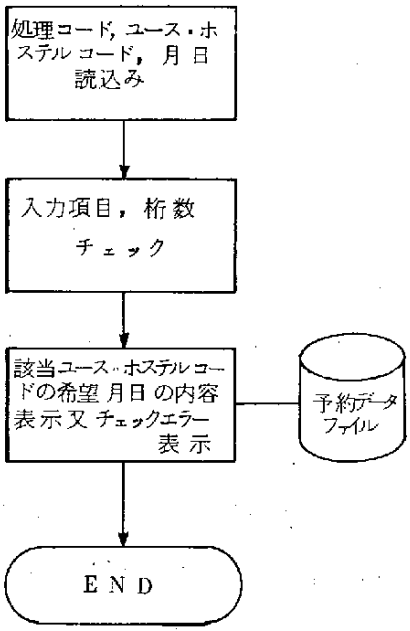


図２－１－３　ユース・ホステル別，日別予約状況処理システム・フロー

(2)　日別，地区ユース・ホステル別予約状況

本処理は，ホステラーが宿泊希望する月日の指定する地区のユース・ホステルの予約に関する利用状況データを知り，ホステラーへ適切なアドバイスをするためのものである。

本処理の流れは次のとおりである。

①　ホステラーが，案内所窓口の係員に口頭にて問い合せ希望の日付（月，日）と問い合せ地区（ユース・ホステル・コードの上３桁）を伝える。担当者は，その内容によりメモを作成する。

② 担当者は，そのメモにより端末装置に本処理要求のための処理コード（12），地区コード（入力するコードは，ユース・ホステル・コードの上3桁であり，下2桁は"00"である。）および希望月日を入力する。図2－1－4に入力例を示す。

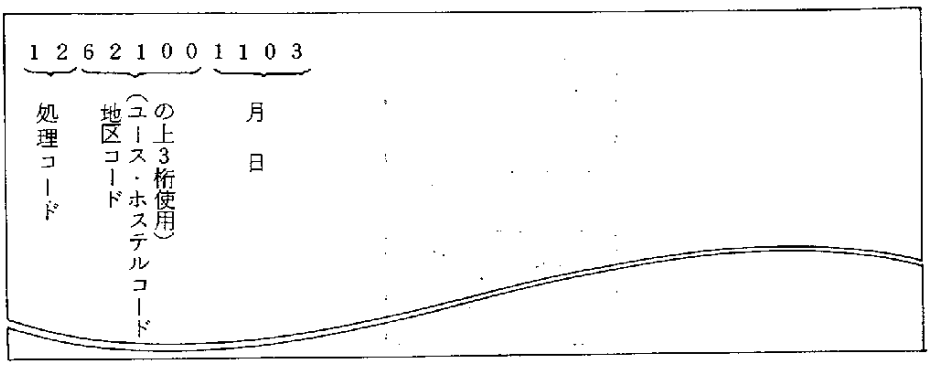


図2－1－4　日別，地区ユース・ホステル別予約状況処理入力例

③ 上記入力された項目，桁数のチェックを行なう。

④ 正しく入力された場合は，予約ファイルより該当地区に含まれるユース・ホステルの指定月日の予約利用状況データを表示する。表示例を図2－1－5に示す。エラーがある場合は，エラーを表示する。

12　　ヨヤク　ジョウキョウ　　62100←地区コード
11－03←月 日

YHコード	カノウスウ	オトコ	オンナ	ヨヤクスウ	
62101.	17.	10.	7.	10.	13.
62102.	35.	14.	21.	42.	35.
62103.	0.	0.	0.	86.	86.
62104.	0.	0.	0.	19.	19.
62105.	0.	0.	0.	5.	10.
62106.	3.	0.	3.	10.	10.
↑	↑	↑	↑	↑	↑
ユース・ホステルコード	可能数（計）	男	女	男	女

図2－1－5　日別，地区ユース・ホステル別予約状況表示例

⑤　上記表示例に示す様な表示内容を参照しながら応対し，ホステラーの希望している宿泊行動計画の手助けをする。すなわち，例ではユース・ホステル・コード62101，62102，62106の3つのユース・ホステルにまだ空があることが分り，ホステラーにその旨を伝え，行動計画作成のアドバイスを行なうことが出来る。

本処理のシステム・フローは，図2－1－6に示すとおりである。

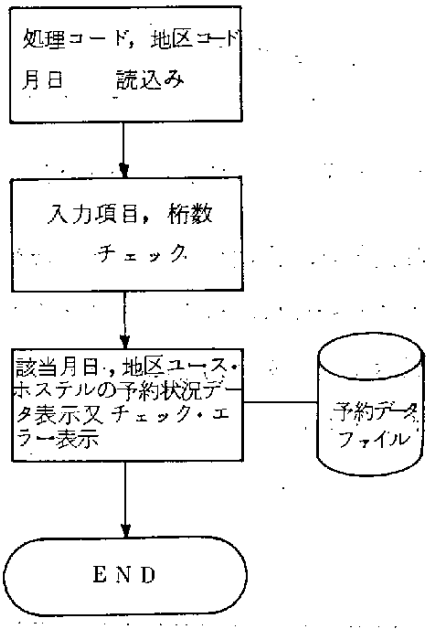


図2－1－6　日別，地区ユース・ホステル別予約状況処理システム・フロー

ロ）行事予約状況問い合せ処理

行事予約状況問い合せ処理は，ホステラーが予約希望する行事の予約に関する利用状況データを知り，ホステラーへ情報案内サービスするためのものである。

本処理の流れは次のとおりである。

①　ホステラーが，案内所窓口の係員に口頭にて問い合せ希望の行事№を伝える。担当者は，その内容によりメモを作成する。

② 担当者は，そのメモにより端末装置に本処理要求のための処理コード（13），および問い合せ希望行事№（各行事主催者からの申込み受付順に付した番号）を入力する。図２－１－７に入力例を示す。

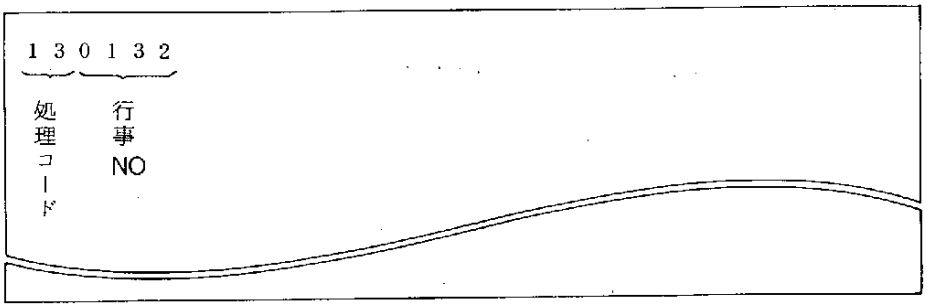


図２－１－７　行事予約状況問い合せ処理入力例

③ 上記入力された項目，桁数のチェックを行なう。

④ 正しく入力された場合は，行事予約ファイルより該当行事№の予約利用状況データを表示する。表示例を図２－１－８に示す。エラーがある場合は，エラーを表示する。

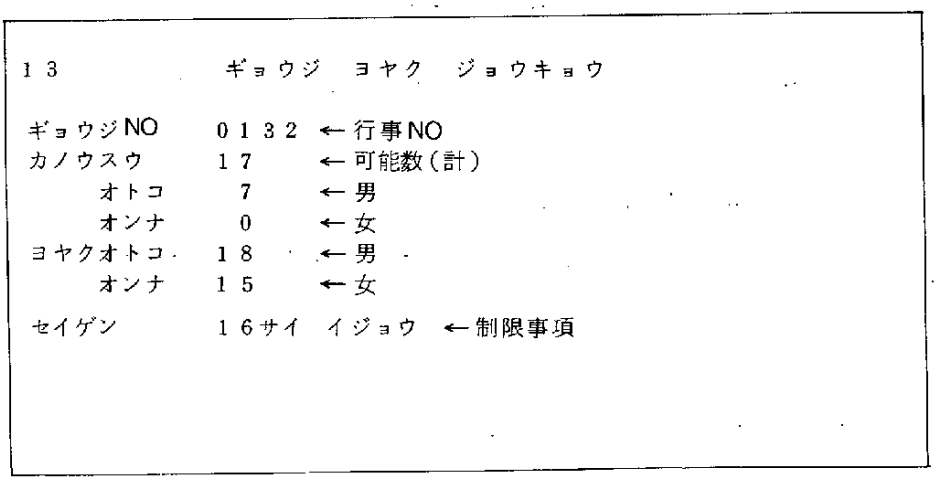


図２－１－８　行事予約状況問い合せ処理表示例

⑤　上記表示例に示す様な表示内容を参照しながら応対する。すなわち，例では行事№ 0132 の予約状況は，まだ余裕があり男７名，女10名まで予約が可能であることが分り，ホステラーにその旨伝え，計画立案の手助けをする。ちなみに，行事として考えられる例を，表２－１－１行事の種類に示す。

本処理のシステム・フローは，図２－１－９に示すとおりである。

表２－１－１　行事の種類

行　事　主　体

- 協会本部主催
- 支部協会主催
- ユース・ホステル主催
- 個人グループ主催

行　事　形　態

- ユース・ラリー
- ハイキング
- スキー
- スケート
- 史蹟巡り
- ナシ・クリ・ブドウ狩等
- 景勝地観光
- 寺社巡り
- 各種観賞会
- テニス
- キャンプ
- 海水浴
- 山登り
- オリエンテーリング
- 研修
- 各種スポーツ合宿

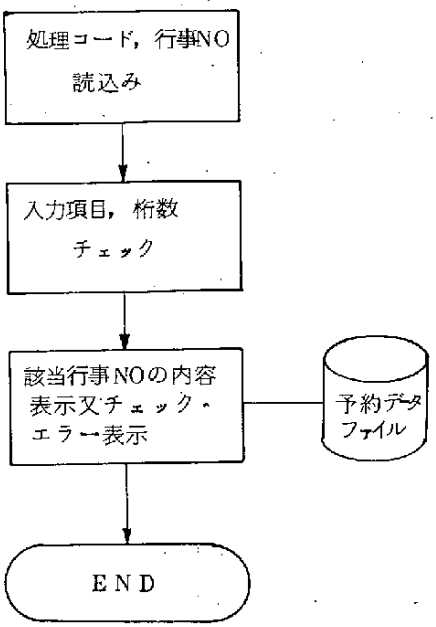


図２－１－９　行事予約状況問い合せ処理システム・フロー

2)　宿泊予約処理サブシステム

宿泊予約処理サブシステムは，

宿泊予約・クーポン発行処理

宿泊予約取消処理

宿泊予約変更処理

行事予約処理

行事予約取消・変更処理

予約データ・ファイル修正処理

宿泊予約表作成

の処理より構成される。

イ)　宿泊予約・クーポン発行処理

宿泊予約・クーポン発行処理は，ホステラーからの宿泊予約申込みに対して，予約受付けおよびクーポン券発行に関する処理である。

本処理の流れは，次のとおりである。

① ホステラーが，案内所窓口に置かれた「ユース・ホステル宿泊予約・変更申込書」（図２－２－３を参照のこと。）に必要事項（会員番号，宿泊利用月日，ユース・ホステルコード，宿泊人数，食事数，到着時間，申込者住所，氏名，電話番号，グループ申込みの時は，グループ・メンバーの会員番号－４人まで－等）を記入の上，会員証を添えて案内所窓口の係員へ提出する。

② 担当者は，その提出された上記予約申込書に記載もれ誤りがないか否か，チェックする。

③ 宿泊予約・変更申込書に記載もれ誤りがない場合は，担当者は，端末装置に予約処理要求のための処理コード（21）と当該案内所コードを入力する。図２－１－10に入力例を示す。なお，記載もれまたは誤記入があった場合は，その旨ホステラーへ知らせる。

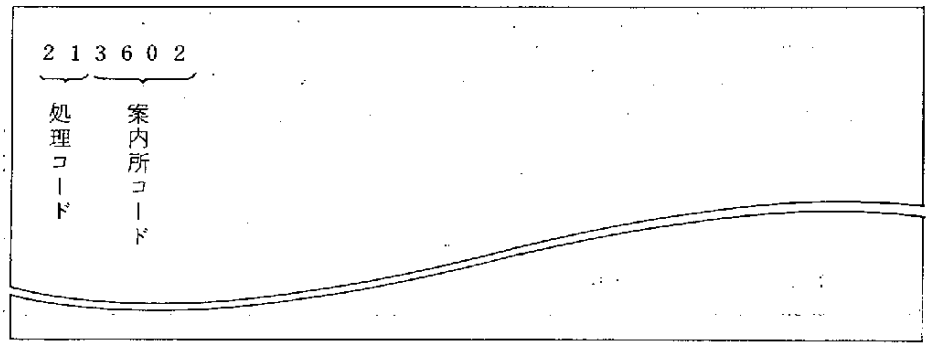


図２－１－10　宿泊予約・クーポン発行処理入力例

④ 上記処理コード（21）案内所コードの入力により，宿泊予約処理用の入力フォーマットが表示される。入力フォーマットは，図２－１－11 宿泊予約処理入力フォーマット図に示すとおりである。

⑤ 表示画面の入力フォーマットに従って，当該予約申込書のデータを入力する。入力例は，図２－１－12 宿泊予約処理データ入力例に示すとおりである。

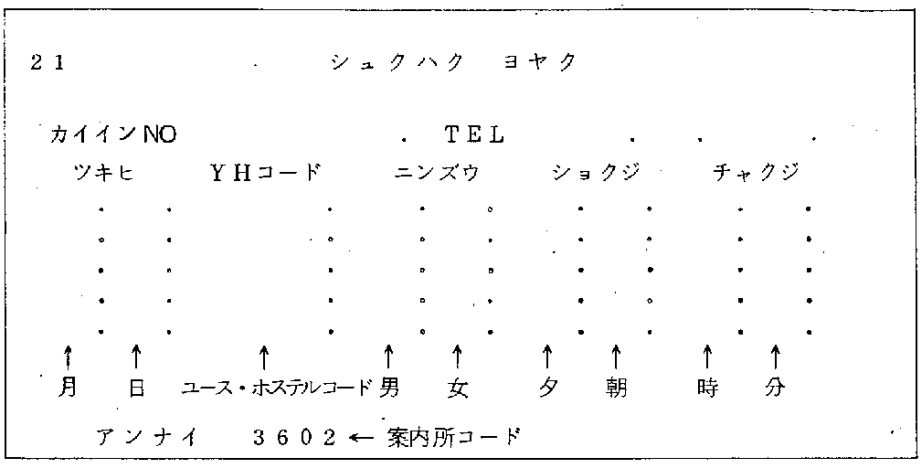


図２－１－11　宿泊予約処理入力フォーマット

```
21                シュクハク　ヨヤク

カイインNO 36301021. TEL 0468.70.2153.
 ツキヒ    YHコード   ニンズウ    ショクジ    チャクジ
11.02.  62101.   3. 0.   3. 3.  18.00.
11.03.  62202.   3. 0.   3. 3.  17.30.
11.04.  62301.   3. 0.   3. 3.  18.00.
  .  .     .    .  .    .  .    .  .
  .  .     .    .  .    .  .    .  .


   アンナイ     3602
```

図２－１－12　宿泊予約処理データ入力例

⑥　⑤にて入力された宿泊予約申込データのデータ項目，桁数，会員番号等のチェックを行なう。

⑦　正しく入力された場合は，予約ファイルの該当ユース・ホステルの空状況のチェック（該当ユース・ホステルの宿泊可能数，一原則としてユース・ホステル保有の全ベット数を登録する一と申込予約人数とのチェック）を行

なう。

⑧ 予約可能な場合は，入力した時の表示面をそのまま保持する。予約申込みデータの中に一部予約不可があった場合は，入力（表示）データの後へ予約不可のマークを表示（＊＊＊）を表示する。

⑨ 担当者は，ホステラーに表示面の内容に基づき予約の可否を知らせる。特に予約申込みしたユース・ホステルの内，一部のユース・ホステルが予約不可の場合は，その予約不可のユース・ホステルを除いた残りのユース・ホステルについてのクーポン発行を行なうか否か確認する。クーポンを発行する場合は，確認キー（クーポン発行ファンクション・キー）を入力する。また，取消す場合は，キャンセル（取消）キーを入力する。

⑩ 確認キーが入力されると，予約ファイル，予約受付ファイルに，予約申込データを登録する。また，予約明細テープへも上記データを登録する。登録項目，内容の明細については，下記に示すとおりである。また，予約金等の経理データは経理ファイルへ登録する。この確認キーの入力により予約受付№が端末装置へ出力される。

ⓐ 予約ファイルの該当ユース・ホステルコードおよび該当利用月日欄

宿泊可能数（合計，男，女）
予約数（合計，男，女）
食　事（夕，朝）
} の項目へ登録

ⓑ 予約受付ファイル

予約受付№
会員番号
取扱案内所コード
宿泊月日
ユース・ホステルコード
予約数（男，女）
食　事（夕，朝）
} の項目へ登録

予約金

ⓒ　予約明細テープへ予約データ登録

予約取扱月日（予約）
予約受付No.
会員番号
宿泊月日
ユース・ホステルコード
予約数　　（男，女）
食　事　　（夕，朝）
　の項目へ登録

⑪　予約可能なユース・ホステルのクーポン券（図２－２－５を参照のこと。）を発行する。クーポン券は，ユース・ホステル単位に予約受付番号が付加され作成される。そのクーポン券と会員証をホステラーへ渡す。

本処理のシステム・フローは，図２－１－13に示すとおりである。

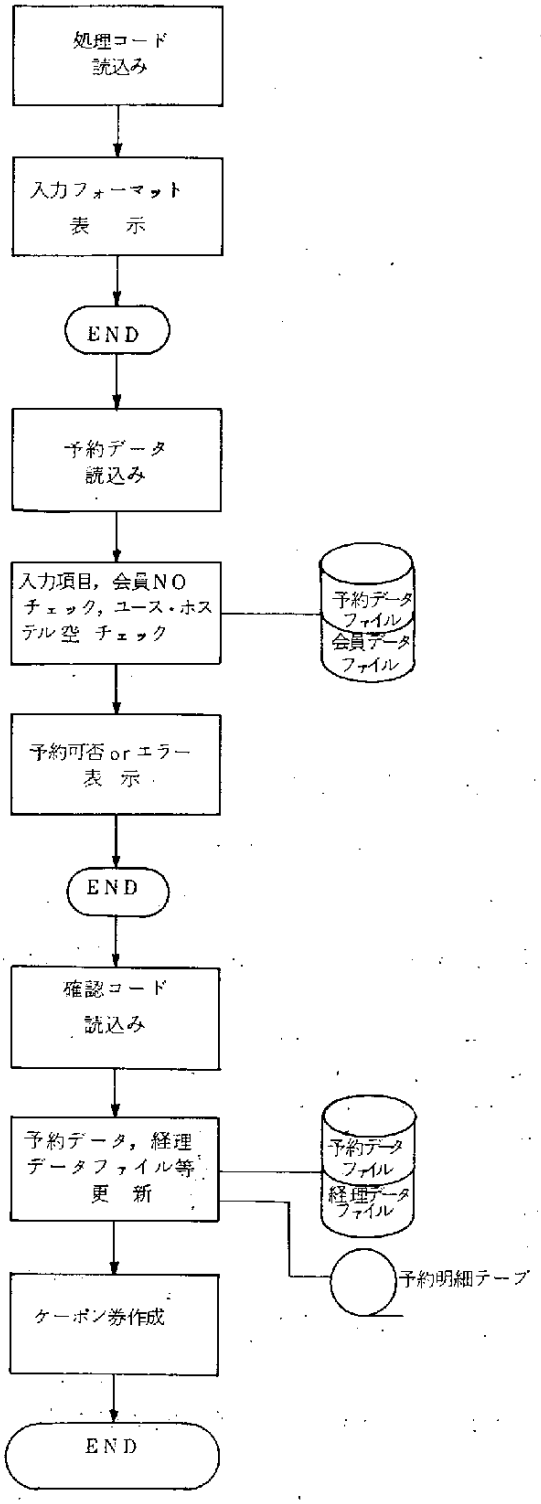


図２－１－13　宿泊予約・クーポン発行処理システム・フロー

ロ) 宿泊予約取消処理

宿泊予約取消処理は，ホステラーからの既に予約・クーポン発行処理済分に対するホステラーからの取消要求に関する処理である。

本処理の流れは，次のとおりである。

① ホステラーが，案内所窓口に置かれた「ユース・ホステル宿泊予約・変更申込書」（図２－２－３を参照のこと。）に必要事項（会員番号，申込者住所氏名，宿泊予約申込みした時の宿泊用月日，ユース・ホステルコード，宿泊人数，食事数等および取消を希望する該当宿泊月日，該当ユース・ホステルコード欄の宿泊人数，食事数を＂０＂とする。）を記入の上，会員証，予約した時受取ったクーポン券を添えて案内所窓口の係員へ提出する。

② 担当者は，その提出された上記予約取消申込書に記載され，誤りがないか否かチェックする。

③ 当該宿泊予約・取消申込書に記載もれ，誤りがない場合は，担当者は，端末装置に予約取消処理要求のための処理コード（22），予約受付№，会員番号，案内所コードを入力する。図２－１－14 に入力例を示す。なお，記載もれまたは誤記入があった場合は，その旨をホステラーへ知らせる。

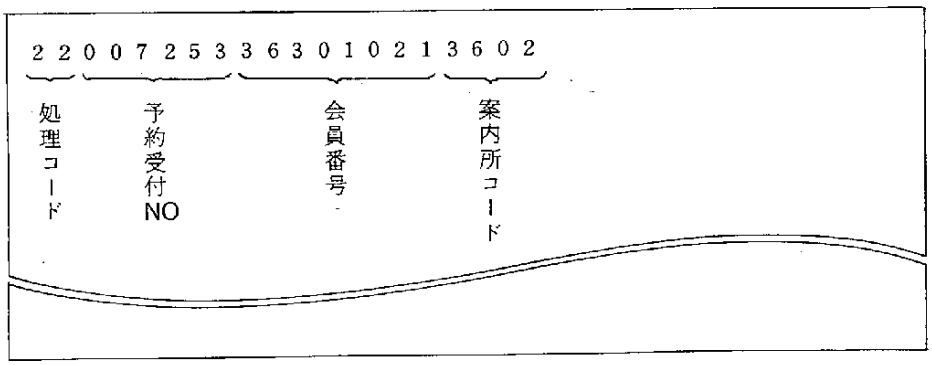


図２－１－14　宿泊予約取消処理入力例－１

④ 上記処理コード（22），予約受付№，会員番号，案内所コードの入力に

より，既に予約受付処理を行なったデータの内容が表示される。表示例を図２－１－15に示す。

```
２２                 シュクハク　ヨヤク　トリケシ

 ヨヤクNO ００７２５３．　カイインNO ３６３０１０２１．
 ツキヒ      YHコード      ニンズウ      ショクジ      ニンズウ
１１．０２。  ６２１０１．  ３．０．  ３．０．  ．　．
１１．０３。  ６２２０２．  ３．０．  ３．０．  ．　．
１１．０４．  ６２３０１．  ３。０。  ３．０．  ．　．
   ↑          ↑        ↑  ↑    ↑  ↑    ↑  ↑
   月    ユース・ホステルコード 男  女    夕  朝    男  女
   日
     アンナイ　３６０２ ← 案内所コード
```

図２－１－15　宿泊予約取消処理表示例

⑤　表示された予約済の内容を確認し，当該宿泊予約・変更申込書の内容に従って，該当宿泊月日，該当ユース・ホステルコード欄の取消し宿泊人数の入力項目欄に"０"を入力する。入力例は，図２－１－16に示すとおりである。

```
２２                 シュクハク　ヨヤク　トリケシ

 ヨヤクNO ００７２５３．　カイインNO ３６３０１０２１．
 ツキヒ      YHコード      ニンズウ      ショクジ      ニンズウ
１１．０２。  ６２１０１．  ３．０．  ３．０．  ３．０．
１１．０３．  ６２２０２．  ３．０。  ３．０．  ３．０．
１１。０４．  ６２３０１。  ３．０．  ３．０．  ０．０．

     アンナイ　３６０２
```

図２－１－16　宿泊予約取消処理入力例－２

ⓐ 予約ファイルの該当ユース・ホステルコードおよび該当利月日欄

宿泊可能数　（合計，男，女）
予約数　　（合計，男，女）
食　事　　（夕，朝）
} の項目の内容　修正

ⓑ 予約受付ファイルの該当予約受付№，宿泊月日，ユース・ホステルコード欄

予約数　　（男，女）
食　事　　（夕，朝）
予約金
払戻金
} の項目の内容　修正

ⓒ 予約明細テープへ取消データ登録

予約取扱月日（取消）
予約受付№
会員番号
宿泊月日
ユース・ホステルコード
予約数　　（男，女）
食　事　　（夕，朝）
} の項目の内容　0を登録

⑥ 入力されたデータにより，予約ファイルの該当ユース・ホステルコードおよび利用月日欄の宿泊可能数，宿泊予約人数，食事数の項目の数字を修正する。また，予約受付ファイルの該当受付№，宿泊月日，ユース・ホステルコード欄の予約人数，食事数の項目の内容を"0"とする。さらに，そのデータの内容を予約明細テープへ登録する。登録修正処理等の項目，内容の明細については，下記に示すとおりである。また，予約取消料等の経理データは，経理ファイルへ登録する。

⑦ 予約取消処理が終了すると，会員証と取消処理した分以外の予約クーポン券をホステラーへ渡す。

本処理のシステム・フローは，図２－１－１７に示すとおりである。

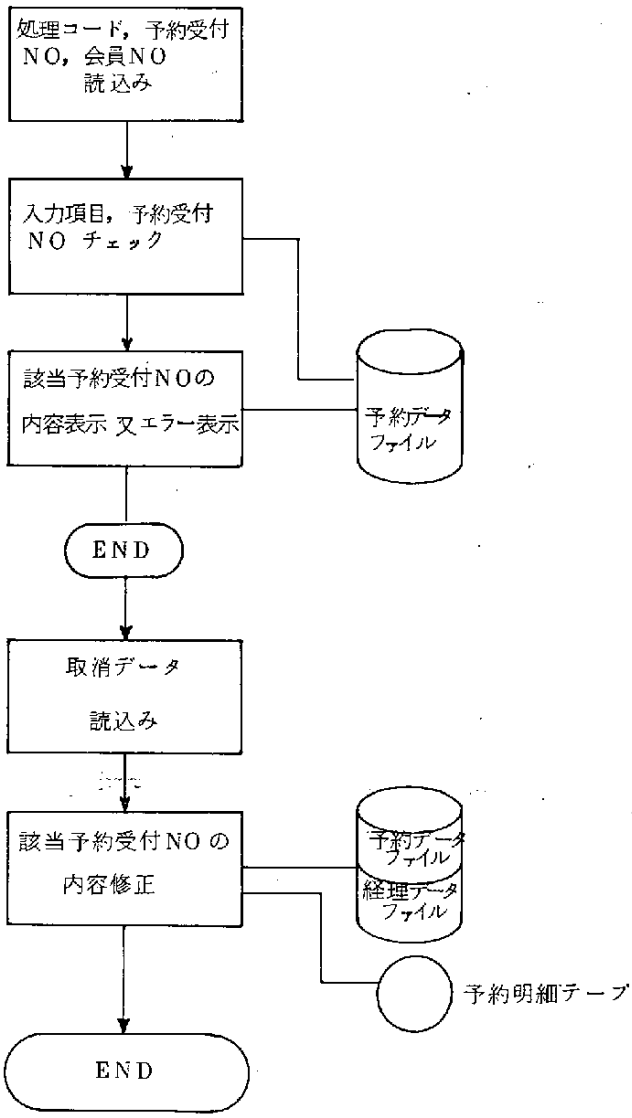


図２－１－１７　宿泊予約取消処理システム・フロー

ハ）宿泊予約変更処理

宿泊予約変更処理は，ホステラーからの既に予約・クーポン発行処理済分に対するホステラーからの変更要求に関する処理である。本処理は，予約人

数と食事数の変更のみ取扱い，ユース・ホステムおよび宿泊予約月日の変更は，取消処理を行なった後，改めて予約処理を行なう。

本処理の流れは，次のとおりである。

① ホステラーが，案内所窓口に置かれた「ユース・ホステル宿泊予約・変更申込書」（図２－２－３を参照のこと。）に必要事項（宿泊予約申込みした時の宿泊利用月日，ユース・ホステルコード，宿泊人数，食事数等および変更を希望する該当宿泊月日，該当ユース・ホステルコード欄の宿泊人数，食事数，到着時間）を記入の上，会員証，予約した時受取ったクーポン券を添えて案内所窓口の係員へ提出する。

② 担当者は，その提出された上記予約変更申込書に記載もれ，誤りがないか否かチェックする。

③ 宿泊予約・変更申込書に記載もれ，誤りがない場合は，担当者は，端末装置に予約変更処理要求のための処理コード（23），予約受付№，会員番号，案内所コードを入力する。図２－１－18に入力例を示す。なお，記載もれまたは誤記入があった場合は，その旨ホステラーへ知らせる。

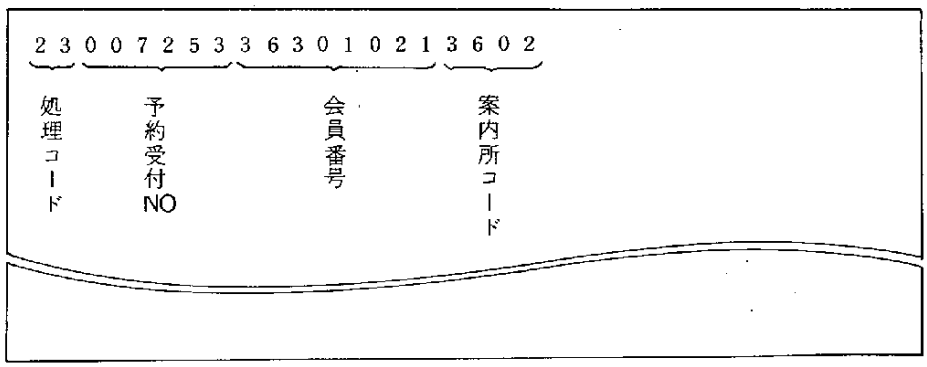


図２－１－18　宿泊予約変更処理入力例－１

④ 上記処理コード（23），予約受付№，会員番号，案内所コードの入力により，既に予約受付処理を行なったデータの内容が表示される。表示例を図２－１－19に示す。

```
23              シュクハク  ヨヤク  ヘンコウ

 ヨヤクNO 0072 53.  カイインNO 3630 1021.
 ツキヒ    YHコード   ニンズウ   ショクジ   ニンズウ   ショクジ
11.02.  62101.   3.  0.   3.  0.    .   .    .   .
11.03.  62202.   3.  0.   3.  0.    .   .    .   .
11.04.  62301.   3.  0.   3.  0.    .   .    .   .



      アンナイ   3602
```

図２－１－１９　宿泊予約変更処理表示例

⑤　表示された予約済の内容を確認し，当該予約変更申込書の内容に従って，該当宿泊月日，ユース・ホステルコード欄の変更宿泊人数，食事数の入力項目欄に変更希望数を入力する。入力例は，図２－１－２０に示すとおりである。

```
23              シュクハク  ヨヤク  ヘンコウ

 ヨヤクNO 0072 53.  カイインNO 3630 1021.
 ツキヒ    YHコード   ニンズウ   ショクジ   ニンズウ   ショクジ
11.02.  62101.   3.  0.   3.  0.   2.  0.   2.  0.
11.03.  62202.   3.  0.   3.  0.   3.  0.   3.  0.
11.04.  62301.   3.  0.   3.  0.   3.  0.   3.  0.



      アンナイ   3602
```

図２－１－２０　宿泊予約変更処理入力例－２

⑥　入力されたデータにより，予約ファイルの該当ユース・ホステルコード

および利用月日欄の宿泊可能数，宿泊予約人数，食事数の項目の内容を修正する。また，予約受付ファイルの該当受付№，宿泊月日，ユース・ホステルコード欄の予約人数，食事数の項目の内容を修正する。さらに，そのデータの内容を予約明細テープへ登録する。登録修正処理等の項目，内容の明細については，下記に示すとおりである。また，予約変更料等の経理データは，経理ファイルへ登録する。

ⓐ 予約ファイルの該当ユース・ホステルコードおよび該当利用月日欄

宿泊可能数（合計，男，女）
予約数（合計，男，女）
食事（夕，朝）
} の項目の内容 修正

ⓑ 予約受付ファイルの該当予約受付№，宿泊月日，ユース・ホステルコード欄

予約数（男，女）
食事（夕，朝）
予約金
払戻金
} の項目の内容 修正

ⓒ 予約明細テープへ予約変更データ登録

予約取扱月日（変更）
予約受付№
会員番号
宿泊月日
ユース・ホステルコード
予約数（男，女）
食事（夕，朝）

⑦ 予約変更のあったユース・ホステルのクーポン券を発行する。クーポン券と会員証をホステラーへ渡す。

本処理のシステム・フローは，図 2－1－21 に示すとおりである。

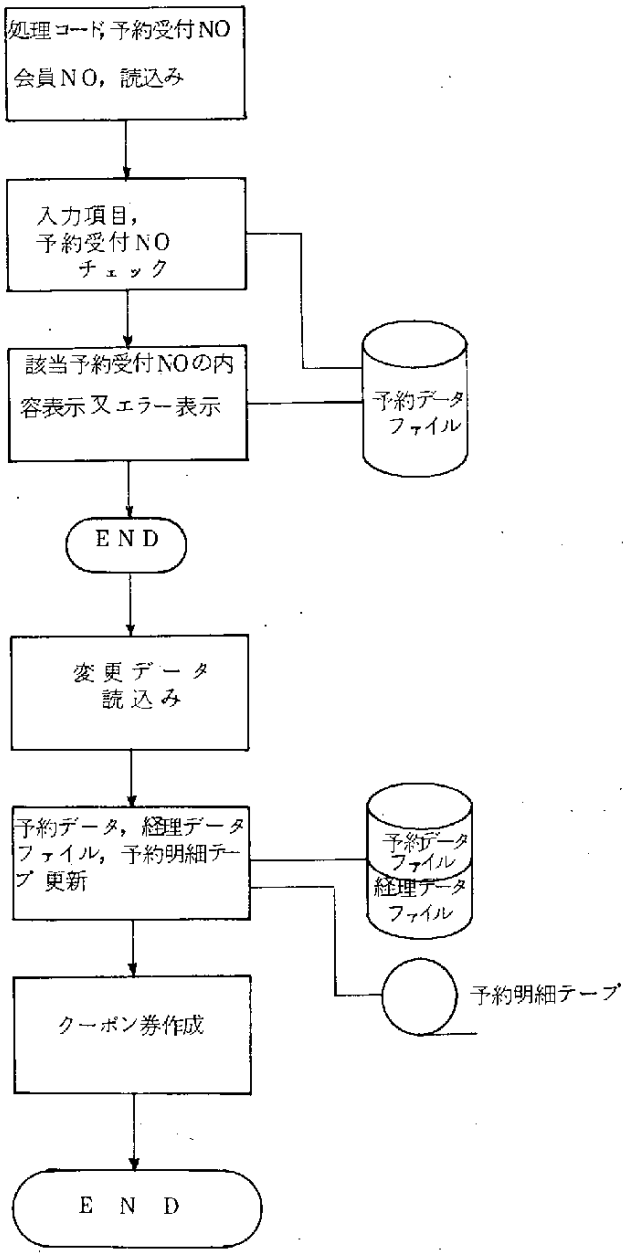


図２－１－21　宿泊予約変更処理システム・フロー

ニ）行事予約処理

行事予約処理は，ホステラーからの行事予約申込みに対して，予約受付け

およびクーポン券発行に関する処理である。

本処理の流れは，次のとおりである。

① ホステラーが，案内所窓口に置かれた「行事予約・変更申込書」（図２－２－４を参照のこと。）に必要事項（会員番号，予約希望行事名，予約利用人数，食事数，申込者住所，氏名，電話番号，グループ申込みの時は，グループ・メンバーの会員番号を４人まで等）を記入の上，会員証を添えて案内所窓口の係員へ提出する。

② 担当者は，その提出された上記行事予約申込書に記載もれ，誤りがないか否かチェックする。

③ 行事予約・変更申込書に記載もれ，誤りがない場合は，担当者は，端末装置に行事予約処理要求のための処理コード（24）と案内所コードを入力する。図２－１－22 に入力例を示す。なお，記載もれ，または誤記入があった場合は，その旨をホステラーへ知らせる。

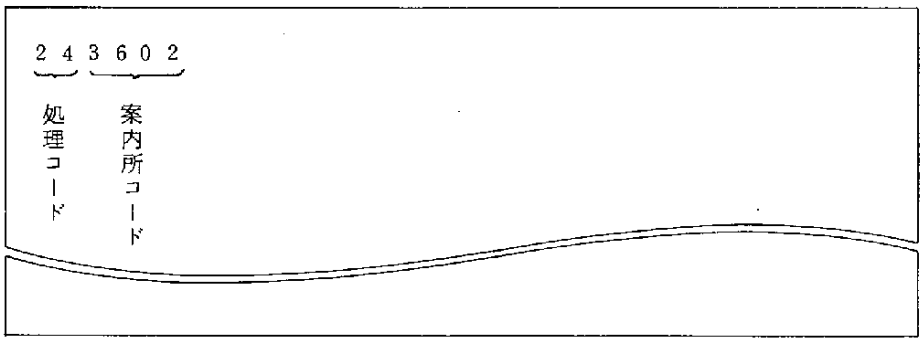


図２－１－22　行事予約処理入力例－１

④ 上記処理コード（24），案内所コードの入力により，行事予約処理用の入力フォーマットが表示される。入力フォーマットは，図２－１－23 に示すとおりである。

⑤ 表示画面の入力フォーマットに従って，当該行事予約・変更申込書のデータを入力する。入力例は，図２－１－24 に示すとおりである。

```
24                    ギョウジ　ヨヤク

  カイインNO                  .  TEL        .    .    .
  ギョウジNO          .
  ニンズウオトコ        .
  ニンズウオンナ        .
  ショクジ　ユウ        .
  ショクジ　アサ        .


     アンナイ    3602
```

図２－１－23　行事予約処理入力フォーマット

```
24,                   ギョウジ　ヨヤク

  カイインNO 36301021.  TEL  0468.70.2153.
  ギョウジNO 0132.
  ニンズウオトコ      3.
  ニンズウオンナ      2.
  ショクジ　ユウ      5.
  ショクジ　アサ      5.


     アンナイ    3602
```

図２－１－24　行事予約処理入力例－２

⑥　⑤にて入力された行事予約申込データのデータ項目，桁数，会員番号等のチェックを行なう。

⑦　正しく入力された場合は，行事予約ファイルの該当行事№の予約状況のチェック（予約可能数と希望予約数とのチェック）を行なう。

⑧　予約可能な場合は，入力した時の表示面をそのまま保持する。予約不可

の場合は，入力（表示）データの予約人数欄の後へ予約不可のマーク（＊＊＊）を表示する。

⑨ 担当者は，表示面の内容にもとづきホステラーに予約の可否を知らせる。予約をする場合は，そのまま確認キーを押下する。また，取消の場合は，キャンセル・キーを押下する。

⑩ 確認キーが入力されると，行事予約ファイルの該当行事№の欄，予約受付ファイルおよび予約明細テープへの登録を行なう。登録の項目，内容の明細については，下記に示すとおりである。また，予約金等の経理データは，経理ファイルへ登録する。さらに，予約受付№が端末装置へ出力される。

ⓐ 行事予約ファイルの該当行事№の欄

予約可能数（合計，男，女）
予約数（合計，男，女）
食　事（夕，朝）
} の項目へ登録

ⓑ 行事予約受付ファイル

予約受付№
会員番号
取扱案内所コード
予約数（男，女）
食　事（夕，朝）
予約金
} の項目　登録

ⓒ 予細明細テープへの予約データの登録

予約取扱月日（予約）
予約受付№
会員番号
行事№
予約数（男，女）
食　事（夕，朝）
} の項目　登録

⑪　予約処理を行なった行事№に関するクーポン券を発行し，会員証と共にホステラーへ渡す。

本処理のシステム・フローは，図２－１－25に示すとおりである。

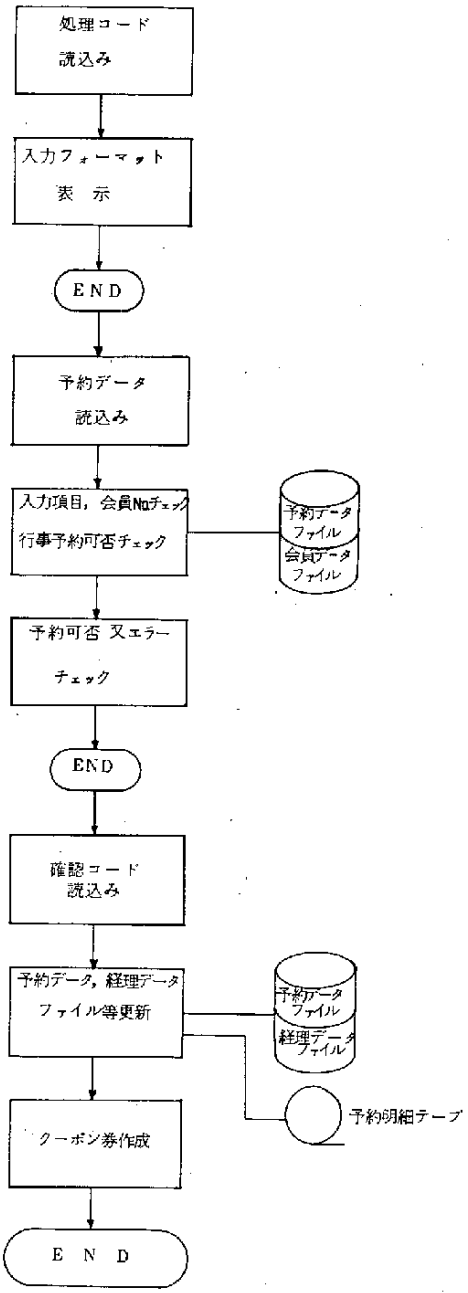


図２－１－25　行事予約処理システム・フロー

ホ）行事予約取消・変更処理

行事予約取消・変更処理は，予約処理済の分に対するホステラーからの取消・変更要求に関する処理である。

本処理の流れは，次のとおりである。

① ホステラーが，案内所窓口に置かれた「行事予約・変更申込書（図２－２－４を参照のこと。）に必要事項（会員番号，行事予約した時の行事№，利用人数，食事数および取消しの場合は，変更欄の利用人数，食事数を"０"と記入する。また，変更の場合は，変更した後の利用人数，食事数を記入する。申込者の住所，氏名等）を記入の上，会員証と予約した時受領したクーポン券を添えて案内所窓口の係員へ提出する。

② 担当者は，その提出された上記行事予約・変更申込書に記載もれ，誤りがないか否かチェックする。

③ 行事予約・変更申込書に記載もれ，誤りがない場合は，担当者は，端末装置に予約取消変更要求のための処理コード（25），予約受付№，会員番号，案内所コードを入力する。図２－１－26に入力例を示す。なお，記載もれ，誤記入があった場合は，その旨をホステラーへ知らせる。

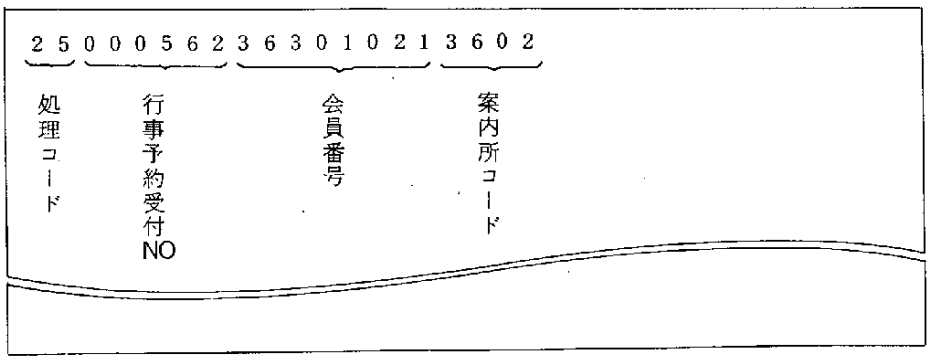


図２－１－26　行事予約取消・変更処理入力例－１

④ 上記処理コード（25），予約受付№，会員番号，案内所コードの入力により，既に予約受付処理を行なったデータの内容が表示される。表示例を

図２－１－27に示す。

```
２５          ギョウジ　ヨヤク　トリケシ・ヘンコウ

   カイインNO ３６３０１０２１．　ＴＥＬ　０４６８．７０．２１５３．
   ギョウジNO ０１３２．
   ヨヤクNO　 ０００５６２．
   ニンズウオトコ      ３．        .
   ニンズウオンナ      ２．        .
   ショクジ　ユウ      ５．        .
   ショクジ　アサ      ５．        .


      アンナイ　 ３６０２
```

図２－１－27　行事予約取消・変更処理表示例

⑤　表示された予約済の内容を確認し，当該予約変更申込書の内容に従って，利用人数の男女および食事数の夕朝の欄の後へ，変更希望数を入力する。ただし，取消しの場合は，数字の＂０＂を入力する。入力例は，図２－１－28に示すとおりである。

```
２５          ギョウジ　ヨヤク　トリケシ・ヘンコウ

   カイインNO ３６３０１０２１．　ＴＥＬ　０４６８．７０．２１５３．
   ギョウジNO ０１３２。
   ヨヤクNO　 ０００５６２．
   ニンズウオトコ      ３．      ２。
   ニンズウオンナ      ２．      ０。
   ショクジ　ユウ      ５．      ２。
   ショクジ　アサ      ５．      ２。


      アンナイ　 ３６０２
```

図２－１－28　行事予約取消・変更処理入力例－２

⑥ 入力されたデータにより，予約ファイルの該当行事№の欄の予約可能数，利用人数，食事数の項目の内容・修正および予約受付ファイルの該当予約受付№の欄の利用人数，食事数の項目の内容を修正する。さらに，予約明細テープへそのデータの内容を登録する。登録・修正の項目内容の明細については，下記に示すとおりである。また，取消変更料等の経理データは，経理ファイルへ登録する。

ⓐ 予約ファイルの該当行事№の欄

予約可能数	（合計，男，女）	の項目の内容　修正
予約数	（合計，男，女）	
食　事	（夕，朝）	

ⓑ 行事予約受付ファイルの該当予約受付№の欄

予約数	（男，女）	の項目の内容　修正
食　事	（夕，朝）	
予約金		
払戻金		

ⓒ 予約明細テープへ取消変更データの登録

⑦ 予約取消・変更処理が終了すると，会員証と新しく発行したクーポン券をホステラーへ渡す。

本処理のシステム・フローは，図 2－1－29 に示すとおりである。

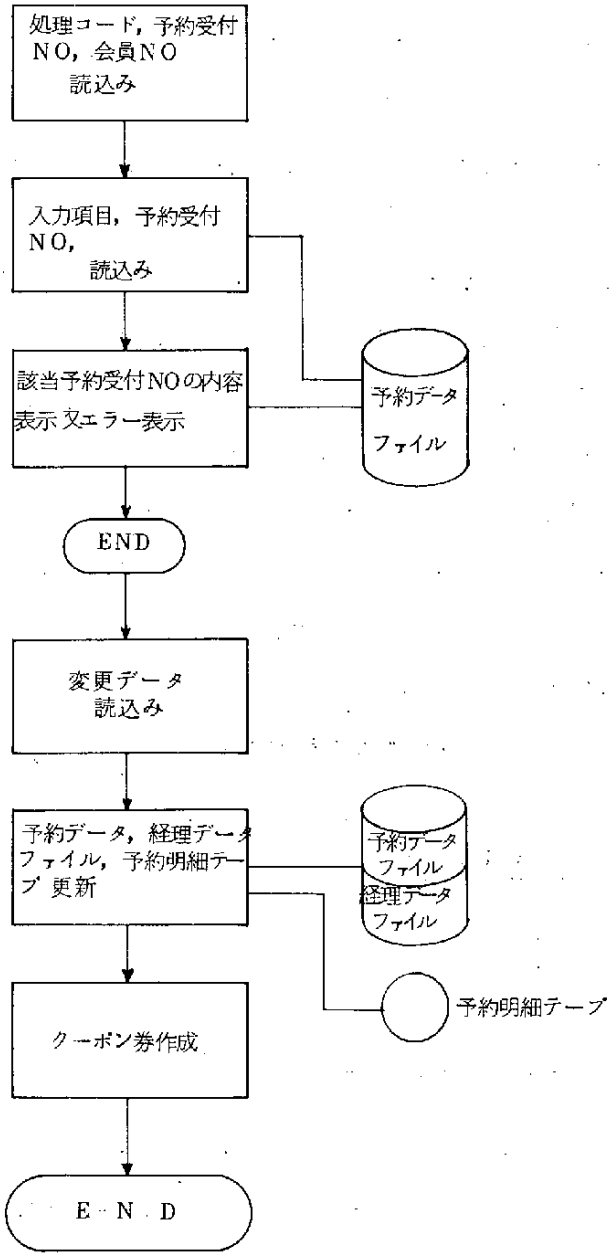


図 2.－1.－29　行事予約取消・変更処理システム・フロー

ヘ) 予約データ・ファイル修正処理

予約データ・ファイル修正処理は，宿泊予約に関するマスター・ファイルの修正，メンテナンスのための処理である。

本処理の機能としては，予約受付停止する場合，予約受付停止を解除する場合およびそれ以外の場合で，マスター・ファイルの項目の内容を修正する場合の３つを考える。以下それぞれの場合の処理について述べる。

(1) 予約受付停止する場合

このケースが発生するのは，主にユース・ホステルが，本システムの予約受付処理によらず，電話・葉書等でホステラーから直接宿泊予約を受付け，その時点で宿泊予約可能数が一杯（満員）になり，予約受付が不可能になった場合で，本システムによる予約受付を停止する処理である。

本処理は，ユース・ホステルからの予約受付停止処理の要請があり次第直ちに行なう。処理の手順は，次のとおりである。

① ユース・ホステルからの連絡があった場合，直ちに端末装置に本処理の処理コード(26)，当該ユース・ホステルコード，月日を入力する。図２－１－30に入力例を示す。

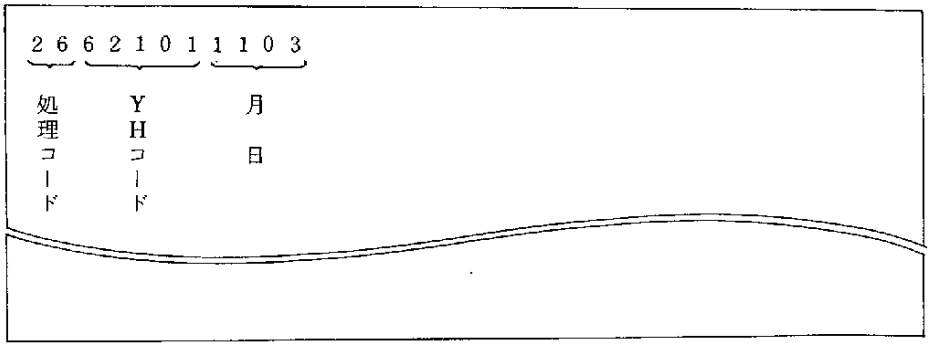


図２－１－30 予約データ・ファイル修正処理入力例－１

② 上記処理コード(26)，ユース・ホステルコード，月日の入力により，予約受付停止処理のための予約ファイルの内容が表示される。表示例は，

図２－１－31に示すとおりである。

```
２６                ヨヤク　ファイル　シュウセイ

    ＹＨコード　６２１０１．          パスワード
    ツキヒ　　１１．０３．
    カノウケイ　　１７．　　．
    カノウオトコ　１０．　　．
    カノウオンナ　　７．　　．
    ヨヤクケイ　　２３．　　．
    ヨヤクオトコ　１０．　　．
    ヨヤクオンナ　１３．　　．
```

図２－１－31　予約データ・ファイル修正処理表示例－１

③　表示された予約ファイルの内容を確認し，表示画面の予約可能数（合計，男，女）の欄の後へ数字＂０＂を入力する。また，本処理の特殊性からマスター・ファイルの保護のため，特に許可されたオペレータにのみ操作させるためパスワードを登録し，そのパスワードが入力された場合のみ本処理を行なう様にする。入力例は，図２－１－32に示すとおりである。

```
２６                ヨヤク　ファイル　シュウセイ

    ＹＨコード　６２１０１．          パスワード　３６９９０００５．
    ツキヒ　　１１．０３．
    カノウケイ　　１７．　　０．
    カノウオトコ　１０．　　０．
    カノウオンナ　　７．　　０．
    ヨヤクケイ　　２３．
    ヨヤクオトコ　１０．
    ヨヤクオンナ　０３．
```

図２－１－32　予約データ・ファイル修正処理入力例－２

④　入力されたデータにより，パスワードのチェックを行なった後，予約ファイルの該当ユース・ホステルコード，月日欄の予約可能数（合計，男，女）を＂０＂に修正する。さらに，その修正内容をプルーフ・リストに出力する。

(2)　予約受付停止を解除する場合

本処理は一度予約受付停止処理した分に対する解除の処理であり，既にユース・ホステルに直接予約したホステラーが予約取消しをしたことにより，予約受付停止（満員）状態が解除された時とか，ユース・ホステルの施設等の事情で予約受付停止していたのが解除された時に対する処理である。本処理は，ユース・ホステルからの予約受付停止解除の処理の要請があり次第直ちに行なう。処理の手順は，次のとおりである。

①　ユース・ホステルからの連絡があった場合，直ちに端末装置に本処理の処理コード（26），当該ユース・ホステルコード，月日を入力する。入力例は図２－１－３０と同じである。

②　上記処理コード（26），ユース・ホステルコード，月日の入力により，予約受付停止解除処理のための予約ファイルの内容が表示される。表示例は，図２－１－３３に示すとおりである。

③　表示された予約ファイルの内容を確認し，表示画面の予約可能数（合

```
２６              ヨヤク　ファイル　シュウセイ

   ＹＨコード　６２１０１．          パスワード
   ツキヒ　　１１．０３．
   カノウケイ　　０．
   カノウオトコ　０．
   カノウオンナ　０．
   ヨヤクケイ　　２３．
   ヨヤクオトコ　１０．
   ヨヤクオンナ　１３．
```

図２－１－３３　予約データ・ファイル修正処理表示例－２

計，男，女）の欄の後へ，新しく修正する数字を入力する。前述の予約停止処理の場合と同じくパスワードも入力する。入力例は，図２－１－34のとおりである。

```
26                ヨヤク ファイル シュウセイ

  YHコード  62101.          パスワード 36990005.
  ツキヒ     11.03.
  カノウケイ      0.    17.
  カノウオトコ    0.    10.
  カノウオンナ    0.     7.
  ヨヤクケイ     23.      .
  ヨヤクオトコ   10.      .
  ヨヤクオンナ   13.      .
```

図２－１－34　予約データ・ファイル修正処理入力例－３

④　入力されたデータにより，パスワードのチェックを行なった後，予約ファイルの該当ユース・ホステルコード，月日欄の予約可能数（合計，男，女）を入力された数字に修正する。さらにその修正内容をプルーフ・リストに出力する。

(3)　その他の項目の内容を修正する場合

本処理は，運用上予約ファイルの項目の内容修正の必要が生じた時に使用する。処理の内容は，前述の予約受付停止処理，予約受付停止解除処理と同じである。なお，行事予約ファイルの内容の修正については，ダミーコードによる行事予約取消変更処理を行なう。本処理のシステム・フローは，図２－１－35に示すとおりである。

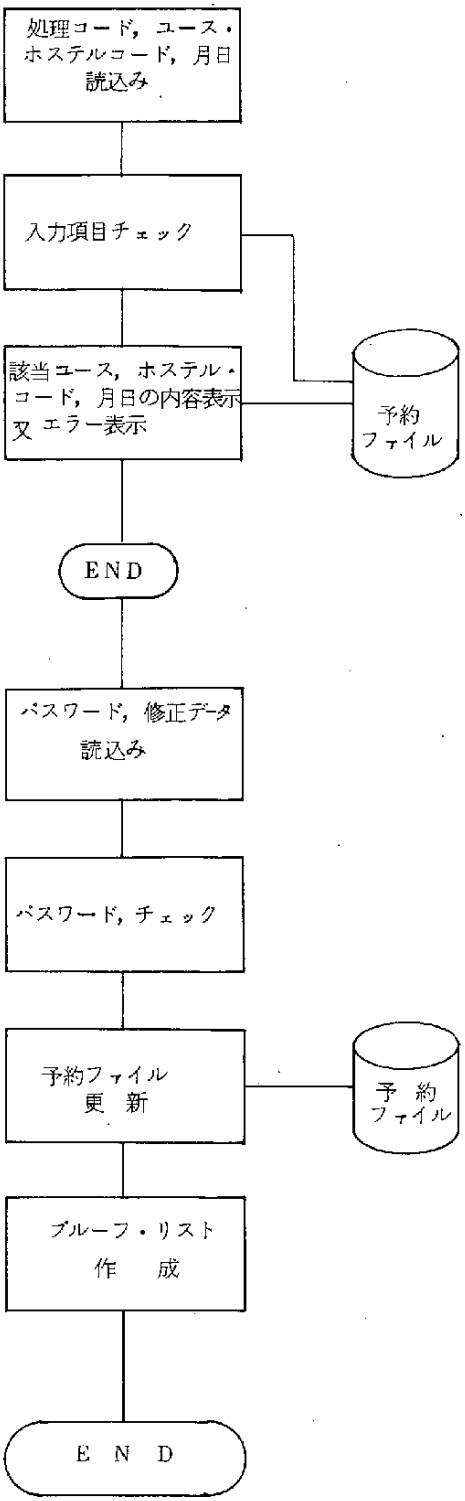


図 2 － 1 － 35　予約データ・ファイル修正処理システム・フロー

ト) 宿泊予約表作成処理

宿泊予約表作成処理は，案内所にて宿泊予約受付・クーポン発行処理，宿泊予約取消処理，宿泊予約変更処理により発生した宿泊予約に関する情報を当該ユース・ホステルへ通知するための連絡表作成処理である。この連絡表は，本システムの端末装置が設置されていないユース・ホステルに対するものである。なお，端末装置が設置されているユース・ホステルには，宿泊予約表に当るデータを端末装置より随時出力し通知する。本宿泊予約表は，一定のサイクルで作成し該当ユース・ホステルへ送付する。宿泊予約表の様式は，図２－２－６に示すとおりである。出力する項目としては，宿泊月日，予約受付№，会員番号，宿泊人数，食事数，連絡先電話番号である。

本処理のシステム・フローは，図２－１－36 に示すとおりである。

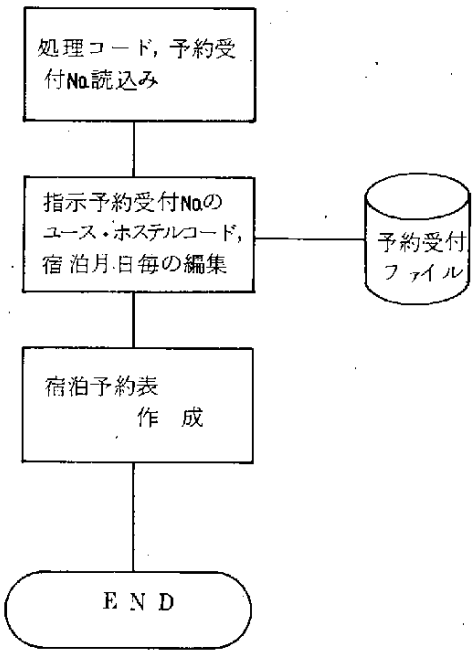


図２－１－36　宿泊予約表作成処理システム・フロー

3) 管理資料作成サブシステム

管理資料作成サブシステムは，運用に関する管理資料を作成する

ユース・ホステル別，予約利用実績表作成処理

案内所別，処理別利用実績表作成処理

および経理に関する管理資料を作成する

案内所別入金集計表作成処理

ユース・ホステル別入金集計表作成処理

より構成される。

イ） ユース・ホステル別，予約利用実績表作成処理

ユース・ホステル別，予約利用実績表作成処理は，原則として月1回バッチ処理で，コンピュータ・センターで作成される。出力項目は，ユース・ホステル名，ユース・ホステル毎に1ケ月単位で，日毎の予約数の合計，男・女別の予約数，予約比率（合計，男，女別）である。出力帳票の様式は，図2－2－7に示すとおりである。本帳票は，ユース・ホステルの稼動率，利用状況の把握のために利用される。

本処理のシステム・フローは，図2－1－37に示すとおりである。

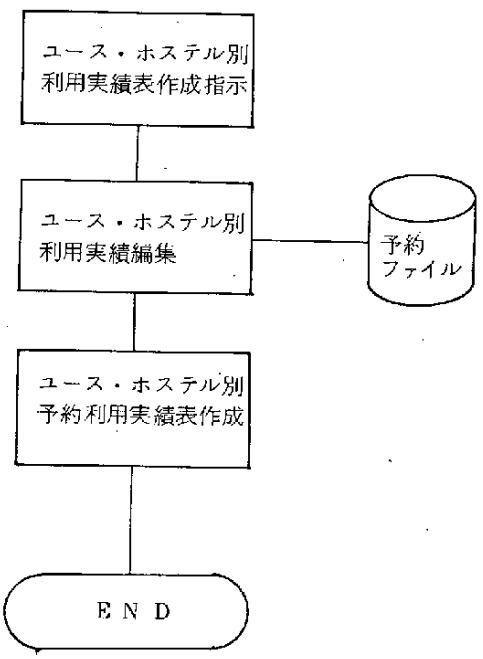


図 2－1－37　ユース・ホステル別，予約利用実績表作成処理システム・フロー

ロ) 案内所別，処理別利用実績表作成処理

案内所別，処理別利用実績表作成処理は，前述の実績表と同様に原則として月1回バッチ処理でコンピュータ・センターで作成される。出力項目は，案内所別，日別予約，変更，取消等処理コード別の処理件数である。出力帳票の様式は，図2－2－8に示すとおりである。本帳票は，案内所別のシステム稼動状況，ホステラーの利用状況を把握するために利用される。

本処理のシステム・フローは，図2－1－38に示すとおりである。

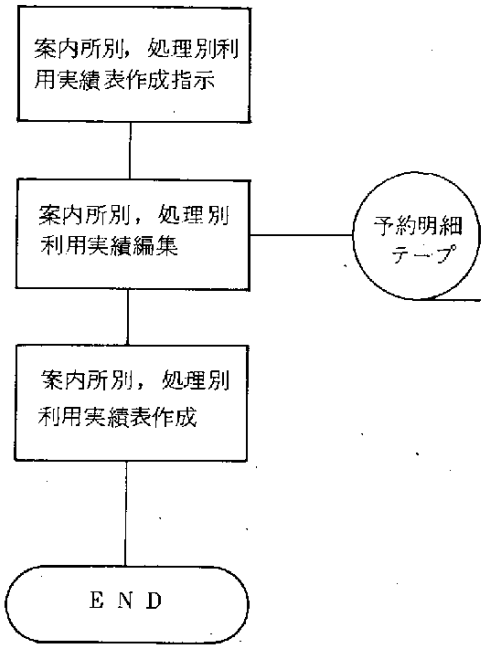


図2－1－38　案内所別，処理別利用実績表作成処理システム・フロー

ハ) 案内所別入金集計表作成処理

案内所別入金集計表作成処理は，前述の実績表と同様に原則として月1回バッチ処理でコンピュータ・センターで作成される。出力項目は，案内所別，日別の利用料金，予約金，払戻金の合計と総合計である。出力帳票の様式は，図2－2－9に示すとおりである。本帳票は，案内所別の入金状況の把握および入金管理のために利用される。

本処理のシステム・フローは，図 2－1－39 に示すとおりである。

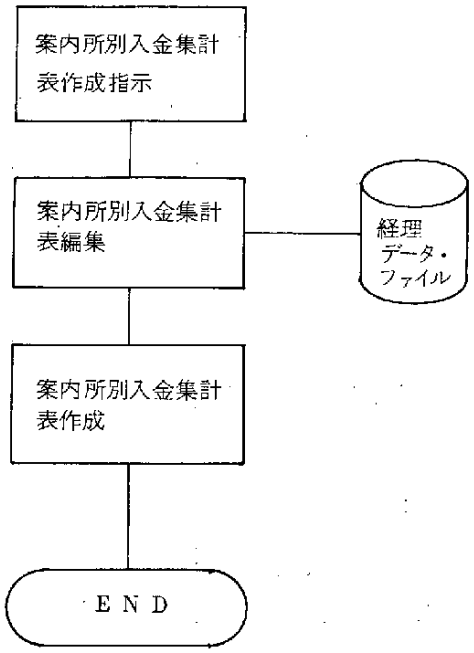


図２－１－39　案内所別入金集計表作成処理システム・フロー

ニ）ユース・ホステル別入金集計表作成処理

ユース・ホステル別入金集計表作成処理は，前述の集計表と同様に原則として月１回バッチ処理でコンピュータ・センターで作成される。出力項目は，ユース・ホステル別，日別の入金種別（予約金，払戻金）の件数，金額の合計，総合計である。出力帳票の様式は，図 2－2－10 のとおりである。本帳票は，ユース・ホステルにおけるシステムからの入金状況の把握および入金管理のために利用される。

本処理のシステム・フローは，図 2－1－40 に示すとおりである。

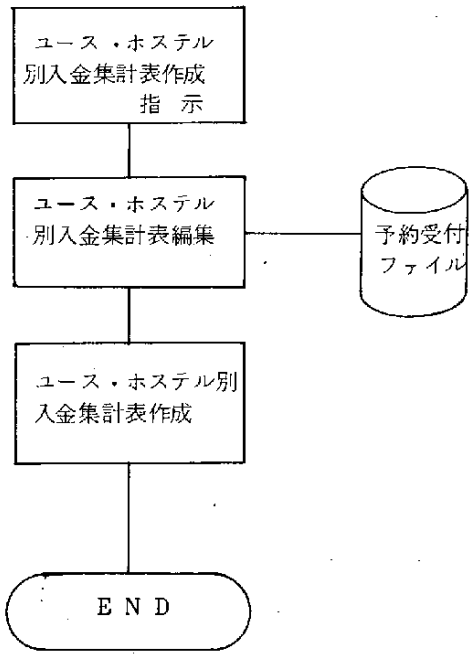


図２－１－40　ユース・ホステル別入金集計表作成処理システム・フロー

2.2　入出力仕様

1）入出力端末装置の仕様

本情報システムの予約状況案内処理および宿泊予約処理サブシステムにて使用する入出力表示装置の基本仕様について述べる。

本システムにおいて使用する入出力端末装置の基本的仕様は，前年度報告書（５３－Ｓ００２社会福祉関連機関等における情報処理システムの研究開発4.2.1端末機器の項）で述べているが，数字入力のみとし，その入力データの確認はディスプレイによることを前提とする。検索はディスプレイ上へ表示し，その内容は，ハードコピーにとることを基本とする。また，操作の容易性を確保するために，処理の選択および入力データの種類は，ファンクション・キーで識別することが望ましいが，低コスト（約100万円位／台）の端末装置（必要最少限の機能を持った装置）を使用するとの考え方から，ファンクション・キ

ーは，キャンセルキーのみとしたので，処理の識別コードとして処理コードを入力する。入出力端末装置の基本仕様は，表２－２－１に示すとおりである。また，キーボードのキー配列案を図２－２－１に示す。

表２－２－１　入出力端末装置の基本仕様

構成要素	機能	基本仕様
表示装置部	表示文字数	512字（32字×16行）
	表示色	モノクロ（緑）
	表示字種	カナ（46）・英字（26）・数字（10）・記号
	文字表示	9点×7点（縦×横）
	表示制御	罫線表示，数字入力フィールド，プロテクト，ブリンク，タブセット
プリンタ装置部	印字速度	33字／秒
	印字字数	80字／行
	文字種	128種
	印字方式	ドット・マトリックス
	印字幅	10字／インチ，6行／インチ
	複写枚数	3枚程度
キーボード部	データ入力キー	テンキー
	ファンクション・キー	取消・キー
	カーソル・コントロール・キー	カーソル・スキャン，アップ，ダウン，レフト，ライト，カーソル・ホーム，ニューライン，タブ，バック・タブ
	デバイス・コントロール	送信キー，割込キー，プリント・キー

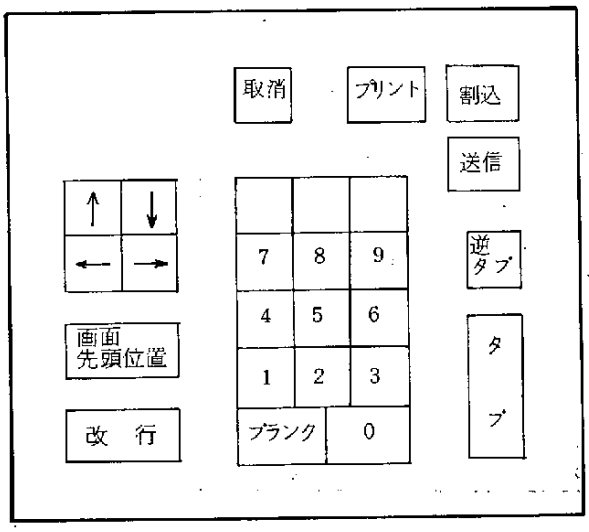


図２－２－１　キーボードのキー配列（案）

2）入出力帳票

本情報システムにおいて使用する入出力帳票は，入力帳票２種類，出力帳票５種類（プルーフ・リストは除く）であるが，それらの入出力の関連は，図２－２－２入出力関連図に示すとおりである。すなわち，宿泊予約処理サブシステムにて使用する入出力帳票は，ユース・ホステル宿泊予約・変更申込書，行事予約・変更申込書，ユース・ホステル宿泊利用予約クーポン，宿泊予約表である。また，管理資料作成サブシステムにて作成する出力帳票は，ユース・ホステル別予約利用実績表，案内所別処理別利用実績表，案内所別入金集計表，ユース・ホステル別入金集計表である。

以上の入出力帳票の主要項目および用途については，表２－２－２に示すとおりであり，入出力帳票の項目については，表２－２－３，表２－２－４に示すとおりである。それぞれの帳票の様式は，図２－２－３より図２－２－１０までに示す。

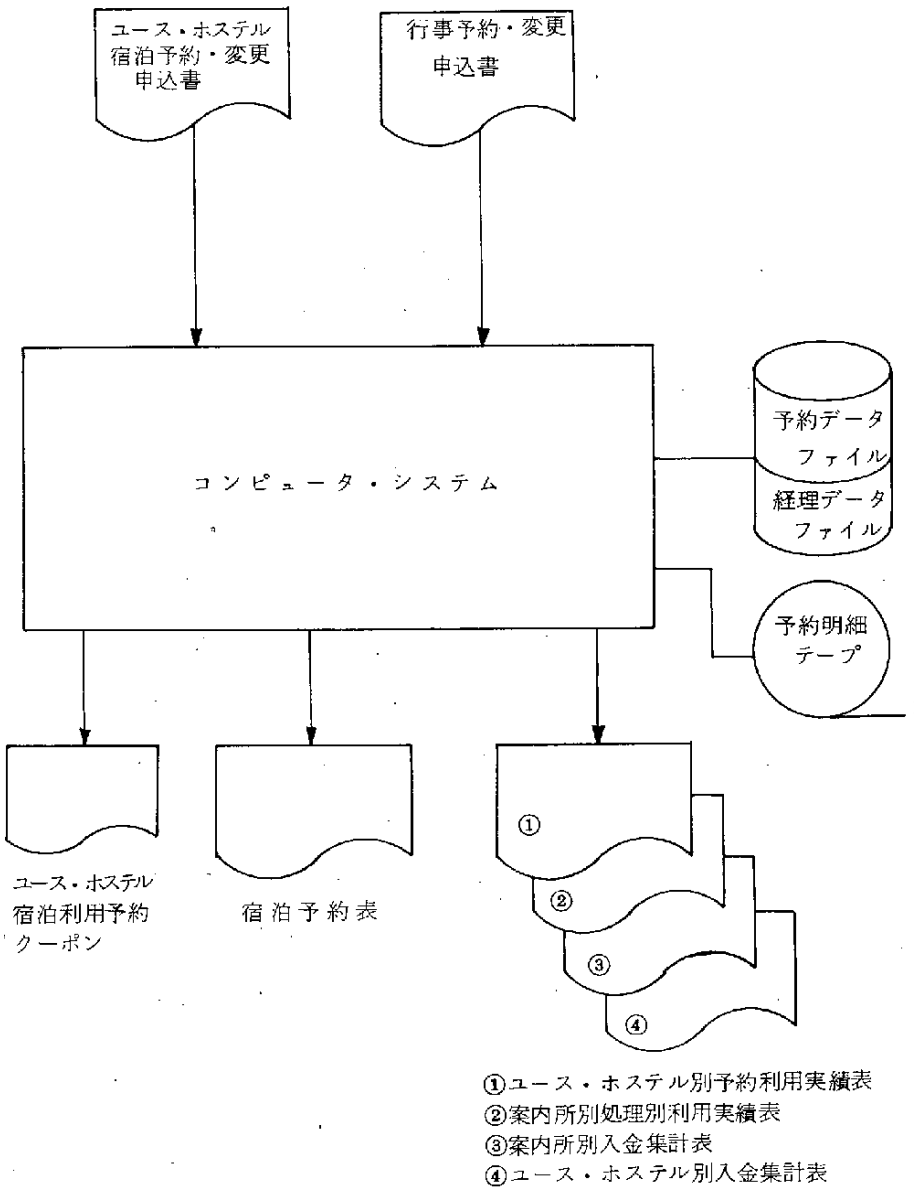


図２－２－２　入出力帳票関連図

表２－２－２　入出力帳票一覧表

サブシステム名	入出力帳票名	項　　目	用　　途
宿泊予約処理サブシステム	ユース・ホステル宿泊予約・変更申込書	会員番号，宿泊利用月日，ユース・ホステルコード，宿泊人数，食事，到着時間，取消変更情報，申込書住所氏名，電話番号	ホステラーが，宿泊予約，取消，変更処理を申込むため
	行事予約・変更申込書	会員番号，行事№，利用人数，食事，申込者住所氏名，電話番号等	ホステラーが，行事予約，取消，変更処理を申込むため
	ユース・ホステル宿泊利用予約クーポン	ユース・ホステルコード，ユース・ホステル名，会員コード，氏名，宿泊年月日，宿泊人数，食事，予約金，手数料等	ホステラーが，ユース・ホステル宿泊利用するための利用券
	宿泊予約表	ユース・ホステルコード，宿泊月日，予約受付№，会員番号，連絡電話番号，宿泊人数，食事，到着時間等	予約・クーポン発行処理による宿泊予約受付済情報のユース・ホステルへの通知のため
管理資料作成サブシステム	ユース・ホステル別予約利用実績表	ユース・ホステルコード，ユース・ホステル名，利用月日，予約数（合計，男，女），予約比率（合計，男，女）	ユース・ホステル別，日別の予約数，予約比率による利用状況把握のため
	案内所別処理別利用実績表	案内所コード，処理月日，処理別（予約，変更，取消）件数および処理料金の小計，合計	案内所別，日別の処理別件数による案内所別のシステム利用状況把握のため
	案内所別入金集計表	案内所コード，処理月日，入金種別の件数と金額合計等	案内所別，日別の入金状況把握および入金管理のため
	ユース・ホステル別入金集計表	ユース・ホステルコード，ユース・ホステル名，月日，入金種別件数，金額	ユース・ホステルにおける入金管理のため

表２－２－３(1)　入力帳票項目一覧表

	項　　目	桁　数	備　　考
ユースホステル宿泊予約申込書	申込年月日	6	
	処理コード	2	
	会員番号	8	
	予約受付№	6	取消，変更の時
	宿泊利用月日	4	
	ユース・ホステルコード	5	
	宿泊人数（男）	2	
	〃（女）	2	
	食事（夕）	2	
	〃（朝）	2	
	到着時間	4	
	（取消・変更）		
	宿泊人数（男）	2	
	〃（女）	2	
	食事（夕）	2	
	〃（朝）	2	
	申込者住所		
	〃　氏名		
	電話番号		
	グループの会員番号	8×4	4名まで
	コンピュータ使用料	4	
	予約金	5	
	払戻金	4	

表２－２－３(2)　入力帳票項目一覧表

	項　　目	桁　数	備　　考
行事予約変更申込書	申込年月日	6	
	処理コード	2	
	会員番号	8	
	予約受付№	6	取消・変更の時
	行事№	4	
	人数（男）	2	
	〃（女）	2	
	食事（夕）	2	
	〃（朝）	2	
	（取消・変更）		
	人数（男）	2	
	〃（女）	2	
	食事（夕）	2	
	〃（朝）	2	
	申込者住所		
	〃　氏名		
	電話番号		
	グループの会員番号	8×4	4名まで
	コンピュータ使用料	4	
	予約金	5	
	払戻金	4	

表２－２－４(1)　出力帳票項目一覧表

	項　　目	桁　数	備　　考
ユースホステル宿泊利用予約クーポン	ユース・ホステルコード	5	
	ユース・ホステル名	20	
	会員番号	8	
	氏　　名	15	
	発行日	6	
	受付〃	6	
	宿泊年月日	6	
	宿泊人数（男）	2	
	〃（女）	2	
	食　事（夕）	2	
	〃（朝）	2	
	到着時間	4	
	予約金	5	
	手数料	4	
	払戻金	4	
	受領金額	5	
	取扱案内所コード	4	

表２－２－４(2)　出力帳票項目一覧表

	項　　目	桁　数	備　　考
宿泊予約表	ユース・ホステルコード	5	
	ユース・ホステル名	20	
	作成月日	4	
	宿泊月日	4	
	予約受付№	6	
	会員番号	8	
	宿泊人数（男）	2	
	〃（女）	2	
	食事（夕）	2	
	〃（朝）	2	
	到着時間	4	
	電話番号	11	

表２－２－４(3)　出力帳票項目一覧表

	項　　目	桁　数	備　　考
ユース・ホステル別予約利用実績表	ユース・ホステルコード	5	
	ユース・ホステル名	20	
	月　　日	4	
	予約件数（合計）	3	
	〃　人数（〃）	3	
	予約人数（男）	3	
	〃　（女）	3	
	予約比（合計）	3	
	〃　（男）	3	
	〃　（女）	3	
	（月単位）		
	予約件数（総計）	3	
	〃　人数（〃）	4	
	予約人数（男－総計）	4	
	〃　（女－〃）	4	

表２－２－４(4)　出力帳票項目一覧表

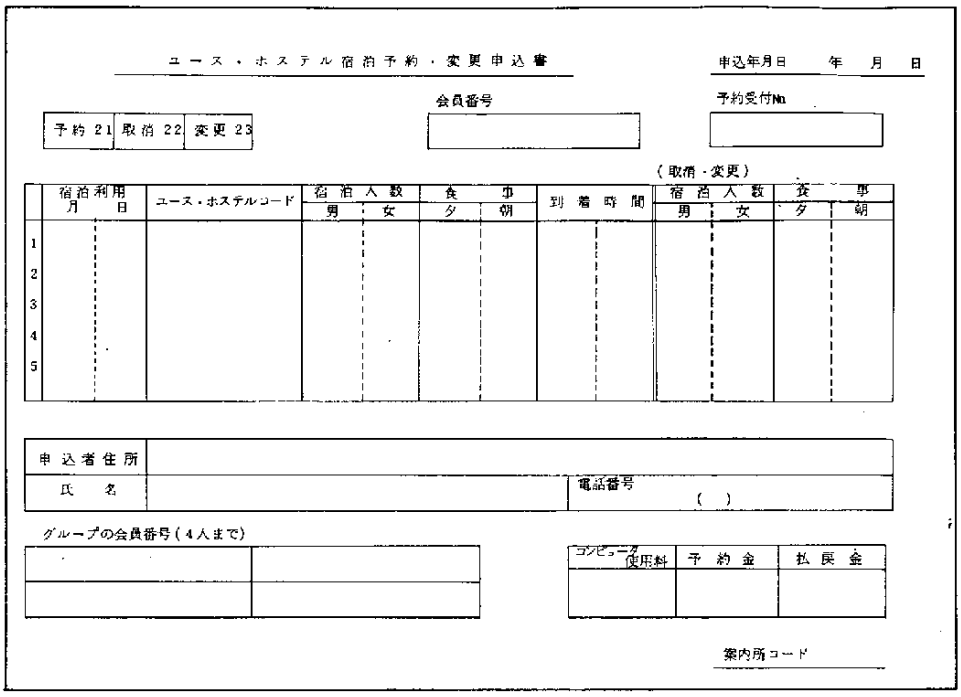
	項　　目	桁　数	備　　考
案内所別処理別利用実績表	案内所コード	4	
	月　　日	4	
	予　約　件　数	3	
	取　消　〃	3	
	変　更　〃	3	
	行事予約件数	3	
	行事取消・変更件数	3	
	（月単位）		
	予　約　件　数	4	
	取　消　〃	4	
	変　更　〃	4	
	行事予約件数	4	
	行事取消・変更件数	4	

表２－２－４(5)　出力帳票項目一覧表

	項　　目	桁　数	備　　考
案内所別入金集計表	案内所コード		
	月　　日		
	使用料・件数	3	
	〃　・金額	5	
	予約金・件数	3	
	〃　・金額	6	
	払戻金・件数	3	
	〃　・金額	5	
	合　計　金額	7	
	（月単位）		
	使用料・件数	4	
	〃　・金額	7	
	予約金・件数	4	
	〃　・金額	7	
	払戻金・件数	4	
	〃　・金額	7	
	総合計金額	7	

表２－２－４(6)　出力帳票項目一覧表

	項　　目	桁　数	備　　考
ユースホステル別入金集計表	ユース・ホステルコード	5	
	ユース・ホステル名	20	
	月　　日	4	
	予約金・件数	3	
	〃　・金額	5	
	払戻金・件数	3	
	〃　・金額	5	
	合計金額	5	
	（月単位）		
	予約金・件数	4	
	〃　金額	7	
	払戻金・件数	4	
	〃　金額	7	
	総合計金額	7	



ユース・ホステル宿泊予約・変更申込書

申込年月日　年　月　日

会員番号

予約受付No.

予約 21　取消 22　変更 23

（取消・変更）

	宿泊利用 月	日	ユース・ホステルコード	宿泊人数 男	女	食事 夕	朝	到着時間	宿泊人数 男	女	食事 夕	朝
1												
2												
3												
4												
5												

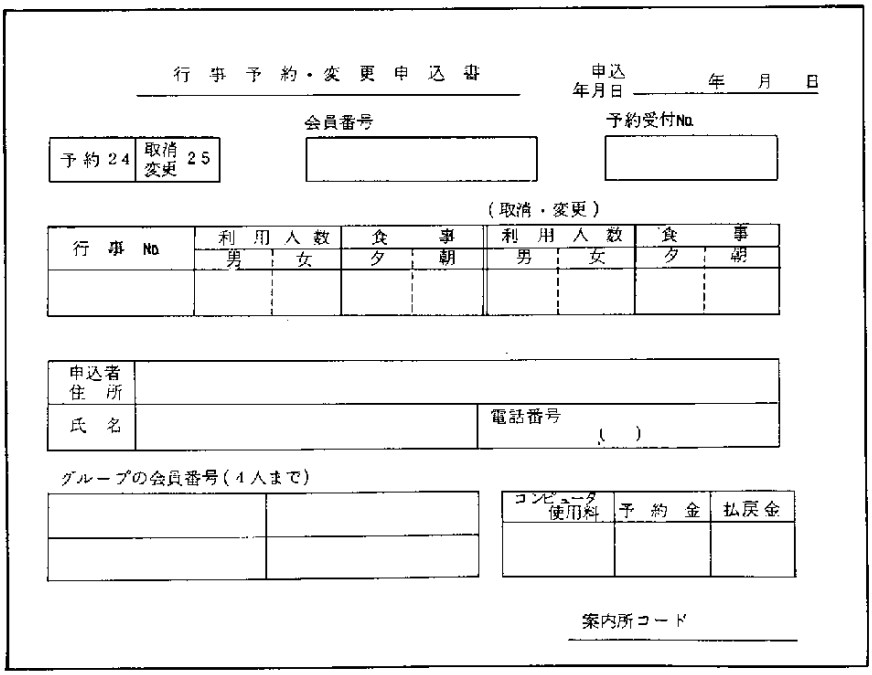
申込者住所		
氏名		電話番号　（　）

グループの会員番号（4人まで）

コンピュータ使用料	予約金	払戻金

案内所コード

図２－２－３　ユース・ホステル宿泊予約・変更申込書の様式



行事予約・変更申込書

申込年月日　年　月　日

会員番号

予約受付No.

予約 24　取消 変更 25

（取消・変更）

行事No.	利用人数 男	女	食事 夕	朝	利用人数 男	女	食事 夕	朝

申込者住所		
氏名		電話番号　（　）

グループの会員番号（4人まで）

コンピュータ使用料	予約金	払戻金

案内所コード

図２－２－４　行事予約・変更申込書の様式

発行
年月日　　年　月　日

ユース・ホステル宿泊利用予約クーポン

ユース・ホステル
コード

会員
番号

ユース・ホステル
名　　YH

氏名　　様

予約受付
No.

宿泊年月日	宿泊人数		食事		到着時間
	男	女	夕	朝	

コンピュータ使用料	予約金	払戻金	受領金額

案内所コード

図２－２－５　ユース・ホステル宿泊利用予約クーポンの様式

ユース・ホステル
コード

ユース・ホステル
名　　YH

宿泊予約表

作成月日　月　日

	宿泊月日	予約受付No.	会員番号	宿泊人数		食事		到着時間	電話番号
				男	女	夕	朝		
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									

図２－２－６　宿泊予約表の様式

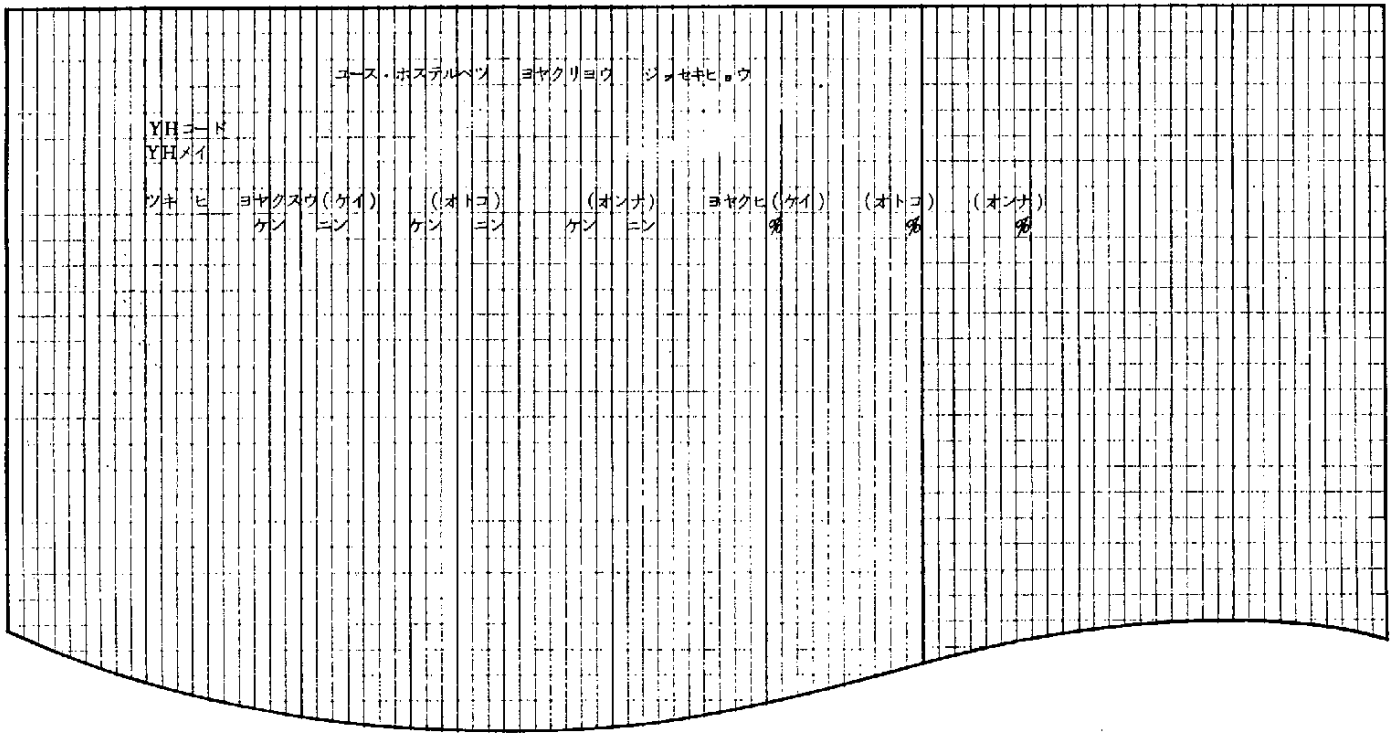


図２－２－７　ユース・ホステル別予約利用実績表の様式

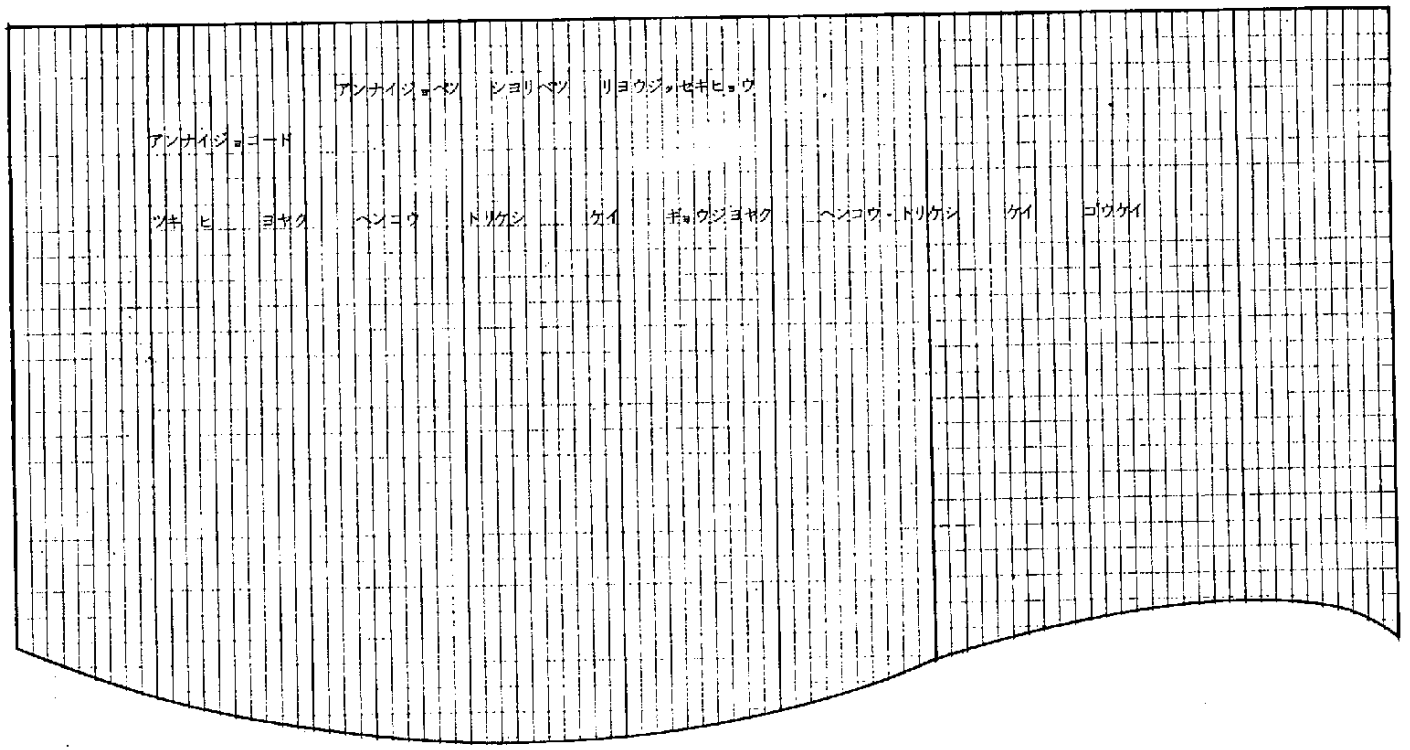


図２－２－８　案内所別処理別利用実績表の様式

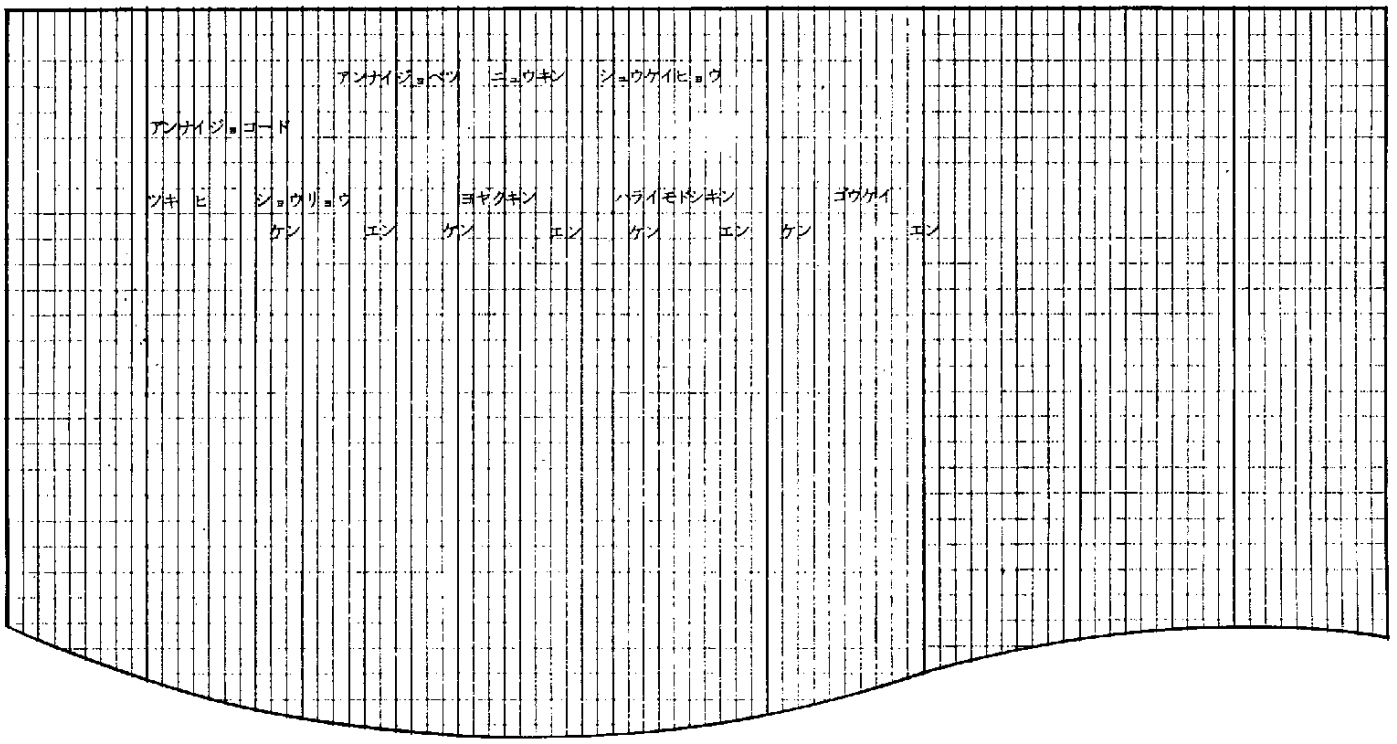


図 2 － 2 － 9　案内所別入金集計表の様式

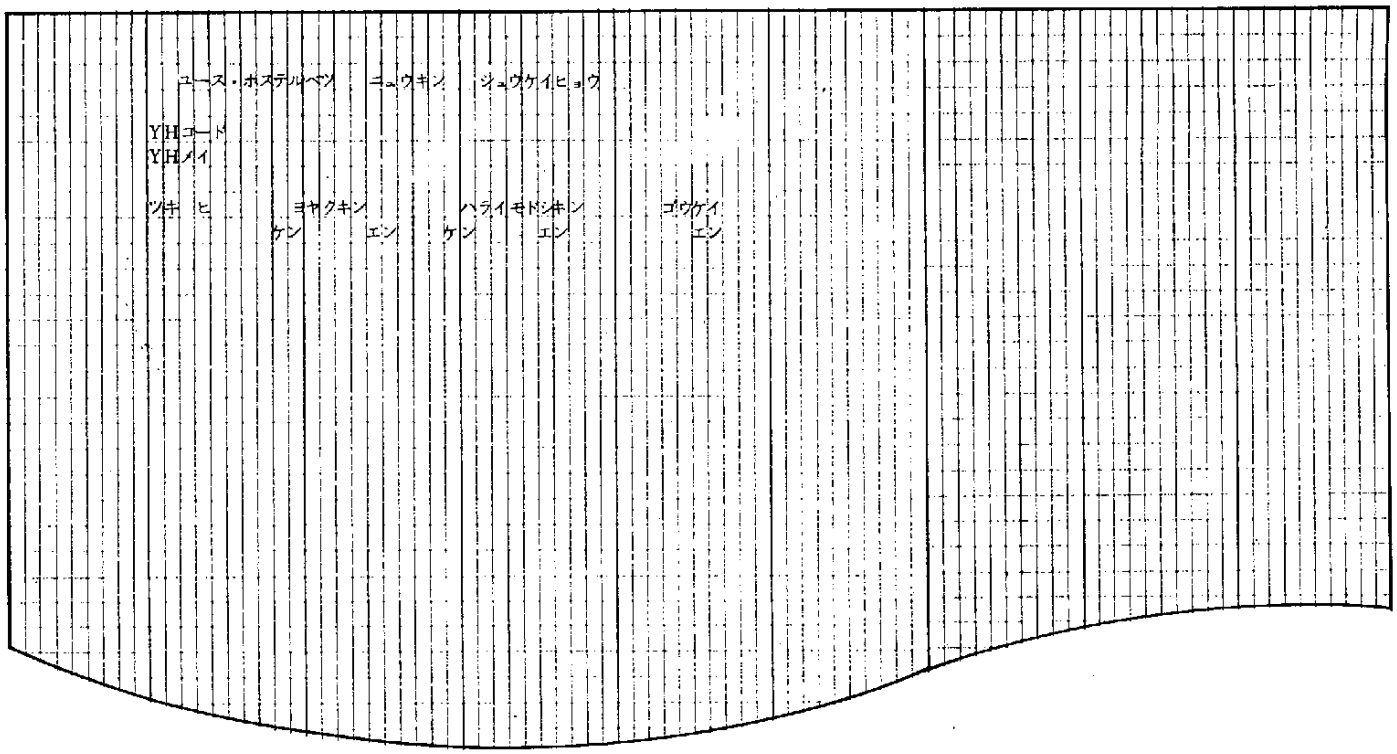


図２－２－10　ユース・ホステル別入金集計表の様式

2.3　ファイル仕様

本システムで使用するファイルは，

会員に関するデータがファイルされている「会員データ・ファイル」

宿泊予約関係のデータがファイルされている「予約データ・ファイル」

金銭の出納に関するデータがファイルされている「経理データ・ファイル」

がある。

その他に履歴ファイルとして，予約明細テープがある。以上のマスター・ファイルと本システムの関連は，図２－３－１に示すとおりである。以下に各ファイルの構成，ファイル編成方式について述べる。

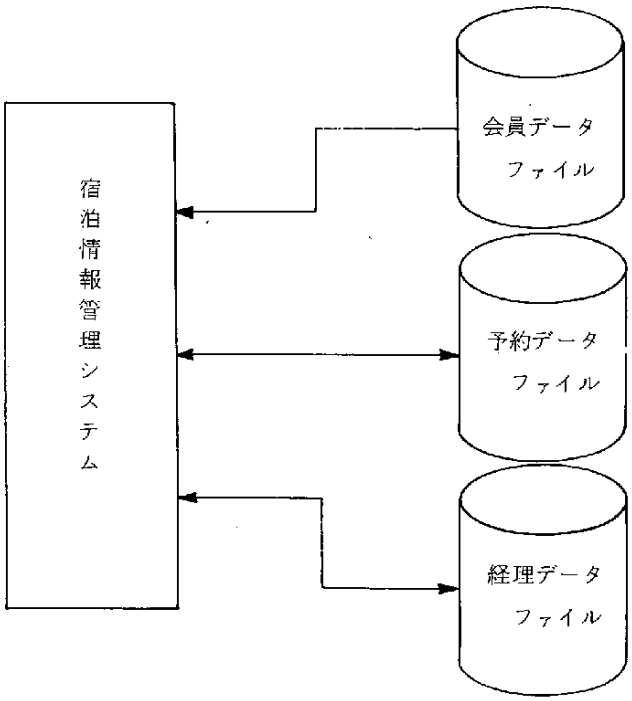


図２－３－１　システムとファイル関連図

1）ファイルの構成

本システムで使用する会員データ・ファイル，予約データ・ファイルおよび経理データ・ファイルの構成，項目について述べる。

イ）会員データ・ファイル

会員データ・ファイルは，登録会員に関するデータを取扱うファイルであり，その構成は，

・会員の属性，例えば氏名，生年月日，性別等に関するデータをファイルしてある属性ファイル

・会員の住所，電話番号等に関するデータをファイルしてある住所ファイル

に分けられる。会員データ・ファイルの項目は，表２－３－１に示すとおりであり，ファイル・フォーマットは，図２－３－２に示すとおりである。

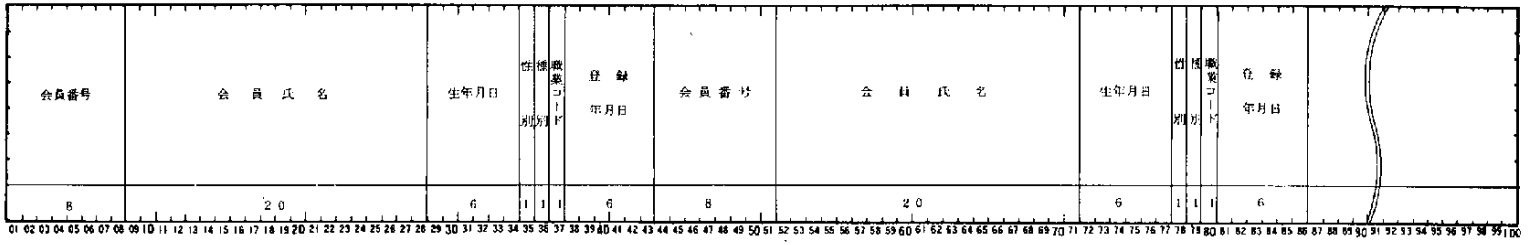
表２－３－１　会員データ・ファイル項目一覧表

	項目名	桁数	タイプ
属性ファイル	会員番号	8	N
	氏名	20	カナ
	生年月日	6	N
	性別	1	N
	種別	1	N
	職業コード	1	N
	登録年月日	6	N
		(43)	
住所ファイル	会員番号	8	N
	氏名	20	
	郵便番号	5	N
	住所	50	
	電話番号	10	N
	勤務先名	30	
	電話番号	10	N
		(133)	

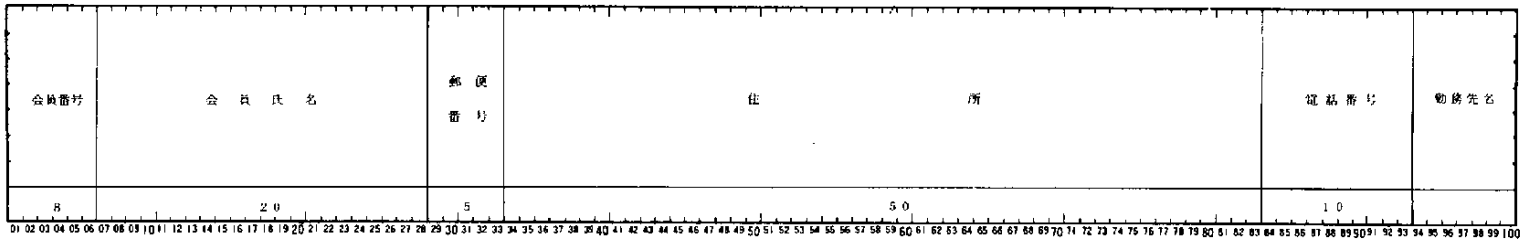
（注）　N；数字を表わす。

FILE LAYOUT FORM

〔会員データ・ファイル〕 属性ファイル



住所ファイル



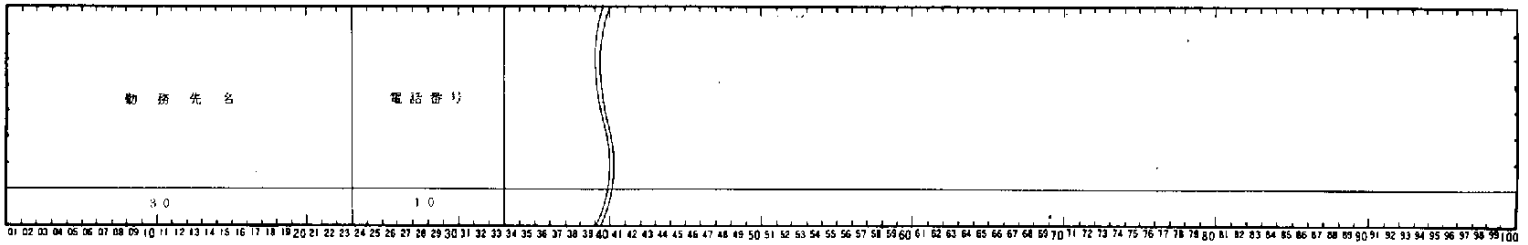


図 2－3－2　会員データ・ファイルの様式

ロ) 予約データ・ファイル

予約データ・ファイルは，予約に関するデータを取扱うファイルであり，その構成は，

- 宿泊予約に関するデータをユース・ホステルコード，利用月日順に登録してある予約ファイル
- 予約・取消・変更処理済の予約に関するデータを予約受付№毎に登録してある予約受付ファイル
- 行事予約に関するデータを行事№順に登録してある行事予約ファイル

行事予約・取消・変更処理済の予約に関するデータを予約受付№順に登録してある行事予約受付ファイル

に分けられる。予約データ・ファイルの項目は，表２－３－２に示すとおりである。ファイル・フォーマットは，図２－３－３に示すとおりである。

ハ) 経理データ・ファイル

経理データ・ファイルは，案内所における予約・取消・変更処理にともなうコンピュータ使用料，予約金，払戻金に関するデータを取扱うファイルである。経理データ・ファイルの項目は，表２－３－３に示すとおりであり，ファイル・フォーマットは，図２－３－４に示すとおりである。

ニ) 予約明細テープ

予約明細テープは，宿泊に関する予約・取消・変更処理および行事予約・取消・変更処理における履歴の明細を記録したテープである。予約明細テープの項目について，表２－３－４に示すとおりであり，テープ・フォーマットは，図２－３－５に示すとおりである。

表２－３－２(1)　予約データ・ファイル項目一覧表

		項　　目	桁　数	タ　イ　プ
予約データ・ファイル	予約ファイル	ユースホステルコード	5	N
		利　用　月　日	4	N
		宿泊可能数（合計）	3	N
		〃　　（男）	3	N
		〃　　（女）	3	N
		予　約　数（合計）	3	N
		〃　　（男）	3	N
		〃　　（女）	3	N
		食　　事（夕）	3	N
		〃　　（朝）	3	N
		食事提供可否	1	N
			（34）	
	予約受付ファイル	予約受付№	6	N
		会　員　番　号	8	N
		連絡電話番号	11	N
		取扱案内所コード	4	N
		宿　泊　月　日	4	N
		ユース・ホステルコード	5	N
		予　約　数（合計）	3	N
		〃　　（男）	2	N
		〃　　（女）	2	N
		食　　事（夕）	2	N
		〃　　（朝）	2	N
		到　着　時　間	4	N
		予　約　金	5	N
		払　戻　金	5	N
			（63）	

表２－３－２(2)　予約データ・ファイル項目一覧表

		項　　目	桁　数	タ　イ　プ
予約データ・ファイル	行事予約ファイル	行事№	4	N
		予約可能数（合計）	3	N
		〃　（男）	3	N
		〃　（女）	3	N
		予約数（合計）	3	N
		〃　（男）	3	N
		〃　（女）	3	N
		食事（夕）	3	N
		〃　（朝）	3	N
		制限事項	20 (48)	N，カナ
	行事予約受付ファイル	予約受付№	6	N
		会員番号	8	N
		連絡電話番号	11	N
		取扱案内所コード	4	N
		予約金（合計）	3	N
		〃　（男）	2	N
		〃　（女）	2	N
		食事（夕）	2	N
		〃　（朝）	2	N
		予約金	5	N
		払戻金	5	N
			(50)	

FILE LAYOUT FORM

（予約データ・ファイル） 予約ファイル

ユース・ホステル コード	利用月日	宿泊可能数（合計）	宿泊可能数（男）	宿泊可能数（女）	予約数（合計）	予約数（男）	予約数（女）	食事（夕）	食事（朝）	食事提供可否	利用月日	宿泊可能数（合計）	宿泊可能数（男）	宿泊可能数（女）	予約数（合計）	予約数（男）	予約数（女）	食事（夕）	食事（朝）	食事提供可否	利用月日	宿泊可能数（合計）	宿泊可能数（男）	宿泊可能数（女）	予約数（合計）	予約数（男）	予約数（女）	食事（夕）	食事（朝）	食事提供可否
5	4	3	3	3	3	3	3	3	3	1	4	3	3	3	3	3	3	3	3	1	4	3	3	3	3	3	3	3	3	1

01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

予約受付ファイル

予約受付地	会員番号	連絡電話番号	取扱案内所コード	宿泊月日	ユース・ホステル コード	予約数	予約数	予約数	食事	食・事	到着時間	予約金	払戻金
6	8	11	4	4	5	3	2	2	2	2	4	5	5

01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

図２－３－３(1) 予約データ・ファイルの様式

FILE LAYOUT FORM

【予約データ・ファイル】 行事予約ファイル

予約No.	予約可能数(合計)	予約可能数(男)	予約可能数(女)	予約数(合計)	予約数(男)	予約数(女)	食事(夕)	食事(朝)	制限事項
4	3	3	3	3	3	3	3	3	

行事予約受付ファイル

予約受付No.	会員番号	連絡電話番号	取扱案内所コード	予約数(合計)	予約数(男)	予約数(女)	食事(夕)	食事(朝)	予約金	払戻金
6	8	11	4	3	2	2	2	2	5	5

図 2 － 3 － 3(2)　予約データ・ファイルの様式

表２－３－３　経理データ・ファイル項目一覧表

	項　　目	桁　数	タ　イ　プ
経理データ・ファイル	案内所コード	4	N
	月　　日	4	N
	コンピュータ使用料（件数）	3	N
	〃　　（金額）	6	N
	予　約　金　（件数）	3	N
	〃　　（金額）	6	N
	払　戻　金　（件数）	3	N
	〃　　（金額）	5	N
	月合計，コンピュータ使用料（件数）	4	N
	〃　　〃　　（金額）	7	N
	〃　予　約　金　（件数）	4	N
	〃　　〃　　（金額）	7	N
	〃　払　戻　金　（件数）	4	N
	〃　　〃　　（金額）	6	N
	〃　総合計金額	7	N
		(73)	

FILE LAYOUT FORM

〔経理データ・ファイル〕

	月日	コンピュータ使用		予約金		払戻金		月単位 コンピュータ使用料		予約金		払戻金		総合計金額	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
	4	3	6	3	6	3	5	4	7	4	7	4	6	7	

01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 00

図－２－３－４　経理データ・ファイルの様式

表２－３－４　予約明細テープ項目一覧表

	項　　目	桁　数	タ　イ　プ
予約明細テープ	処理取扱月日	4	N
	処理コード	2	N
	予約受付№	6	N
	会員番号	8	N
	連絡電話番号	11	N
	案内所コード	4	N
	宿泊月日	4	N
	ユース・ホステルコード	5	N
	予約数（合計）	3	N
	〃　（男）	2	N
	〃　（女）	2	N
	食事（夕）	2	N
	〃　（朝）	2	N
	到着時間	4	N
		（59）	

FILE LAYOUT FORM

〔予約明細テープ〕

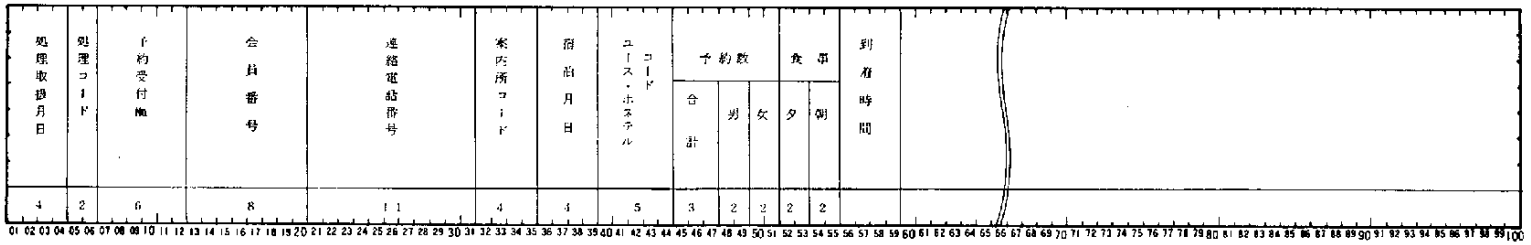


図２－３－５　予約明細テープの様式

2) ファイル編成方式

ファイル編成方式を，アクセス方式により大別すると，

- シークエンシャル・アクセス・ファイル
- インデックス・シークエンシャル・アクセス・ファイル
- ダイレクト・アクセス・ファイルが挙げられる。

シークエンシャル・アクセス・ファイルは，キーコード順にレコードが記録されており，シークエンシャルな処理，バッチ処理に適している。

インデックス・シークエンシャル・ファイルは，レコードは，キーコード順に記録されているが，このキーコードのインデックスを持っているので，このインデックスにより該当レコードの検索も可能である。このため，バッチ処理およびオンライン処理のどちらにも対応出来る方式である。

ダイレクト・アクセス・ファイルは，キーコードからレコードの記録してある番地（磁気ディスクの場合シリンダー・トラック）を計算し直接検索が可能であるため，高速なアクセスを必要とするオンライン・リアルタイム処理に適している。

以上，各ファイル編成方式の簡単な特長を述べたが，本システムに用いるマスター・ファイルの会員データ・ファイル，予約データ・ファイル，経理データ・ファイルの編成方式については，以下に述べる。

本システムで使用する各データ・ファイルと処理の関連は，図２－３－６のとおりである。この図に示された処理はオンライン処理であり，ある一定の時間内（５秒程度）で検索・応答処理しなければならない。

さらに，宿泊予約，行事予約状況問い合せ処理における検索のキーコードであるユース・ホステルコード，地区コード，行事№，宿泊予約・クーポン発行処理，宿泊予約，変更処理における処理のキーコードである。ユース・ホステルコード，予約受付№，行事予約処理，行事予約・変更処理における処理のキーコードである行事№，行事予約受付№は，各処理毎にランダムとなるので，ファイル編成方式として，シークエンシャル・アクセス・ファイル方式は，不適当で

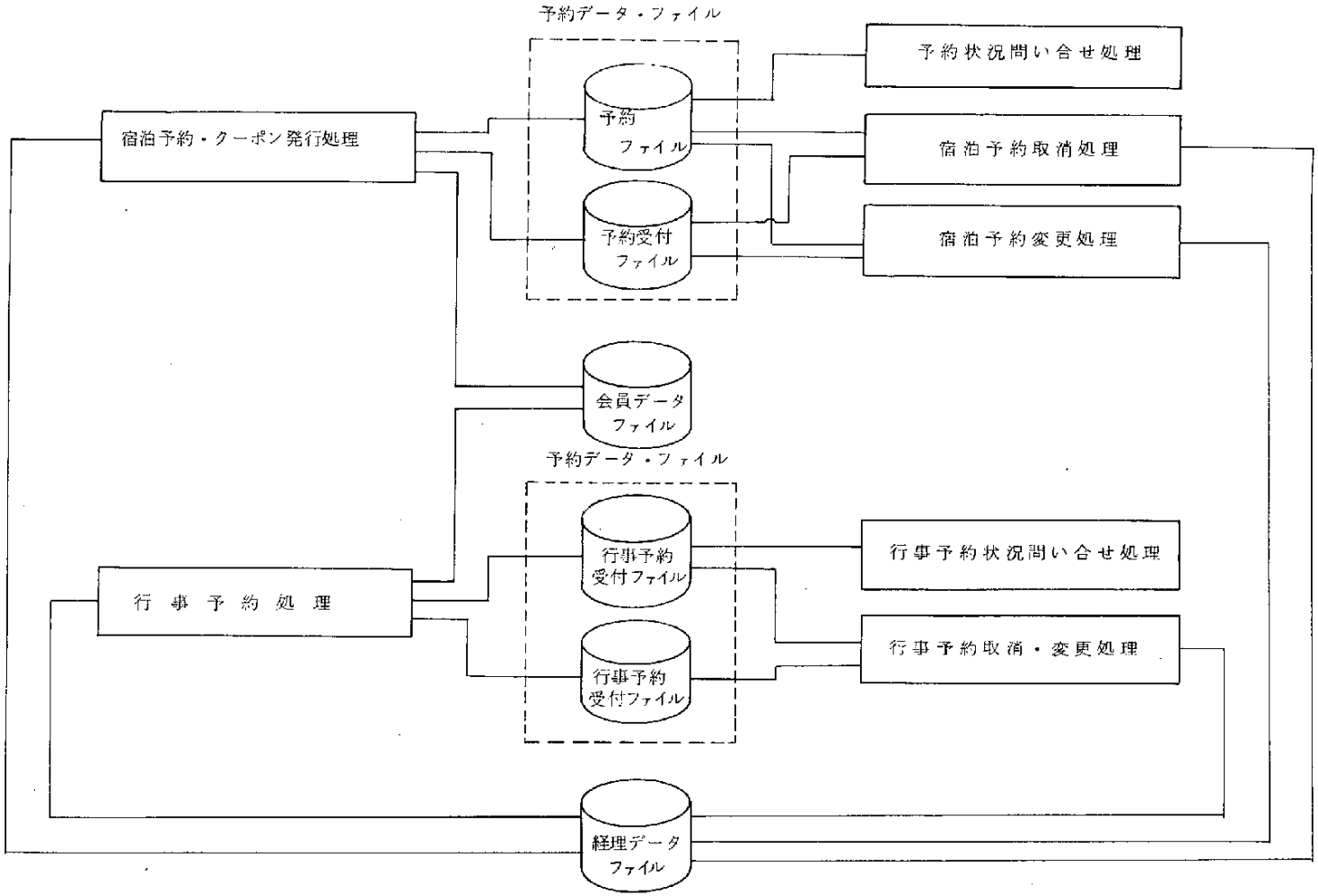


図２－３－６　処理とデータ・ファイル関連図

表２－３－５　ファイル編成方式一覧表

ファイル名称		内　　容	ファイル編成方式	記憶媒体	関　係　処　理
会員データ・ファイル	属性ファイル	登録会員の属性（会員番号，氏名，生年月日，性別等）に関するデータのファイル	インデックス・シーケンシャル・ファイル	磁　気ディスク	宿泊予約・クーポン発行処理 行事予約処理
	住所ファイル	登録会員の住所に関するデータのファイル	〃	〃	
予約データ・ファイル	予約ファイル	予約問い合せのための予約に関するデータのファイル	〃	〃	予約状況問い合せ処理 宿泊予約・クーポン発行処理 宿泊予約取消処理 宿泊予約変更処理 ユース・ホステル別予約利用実績表作成処理
	予約受付ファイル	予約・取消・変更処理済のデータを予約受付№順に記録したファイル	〃	〃	宿泊予約・クーポン発行処理 宿泊予約取消処理 宿泊予約変更処理 ユース・ホステル別入金集計表作成処理
	行事予約ファイル	行事予約問い合せのための行事予約に関するデータのファイル	〃	〃	行事予約状況問い合せ処理 行事予約処理 行事予約取消・変更処理
	行事予約受付ファイル	行事予約・取消・変更処理済のデータを予約受付№順に記録したファイル	〃	〃	行事予約処理 行事予約取消・変更処理
経理データ・ファイル	経理ファイル	宿泊予約・取消・変更処理および行事予約・取消・変更処理にともなって生ずる予約金等の金銭の出納に関するデータのファイル	〃	〃	宿泊予約・クーポン発行処理 宿泊予約取消処理 宿泊予約変更処理 行事予約処理 行事予約取消・変更処理 案内所別入金集計表作成処理

ある。そこで，ファイル編成方式としては，インデックス・シークエンシャル・アクセス・ファイルとランダム・アクセス・ファイルが考えられるが，会員データ・ファイル以外は，管理資料作成サブシステムにおいてバッチ処理すなわち，シークエンシャル処理で使用することから，予約データ・ファイルおよび経理データ・ファイルは，インデックス・シークエンシャル・アクセス・ファイルが適当である。なお，会員データ・ファイルについては，将来，会員情報管理システムとの結合を考えて，オンライン処理，バッチ処理のどちらにも対応可能なインデックス・シークエンシャル・アクセス・ファイルにして置くことが望ましい。

2.4 コード仕様

コードは，コンピュータ処理において分類・照合・トランザクションの区分などを容易にし，処理の効率化のために必要なもので，一定方式の記号・符号がもちいられ，その適否はコンピュータ・システム化の効果を左右する。コンピュータ・システムにとってはコード化は必要欠くべからざるものであり，コードは，

分類を容易にする。

コード区分によるコンピュータ処理の制御を容易かつ効率良く行なうことが出来る。

表現の標準化・簡素化・識別の明確化が出来る。

以上の目的・効用を有している。

以下に本システムにて使用するコードの体系について述べる。さらに，コード体系一覧表を表２－４－１に示す。

1) ブロック・コード

ブロック・コードは，ユース・ホステル協会の業務，活動が今以上に活発に推進するためには，将来ブロック機能が強化され，ブロック単位の運営管理が円滑に行なわれる必要があると考えるので，全国47のユース・ホステル支部協会を組織上９つのブロックに分け，コード付けしている。

なお，ブロック・コードは，ユース・ホステルコード，案内所コード，会員番号におけるブロック識別に使用される。

（体系）

[N]

数

字

ブロック コード	ブロック名
1	北海道
2	東北
3	関東
4	北信越
5	東海
6	近畿
7	中国
8	四国
9	九州

2) 支部コード

支部コードは，前述のブロック毎に，それぞれのブロックに含まれている都道府県についてコード化し，支部協会を識別するためのものである。都道府県についてはＪＩＳの都道府県コードがあり，２桁のアラビア数字の連番（０１から４７）で表わしている。本システムにおいて使用する支部コードは，都道府県に基本的には対応しているが，北海道は，地域が広くかつ，その地域内に設置されているユース・ホステルの数が多いので管理上４地区に分割することが望ましい。そのためＪＩＳコードをそのまま使用することは，無理があるので前述のブロック・コードと考えあわせて，47都道府県をブロック・コード１桁，支部コード１桁で表わすこととするが，ブロック内の支部コード付けの順番については，ＪＩＳの都道府県コードに準拠する。なお支部コードは，ユース・ホステルコード，案内所コード，会員番号における支部識別に使用される。

（体系）

N

数

字

ブロック名	支部コード，支部コード名
北海道	1道東，2道西，3道南，4道北
東北	1青森，2岩手，3宮城，4秋田，5山形，6福島
関東	1茨城，2栃木，3群馬，4埼玉，5千葉，6東京，7神奈川
北信越	1新潟，2富山，3石川，4福井，5山梨，6長野
東海	1岐阜，2静岡，3愛知，4三重
近畿	1滋賀，2京都，3大阪，4兵庫，5奈良，6和歌山
中国	1鳥取，2島根，3岡山，4広島，5山口
四国	1徳島，2香川，3愛媛，4高知
九州	1福岡，2佐賀，3長崎，4熊本，5大分，6宮崎，7鹿児島，8沖縄

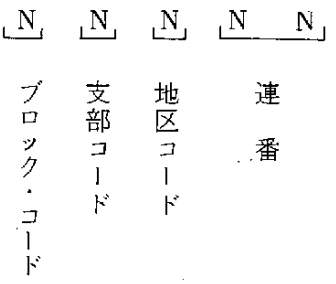
（注） 北海道については，地区区分を表わす。

3) ユース・ホステルコード

ユース・ホステルコードは，ユース・ホステル毎にユニークに付けられるコードであり，ユース・ホステルの識別のためのコードである。ユース・ホステルコードは，5桁の数字（ブロック・コード1桁，支部コード1桁，地区コード1桁，連番2桁）で構成される。地区コードは，支部コードで表わされる支部，協会内（北海道の場合は地区のユース・ホステルのうちで，ホステラーの1日の行動半径内で代替宿泊が可能なユース・ホステルについて同一（地区）コードを付している。これはホステラーからの問い合せに対応するためのものである。すなわち，宿泊予約状況問い合せ処理の日別地区ユース・ホステル別予約状況の案内サービスの際にホステラーから要望のあった地区内ユース・ホス

テルの予約状況を検索表示するために使用される。連番の2桁は，地区内ユース・ホステル（同一地区コード）について連番を付したものである。ユース・ホステルコードの例について下記に示す。

（体系）



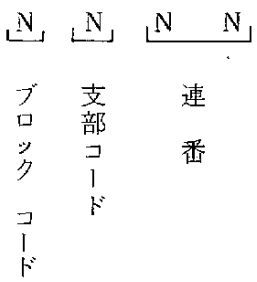
ユース・ホステルコード例　（京都府）

ユース・ホステルコード	ユース・ホステル名
6 2 1 0 1	ＹＨ松三　（京都市）
6 2 1 0 2	東山ＹＨ　（〃）
6 2 1 0 3	宇多野ＹＨ　（〃）
6 2 1 0 4	北山ＹＨ　（〃）
6 2 1 0 5	大原ＹＨ　（〃）
6 2 1 0 6	大原郷ＹＨ　（〃）
6 2 2 0 1	天橋立ＹＨ　（宮津市）
6 2 2 0 2	ＹＨ天橋立観光会館（〃）
6 2 2 0 3	丹後半島ＹＨ　（竹野郡）
6 2 2 0 4	ＹＨ松尾寺　（舞鶴市）
6 2 3 0 1	ＹＨ亀岡市青年の家（亀岡市）
6 2 4 0 1	ＹＨ海住山寺　（相楽郡）

4) 案内所コード

案内所コードは，案内所毎にユニークに付けられるコードであり，案内所の識別のためのコードである。案内所コードは，４桁の数字（ブロック・コード１桁，支部コード１桁，連番２桁）で構成される。連番の２桁は，支部コードで表わされる支部協会内（北海道の場合は地区）の案内所に連続番号を附したものである。案内所コードの例をついて下記に示す。

（体 系）



案内所コード例 （神奈川県）

案内所コード	案内所名
3 7 0 1	（横 浜）神奈川県ＹＨ協会入会案内所
3 7 0 2	（横 浜）相鉄観光二俣川駅ビル案内所
3 7 0 3	（川 崎）新関東旅行
3 7 0 4	（川 崎）臨港トラベルサービス
3 7 0 5	（横須賀）京浜ツーリスト
3 7 0 6	（鎌 倉）島森書店
3 7 0 7	（藤 沢）伊沢運動具店
3 7 0 8	（平 塚）神奈川中央観光平塚案内所
3 7 0 9	（小田原）石寿堂運動具店
3 7 1 0	（大 和）相鉄観光大和案内所

5) パス種別コード

パス種別コードは，ユース・ホステル会員の年令利用資格により分けた区分に付けられるコードである。現在パス種別は，少年パス（15才以下），青年パス（16才～19才），成人パス（20才以上），3年継続パス（3年間有効パス），家族パス（本人を含め同一家族6名まで利用可能），リーダーパス（満19才以下50名までの団体における成人指導者が使用し，個人使用は不可である。）の6種類がある。パス種別コードの設定については，会員登録，会員情報管理との関連を考慮して慎重に決めなければならないが，本システムにおけるパス種別コードの考え方を次に述べる。

パス種別コードは，少年パス，青年パス，成人パス，家族パスについてのみ利用比率に応じてコード付けし，従来からある3年継続パスは，利用が少ないことから廃止することを提案する。また，リーダーパスについては，リーダーパス取得資格者は，県支部協会へ申請し，作成することとし，リーダーパスの管理は県支部協会にて行なうことが望ましいと考える。なお，リーダーパスによる利用は，少なくとも1ケ月前にユース・ホステルへ直接連絡し，予約を取ることとする。コード"9"は特別コードでファイル修正処理用のパスワードおよびメンテナンス用に使用される。

（体系）

N

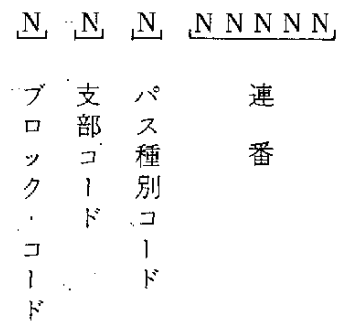
数字

パス種別コード	パス種別
1	少年パス
2, 3	青年パス
4, 5, 6, 7	成人パス
8	家族パス
9	特別コード

6）会員番号

会員番号は，ユース・ホステル利用会員（ホステラー）にユニークに付けられるコードで，ホステラーの識別のためのコードである。会員番号は，8桁の数字（ブロック・コード1桁，支部コード1桁，パス種別コード1桁，連番5桁）で構成される。連番の5桁は，会員登録受付順に付加される番号であり，年度の会員証の更新に関係なく会員番号の更新はしない。例えば，会員が一番多い東京都の成人パスを例にとると，成人パス会員番号は，36400001～36799999まで用意されているので，初年度10万人づつ会員が増えたとしても8年目にようやくオーバーフローする計算になる。すなわち，少なくとも7年間は会員番号を変更する必要がないので充分であると考える。

（体系）



例.

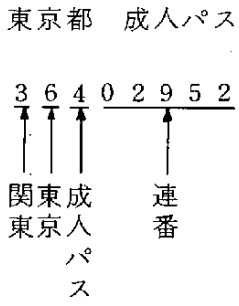


表２－４－１　コード体系一覧表

コード名	体系	桁数	内容
ブロックコード	N	1	ブロックの識別のためのコード
支部コード	N	1	支部の識別用コードでブロックコードと一諸に用い支部を識別する
ユース・ホステルコード	N N N NN ブロック 支部 地区 連番	5	ユース・ホステルの識別のためのコード
案内所コード	N N NN ブロック 支部 連番	4	案内所の識別のためのコード
パス種別コード	N	1	パス種別（少年，青年，成人等）を識別するコード
会員番号	N N N NNNN ブロック 支部 パス種別 連番	8	登録会員の識別のためのコード

3. 実験モデル・システム

3.1 実験モデル・システムの概要 …… 95

3.2 実験モデル・システム・プログラム …… 105

3. 実験モデルシステム

3.1 実験モデル・システムの概要

1) システムの構成

前章システム設計にて記述した宿泊情報管理システムのうちの一部を実験モデル・システムとしてプログラム作成を行なった。実験モデル・システムの構成は，宿泊情報管理システムを中核としているが，宿泊情報管理システムの実験テストには，会員の情報およびホステルの情報が必要である。そのため，付帯処理として，ファイル作成サポート・プログラムを作成する。図３－１－１に実験モデル・システムの構成を示す。

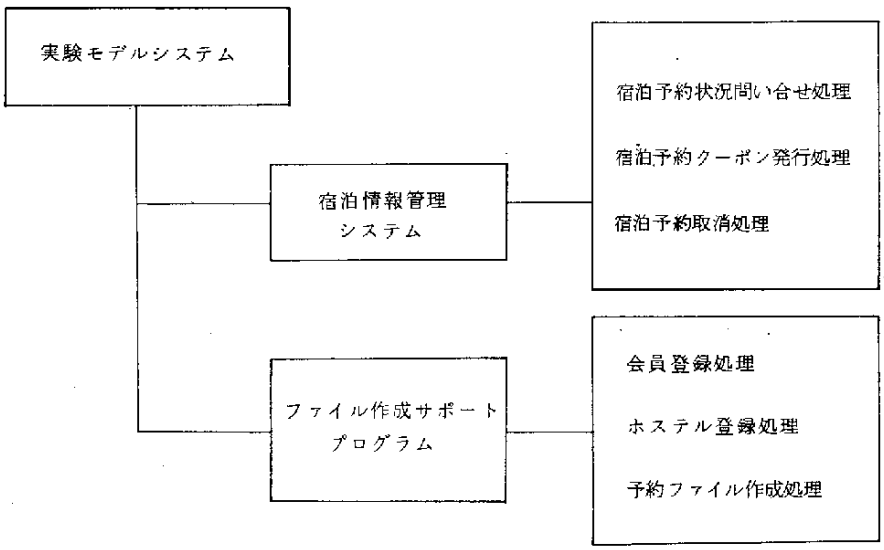


図３－１－１　実験モデル・システム構成図

2) 処理概要

実験モデル・システムの処理方式は，処理対象によりオフライン・バッチ処理とオンライン・リアルタイム処理を採用する。

処理方式別処理対象は，表３－１－１に示すとおりである。

表３－１－１　処理方式と処理対象

処理方式	処理対象
オフライン・バッチ処理	〔ファイル作成サポートプログラム〕 ①　会員登録処理 ②　ホステル登録処理 ③　予約ファイル作成処理
オンライン・リアルタイム処理	〔宿泊情報管理システム〕 ①　宿泊予約状況問い合せ処理 ②　宿泊予約クーポン発行処理 ③　宿泊予約取消処理

会員登録処理は，会員登録データをホスト・コンピュータで処理し会員データ・ファイルを作成する処理である。

ホステル登録処理は，ホステル登録データをホスト・コンピュータで処理しホステル・ファイルを作成する処理である。

予約ファイル作成処理は，ホステル・ファイルより予約データ・ファイルを作成する処理である。

宿泊予約状況問い合せ処理は，端末から入力する問い合せによりホスト・コンピュータが検索した予約データ・ファイルの宿泊予約状況を端末の画面に表示する処理である。

宿泊予約クーポン発行処理は，端末から宿泊予約情報を入力し，ホスト・コンピュータで宿泊予約処理を行ない，端末のプリンタにクーポン券を出力する処理である。

宿泊予約取消処理は，端末から宿泊予約取消情報を入力し，ホスト・コンピュータで宿泊の予約取消を行なう処理である。

実験モデル・システムの概要を，図３－１－２に示す。次に名処理の流れについて，図３－１－３より図３－１－９に示す。

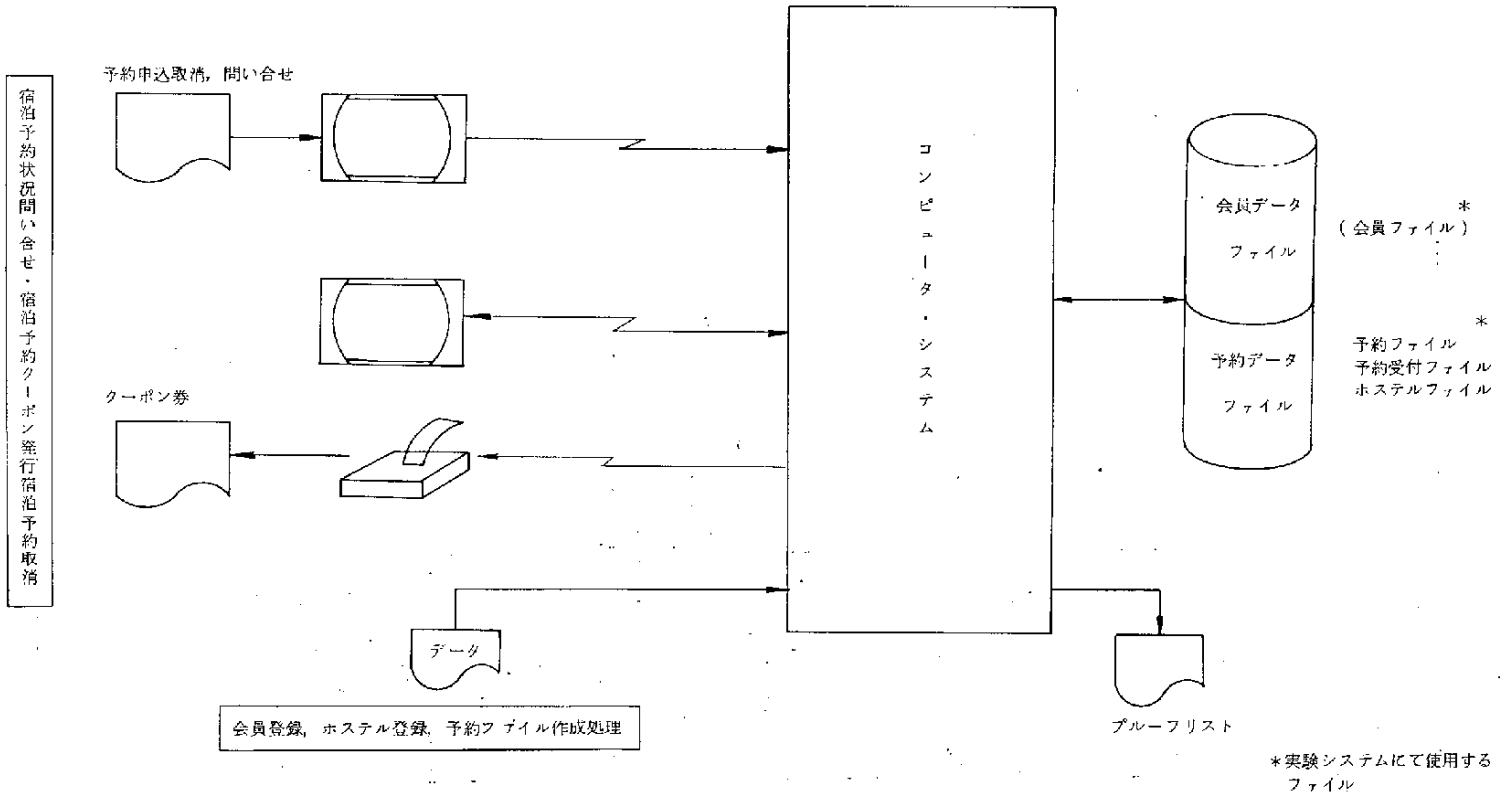
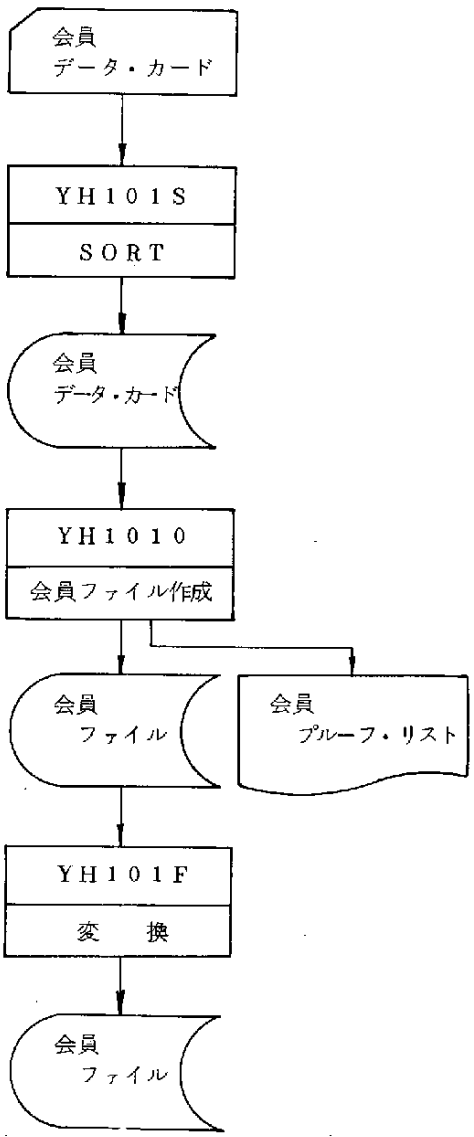


図３－１－２　実験モデル・システム処理概念図

(1)　会員登録処理



YH101S：

会員データ・カードを分類する。

SORT KEY

1. 会員番号

YH1010：

会員データ・カードより，会員ファイルを作成する。

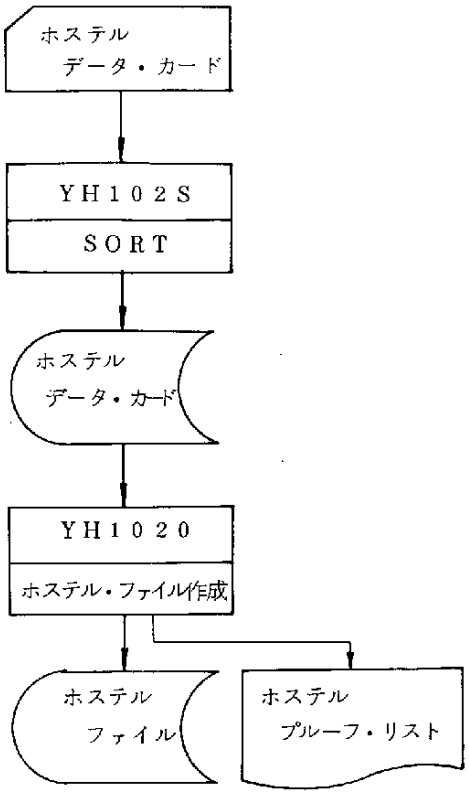
YH101F：

会員ファイルの編成を変える。

（SEQ→ i.S.F）

図３－１－３　会員登録処理フロー

(2)　ホステル登録処理



YH102S：

ホステルデータ・カードを分類する。

SORT KEY

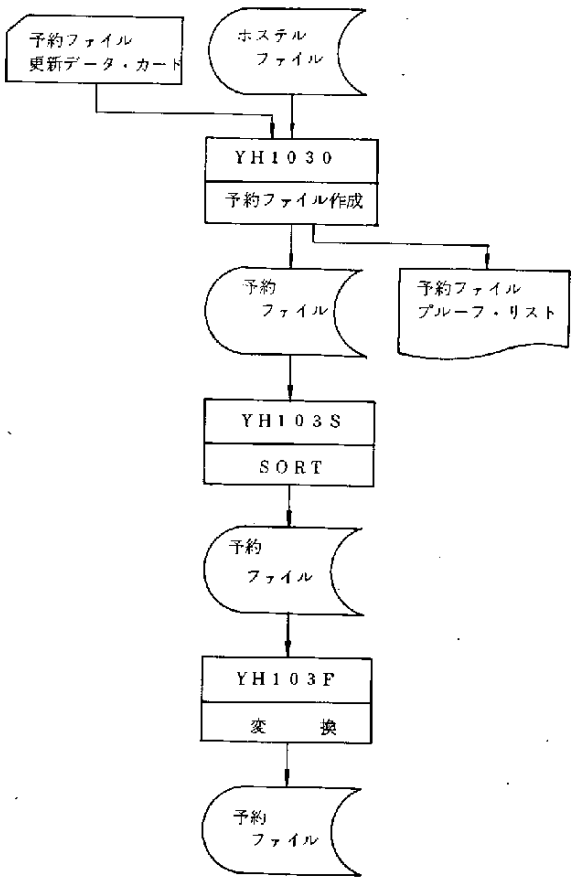
1. ユース・ホステルコード

YH1020：

ホステルデータ・カードより，ホステル・ファイルを作成する。

図３－１－４　ホステル登録処理フロー

(3)　予約ファイル作成処理



YH1030：

ホステル・ファイルより，ホステル別，日別に予約ファイルを作成する。

YH103S：

予約ファイルを分類する。

SORT KEY

1. 宿泊利用日付
2. ユース・ホステルコード

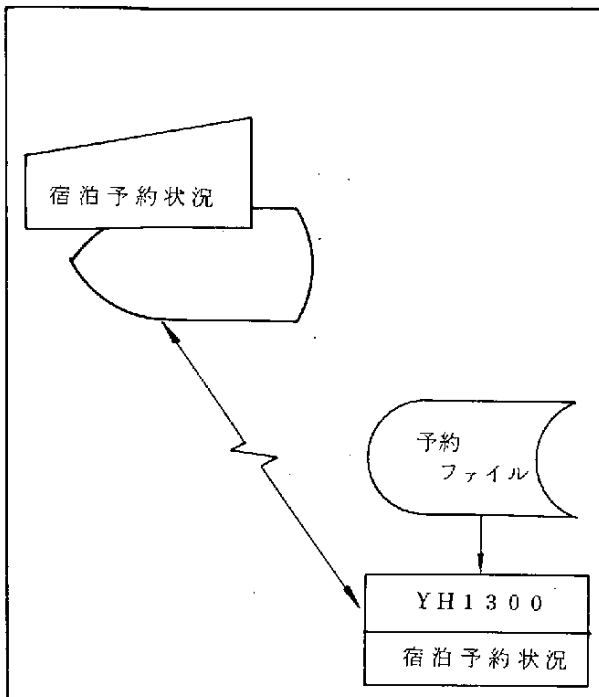
YH103F：

予約ファイルの編成を変える。

（SEQ→i.S.F）

図３－１－５　予約ファイル作成処理フロー

(4)　宿泊予約状況問い合せ処理

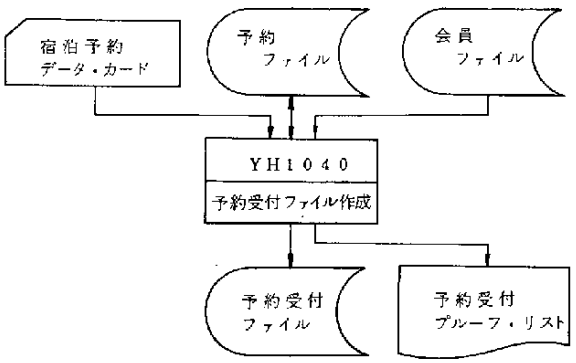


YH1300：

CRT より打鍵された，宿泊日付，ホステルコード（ブロックおよび支部コード）により，予約ファイルを検索し，宿泊予約状況画面で表示する。

図３－１－６　宿泊予約状況問い合せ処理フロー

(5)　宿泊予約・クーポン発行処理（その１）



YH1100：

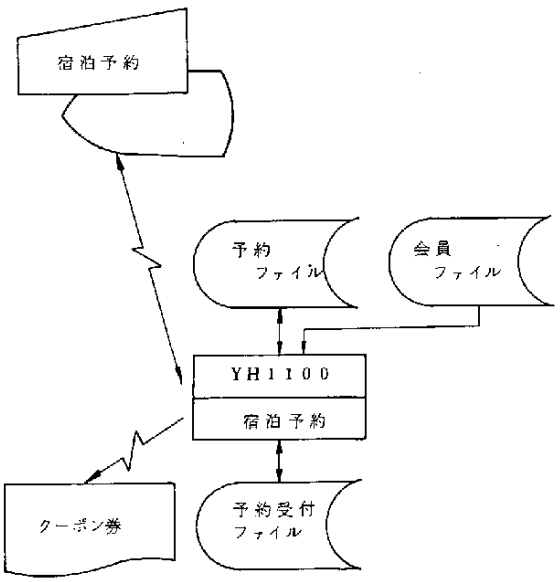
(1)　CRT の宿泊予約画面を表示し，宿泊予約データを受ける。

(2)　宿泊予約データの会員番号，宿泊日付，宿泊ホステルコードをそれぞれ会員ファイル，予約ファイルと照合する。

(3)　宿泊予約が可能であれば，予約ファイル，予約受付ファイルを更新し，クーポン券を発行する。

図３－１－７　宿泊予約・クーポン発行処理フロー（その１）

(6) 宿泊予約・クーポン発行処理（その２）



YH1040：

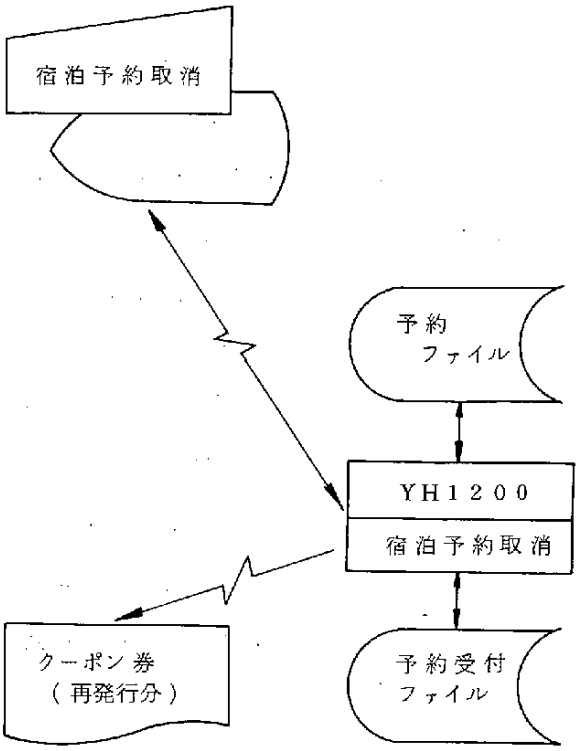
(1) 予約受付ファイルの初期ファイルを作成する。

(2) 宿泊予約データ・カードの会員番号，宿泊日付，宿泊ホステルコードを会員ファイル，予約ファイルと照合する。

(3) 宿泊予約が可能であれば，予約ファイル，予約受付ファイルを更新する。

図３－１－８　宿泊予約・クーポン発行処理フロー（その２）

(7)　宿泊予約取消処理



YH1200：

(1)　CRT より打鍵された，宿泊予約番号により，予約受付ファイルを検索し，宿泊予約取消画面を表示する。

(2)　CRT より打鍵された，宿泊予約取消情報により，予約ファイル，予約受付ファイルを更新する。

(3)　連泊の内，一部取消の場合は，クーポン券を再発行する。

図 3－1－9　宿泊予約取消処理フロー

3.2　実験モデル・システム・プログラム

3.2.1　プログラム一覧

実験モデル・システムのプログラムは，オフライン・バッチ処理の会員ファイル作成（プログラム№ YH1010），ホステル・ファイル作成（同 YH1020），予約ファイル作成（同 YH1030）および予約受付ファイル作成（同 YH1040）である。

オンライン・リァルタイム処理のプログラムは，宿泊予約状況問い合せ（同 YH1300），宿泊予約クーポン発行（同 YH1100），宿泊予約取消（同 YH1200）である。

プログラムと，各プログラムの処理概要を，表３－２－１プログラム一覧表に示す。

3.2.2　プログラム仕様

実験モデル・システムのプログラム仕様は，プログラム仕様書およびモジュール仕様書より構成されている。それぞれの仕様の記述内容は以下に示すとおりである。

プログラム仕様

処理概要

（処理概要図，処理概要の説明，使用ファイル一覧）

プログラムの構造

（モジュール名とモジュールの関連）

モジュールの機能概要

プログラムの流れ

処理条件

モジュール仕様

機能概要

表３－２－１　プログラム一覧表

項番	プログラム名	オンライン／オフライン	プログラム名	処理の概要
1	ＹＨ１０１０	オフライン	会員ファイル作成	会員登録票を編集し，会員データ・ファイル（属性ファイル）を作成する。
2	ＹＨ１０２０	オフライン	ホステル・ファイル作成	ホステル登録票を編集し，宿泊予約データ・ファイル（ホステル・ファイル）を作成する。
3	ＹＨ１０３０	オフライン	予約ファイル作成	宿泊予約データ・ファイル（ホステル・ファイル）と予約ファイル更新票より，宿泊予約データ・ファイル（予約ファイル）を作成する。
4	ＹＨ１０４０	オフライン	予約受付ファイル作成	宿泊予約申込書の会員番号，ホステル・コードを会員データ・ファイル（属性ファイル），宿泊予約データ・ファイル（予約ファイル）と照合し，宿泊予約データ・ファイル（予約ファイルおよび予約受付ファイル）を更新する。
5	ＹＨ１１００ ＹＨ１１０Ａ	オンライン	宿泊予約クーポン発行 宿泊予約クーポン発行メイン・モジュール	項番４，予約受付ファイル作成と同様の処理を行い，クーポン券を発行する。
6	ＹＨ１２００ ＹＨ１２０Ａ	オンライン	宿泊予約取消 宿泊予約取消メイン・モジュール	宿泊予約取消申込書の会員番号と予約受付番号により，宿泊予約データ・ファイル（予約受付ファイル）を検索し，宿泊予約データ・ファイル（予約ファイルおよび予約受付ファイル）を更新する。
7	ＹＨ１３００ ＹＨ１３０Ａ	オンライン	宿泊予約状況問い合せ 宿泊予約状況問い合せメイン・モジュール	宿泊予約問い合せ申込書の宿泊年月日とホステル・コードにより，宿泊予約データ・ファイル(予約ファイル)の内容を表示する。

受け渡し場所

（モジュール間でのデータの受け渡し場所の説明）

処理条件

なお，モジュール仕様において，画面の入出力に関するモジュールの仕様は，その機能概要にとどめている。

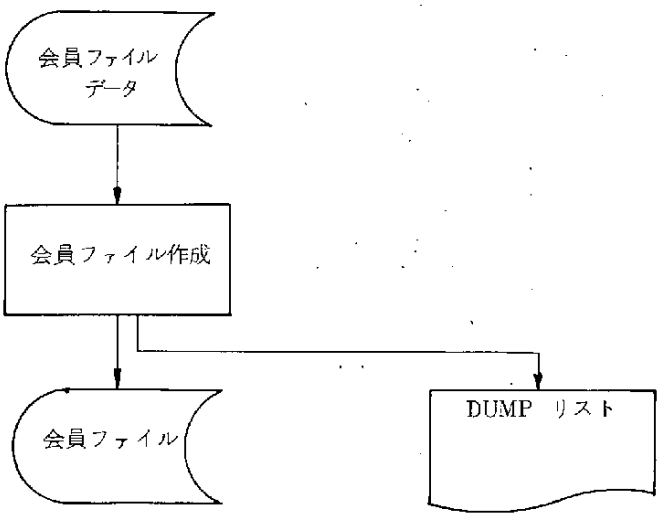
1) プログラム仕様

イ) 会員ファイル作成 （YH1010）

(1) 処理概要

会員・ファイルデータより，会員ファイルを作成し，その結果をDUMPリストに出力する。

本処理は，オフライン処理である。



(2) プログラムの構造

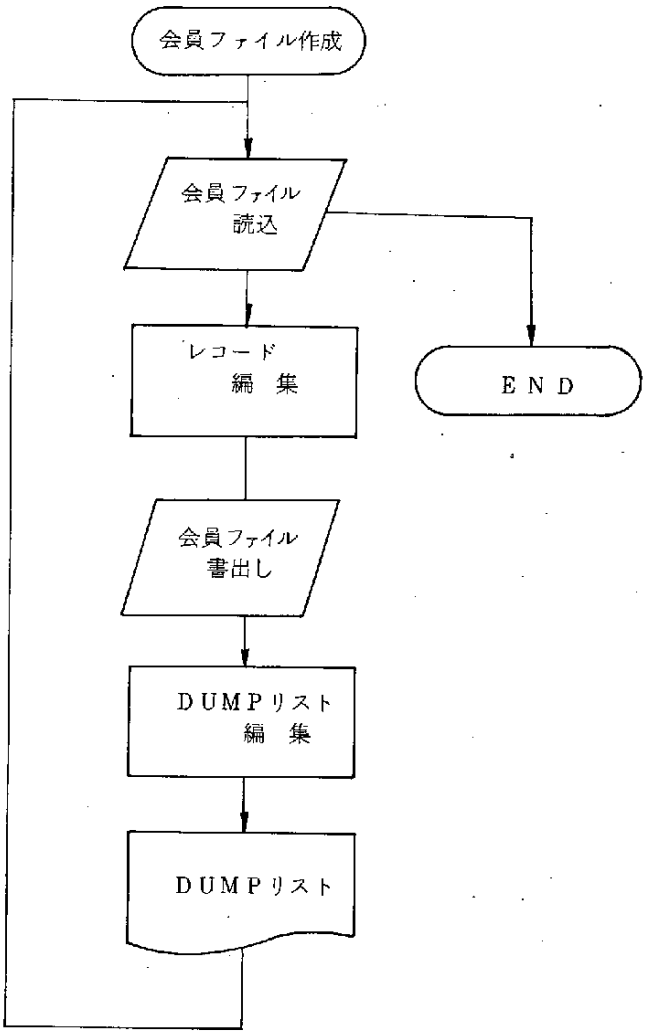
会員ファイル作成モジュール（YH1010）より構成される。

(3) モジュールの機能概要

① メイン・モジュール （YH1010）

会員データ・ファイル（SORT済）を入力として，会員ファイルを作成する。また，その結果をDUMPリストに出力する。

(4) プログラムの流れ



(5) 処理条件

① 前提条件

ⓐ SORT 処理

SORT KEY …… 会員番号 （8桁）

昇 順

処理方法 …… uTiLiTY SORT

② 本 処 理

ⓐ 会員ファイル編集処理

受け項目	送り項目
会員ファイル レコード領域	会員ファイル レコード領域

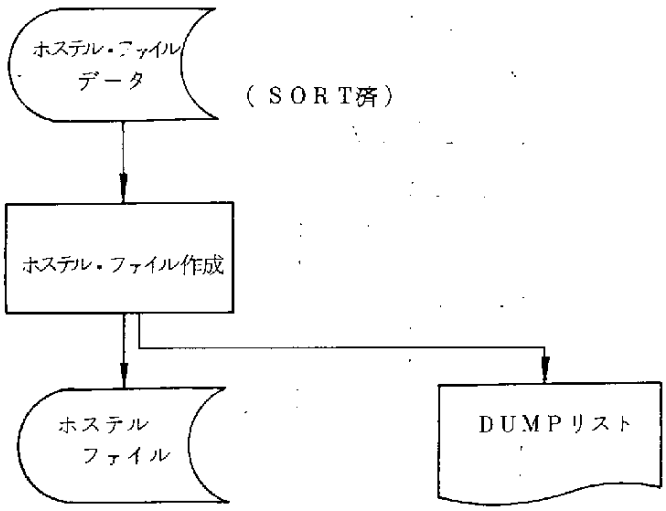
ⓑ DUMP リスト作成処理

ロ) ホステル・ファイル作成 （YH1020）

(1) 処理概要

ホステル・ファイルデータより，ホステル・ファイルを作成し，その結果をDUMPリストに出力する。

本処理は，オフライン処理である。



(2) プログラムの構造

ホステル・ファイル作成，ファイル作成モジュール（YH1020）より構成される。

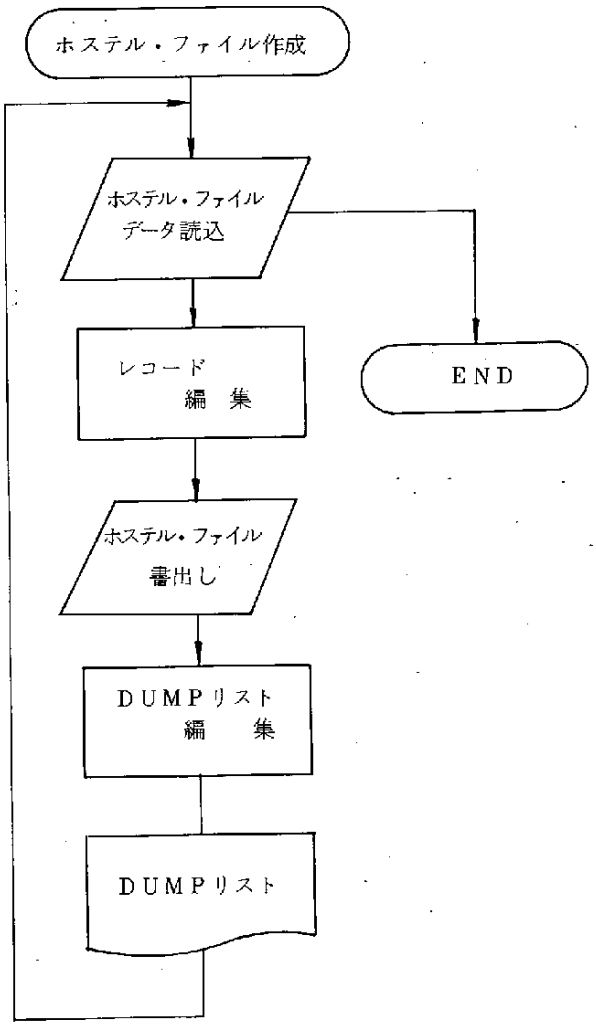
(3) モジュールの機能概要

① メイン・モジュール （YH1020）

ホステルファイル・データ（ SORT 済）を入力して，ホステル・ファイルを作成する。

また，その結果をDUMPリストに出力する。

(4) プログラムの流れ



(5) 処理条件

① 前提条件

ⓐ SORT KEY処理

SORT KEY …… ホステルコード （ 5桁）

昇　順

処理方法 …… uTiLiTY SORT

② 本 処 理

ⓐ ホステル・ファイル編集処理

受け項目	送り項目
ホステル・ファイル レコード領域	ホステル・ファイル・ データレコード領域

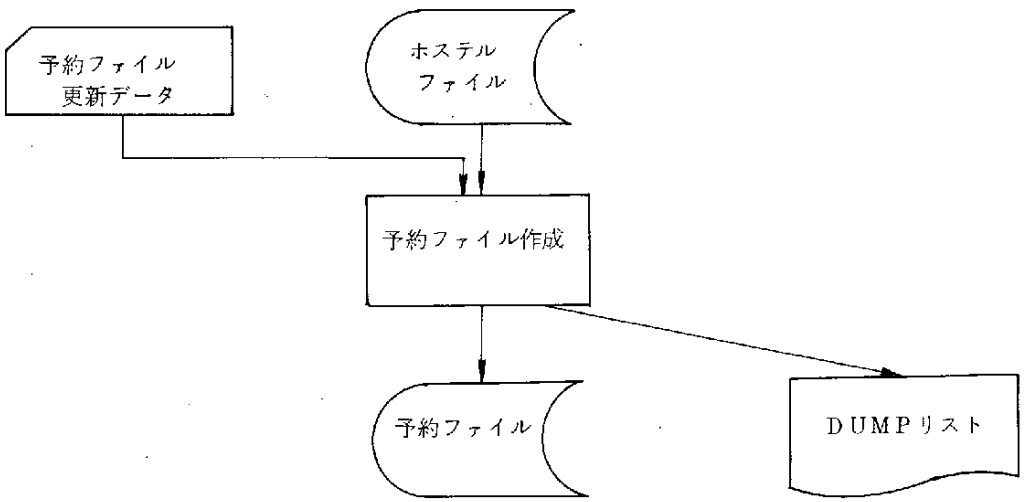
ⓑ DUMPリスト作成処理

ハ) 予約ファイル作成 （YH1030）

(1) 処理概要

ホステル・ファイルを基に，ホステルの属性をホステル別，日別に予約ファイルにデータ設定する。

本処理は，オフライン処理である。



(2) プログラムの構造

予約ファイル作成モジュール（YH1030）より構成される。

(3) モジュールの機能概要

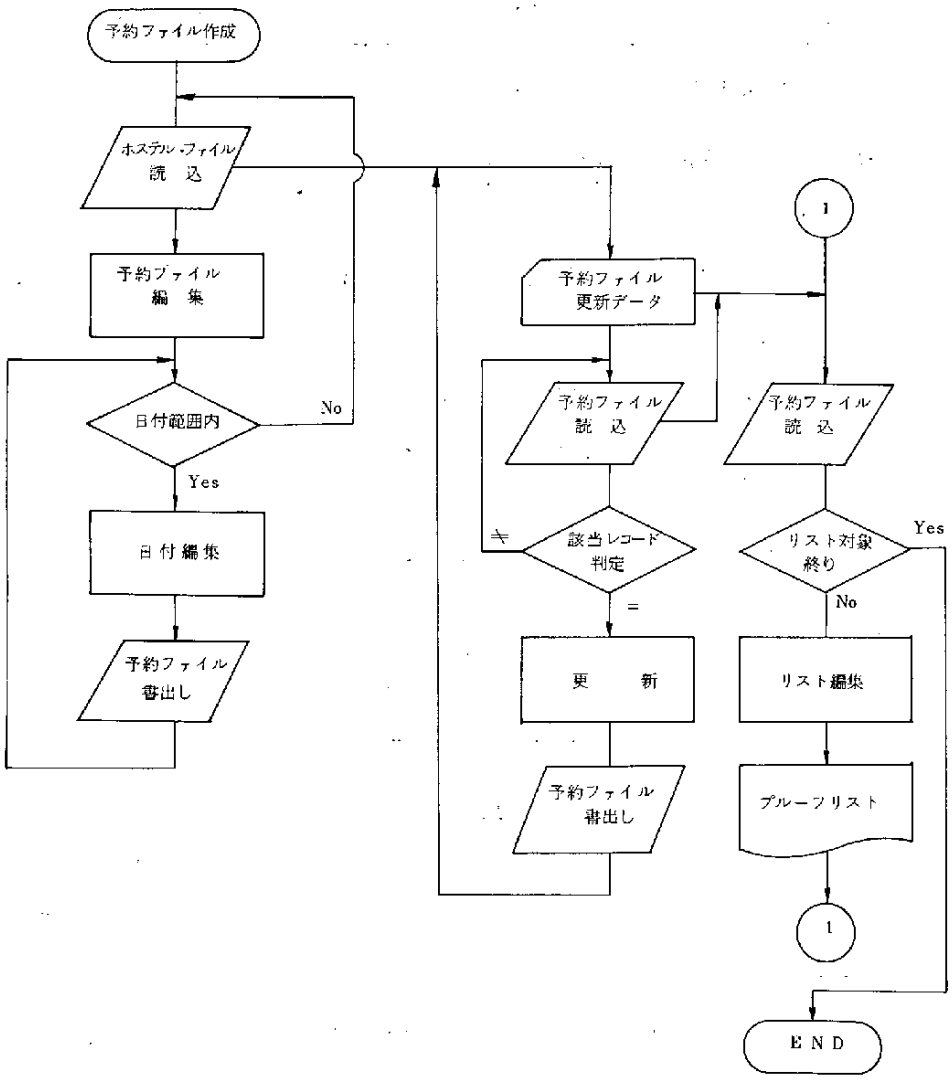
① メイン・モジュール （YH1030）

ホステル・ファイルを基に，ホステルの属性をホステル別，宿泊年月日別に予約ファイルに拡張作成する。

ⓐ　予約ファイルの作成処理

ⓑ　予約ファイル・DUMPリスト出力処理

(4)　プログラムの流れ



(5) 処理条件

① ホステル・ファイルの読込み処理

読込み終了時，③項予約ファイル更新処理へ分岐する。

② 予約ファイル編集処理

1ホステル・ファイルレコードから，宿泊年月日単位の予約ファイルレコードを拡張作成する。

ⓐ 編 集

受け項目	送り項目
宿泊年月日	VALUE
ユース・ホステルコード	ユース・ホステルコード
宿泊予約可能人員数	宿泊予約可能人員数
宿泊予約済人員数	VALUE ZERO
食事予約提供可否情報	食事予約提供可否情報
食事予約済数情報	VALUE ZERO
ユース・ホステル名	ユース・ホステル名

ⓑ 宿泊年月日の範囲 CHECK

ⓒ 宿泊年月日の設定（予約ファイル編集）

ⓓ 予約ファイル・レコードの書出し処理

③ 予約ファイル更新処理

ⓐ 予約ファイル更新データの読込

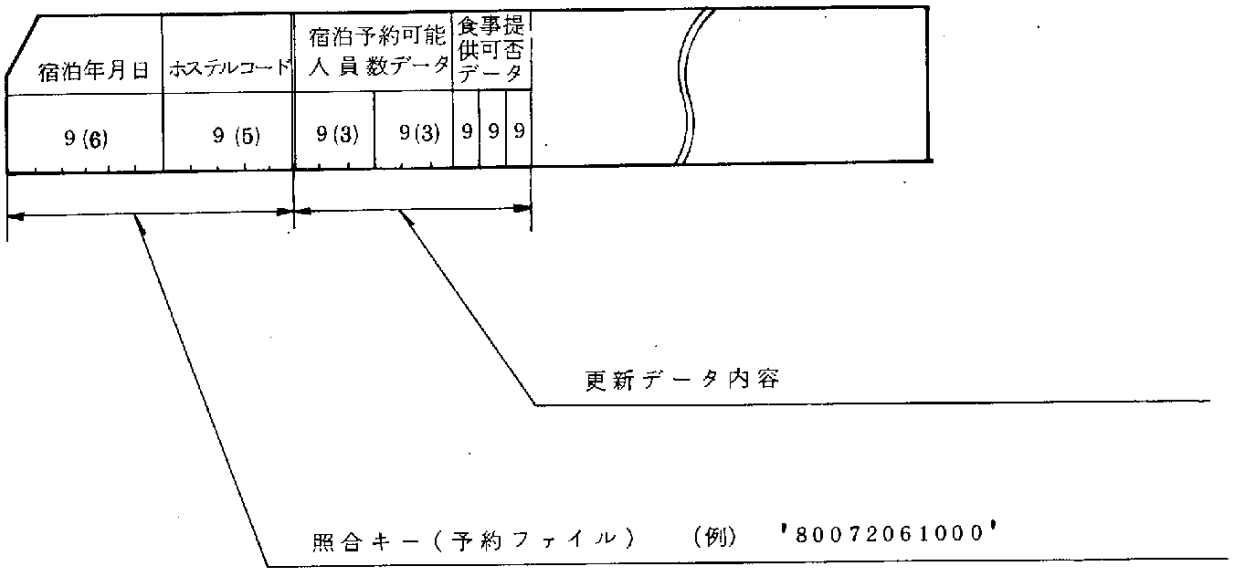
データ読込み終了時，④項DUMPリスト作成処理へ分岐する。

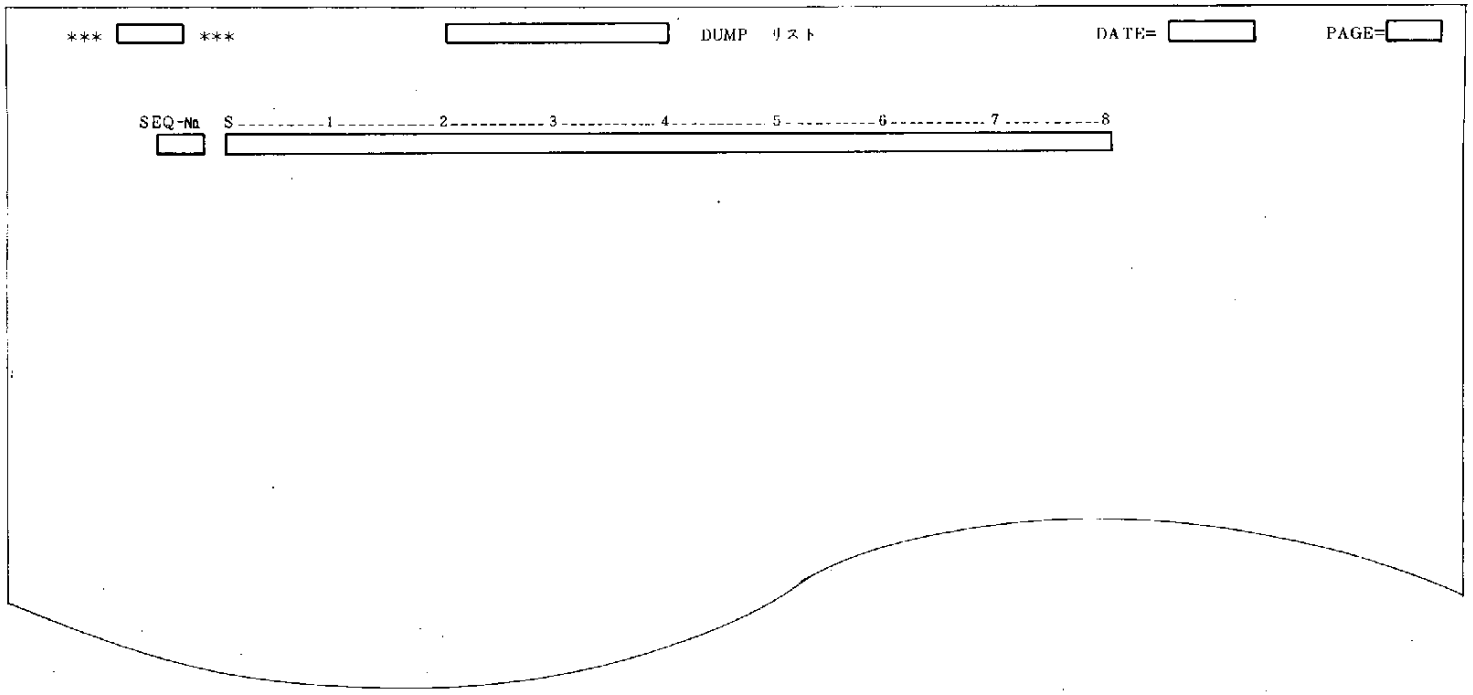
ⓑ 予約ファイルの読込

ⓒ 該当レコード判定（宿泊年月日，ホステルコード）

ⓓ 更新（編集）

宿　泊　予　約　更　新　デ　ー　タ


宿泊年月日
ホステルコード
宿泊予約可能人員数データ
食事提供可否データ
9(6)
9(5)
9(3)
9(3)
9
9
9
更新データ内容
照合キー（予約ファイル）　（例）　'80072061000'


*** *** DUMP リスト DATE= PAGE=
SEQ-No S 1 2 3 4 5 6 7 8

予約ファイル更新対象項目	処　理　内　容
宿泊予約可能人員数 （男子計，女子計）	予約ファイル更新データの内容を減じる。
食事予約提供可否 （夕，朝，自　炊）	データの内容が＂１＂のとき，予約ファイルの内容を反転する。

④　DUMPリスト作成処理

ⓐ　予約ファイル読込み

読込み終了時，処理終了

ⓑ　DUMPリスト編集・出力

ⓒ　④ⓐへ分岐

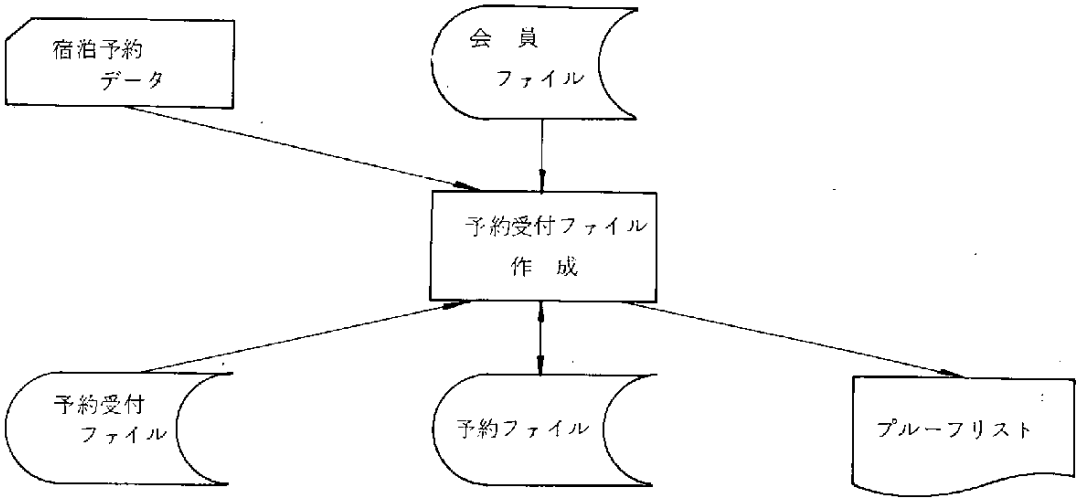
⑤　処理終了

ニ）予約受付ファイル作成　（YH1040）

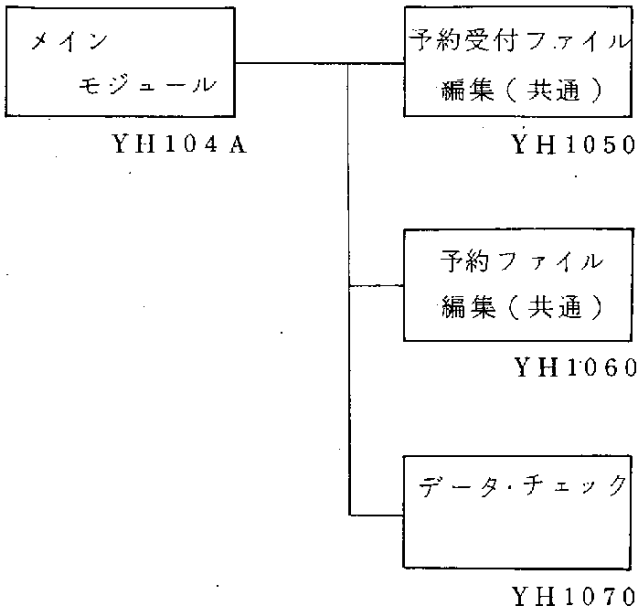
(1)　処理概要

宿泊予約データより予約情報を予約受付ファイルと予約ファイルにデータ設定する。

本処理は，オフライン処理である。



(2) プログラムの構造



(3) モジュールの機能概要

① メイン・モジュール （YH104A）

宿泊予約データの予約情報から，予約ファイルおよび予約受付ファイルのデータ設定を行なうと共に，宿泊予約データ・プルーフリストを出力する。

ⓐ 予約受付ファイルのデータ設定

ⓑ 予約ファイルのデータ設定

ⓒ 宿泊予約データ・プルーフリスト出力

② 予約受付ファイル編集・モジュール （YH1050）

宿泊予約データの予約情報から，予約受付ファイル・レコードの編集処理を行なう。

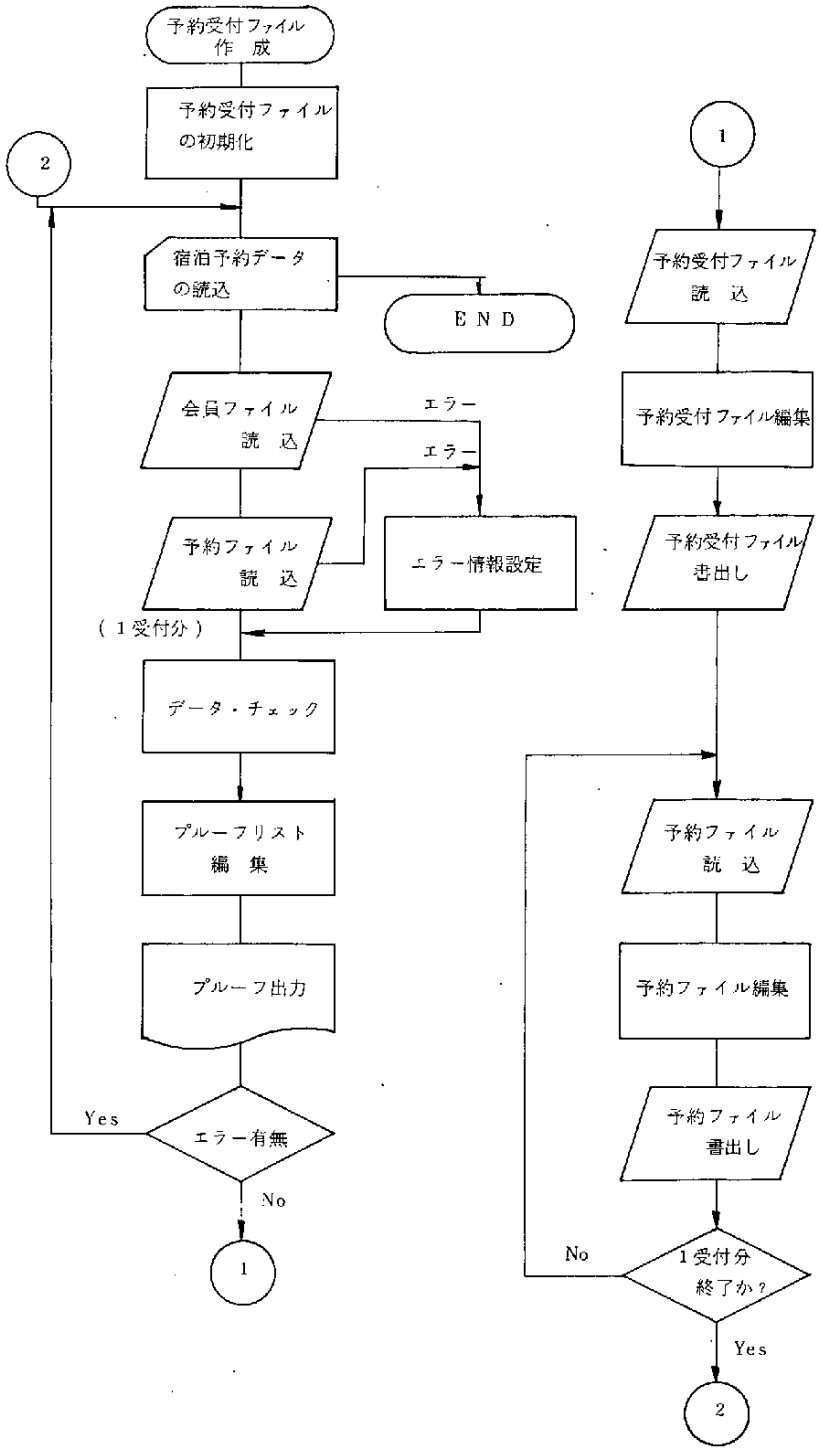
③ 予約ファイル編集・モジュール （YH1060）

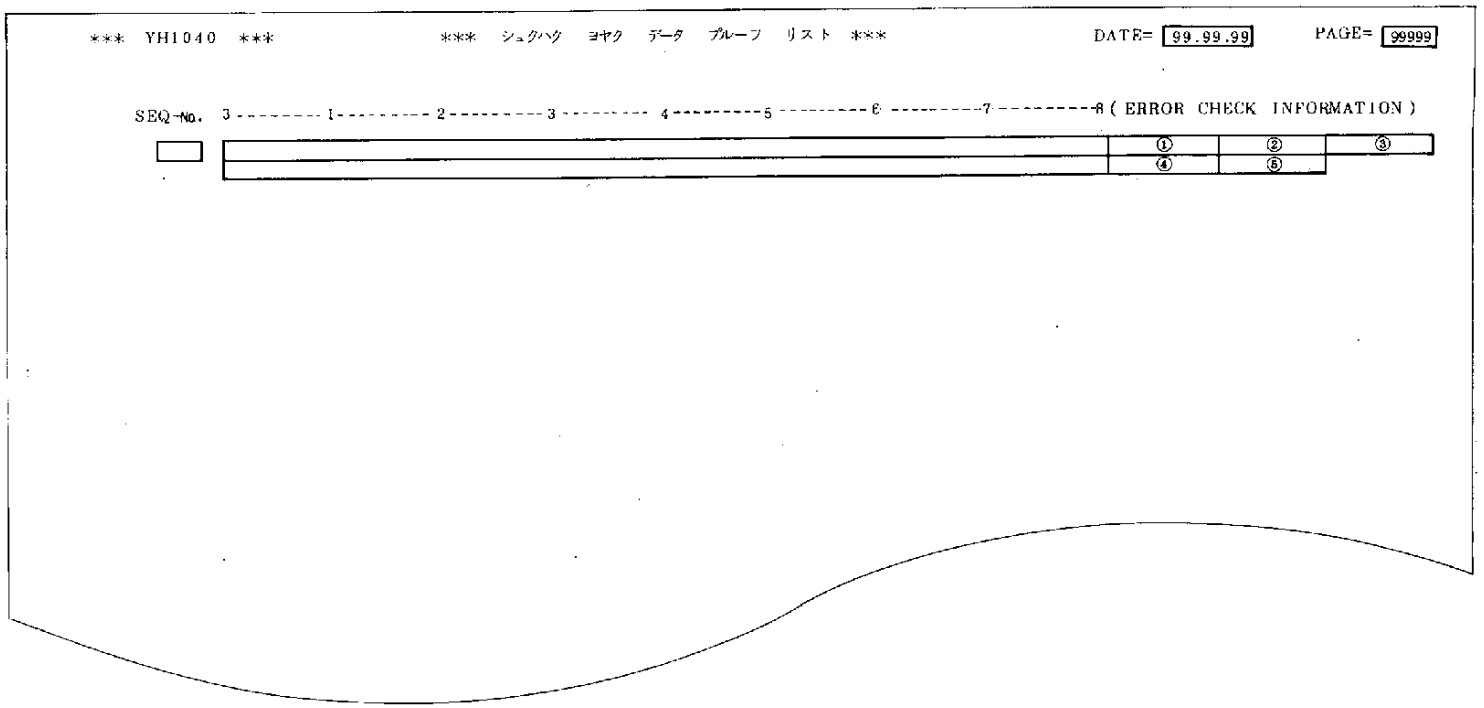
宿泊予約データの予約情報から，予約ファイル・レコードの編集処理を行なう。

④ データ・チェック・モジュール （YH1070）

宿泊予約データの予約情報のエラーチェック

(4) プログラムの流れ

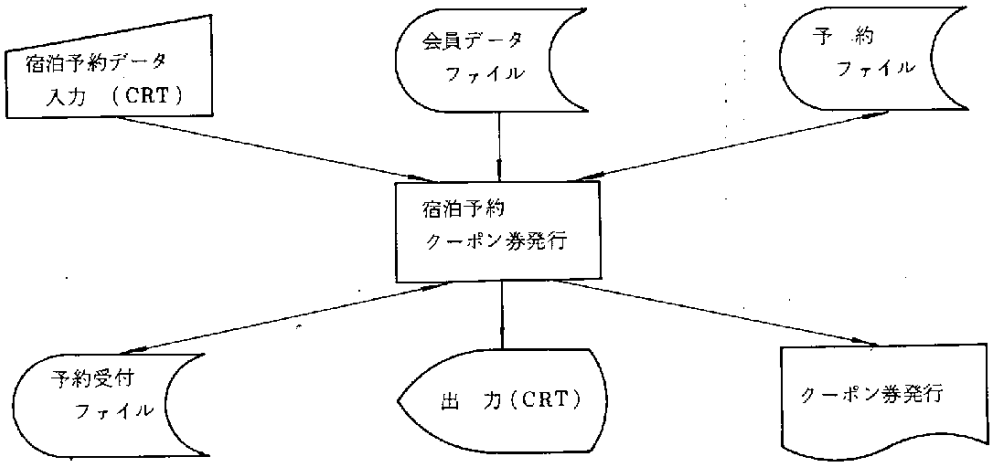

予約受付ファイル
作 成
予約受付ファイル
の初期化
2
宿泊予約データ
の読込
E N D
会員ファイル
読 込
エラー
エラー
予約ファイル
読 込
エラー情報設定
（１受付分）
データ・チェック
プルーフリスト
編 集
プルーフ出力
Yes
エラー有無
No
1
1
予約受付ファイル
読 込
予約受付ファイル編集
予約受付ファイル
書出し
予約ファイル
読 込
予約ファイル編集
予約ファイル
書出し
No
１受付分
終了か？
Yes
2


*** YH1040 ***
*** シュクハク ヨヤク データ プルーフ リスト ***
DATE= 99.99.99
PAGE= 99999
SEQ-No. 3---------1---------2---------3---------4---------5---------6---------7---------8 (ERROR CHECK INFORMATION)
①
②
③
④
⑤

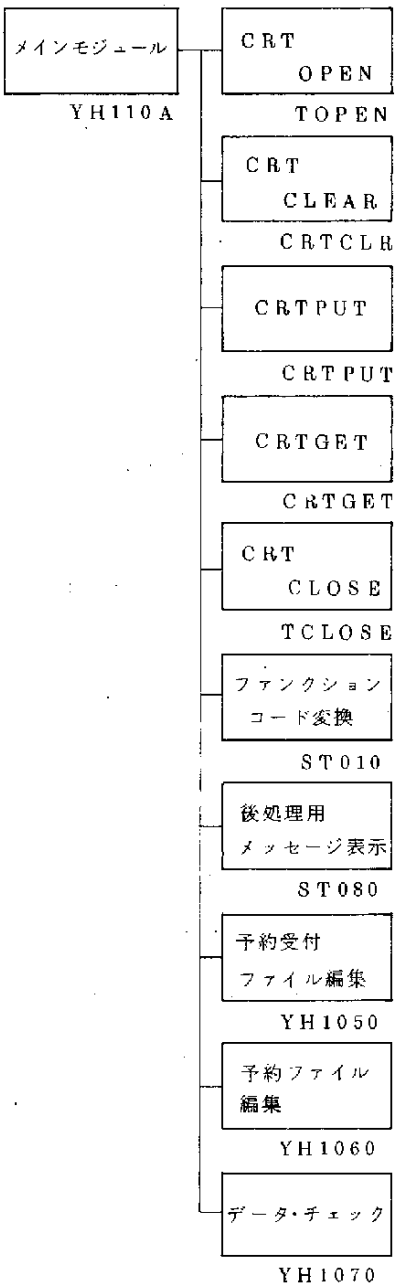
ホ）宿泊予約・クーポン発行　（YH1100）

(1)　処理概要

CRT から入力された宿泊予約データから予約受付ファイル，および予約ファイルを更新し，予約受付完了であればクーポン券を発行する。



(2) プログラムの構造


メインモジュール
YH110A
CRT OPEN
TOPEN
CRT CLEAR
CRTCLR
CRTPUT
CRTPUT
CRTGET
CRTGET
CRT CLOSE
TCLOSE
ファンクション コード変換
ST010
後処理用 メッセージ表示
ST080
予約受付 ファイル編集
YH1050
予約ファイル 編集
YH1060
データ・チェック
YH1070

(3) モジュールの機能概要

① メイン・モジュール （YH110A）

CRT 画面に入力された宿泊予約データに正誤チェックを施し，正当性が確認されたら予約受付ファイル，予約ファイルを更新する。

また，同時に予約クーポン券も発行する。

② CRT－OPEN モジュール （TOPEN）

CRT 端末の占有

③ CRT－CLEAR モジュール （CRTCLR）

CRT 画面バッファの内容クリア

④ CRT－PUT モジュール （CRTPUT）

CRT 画面へのデータ表示

⑤ CRT－GETモジュール （CRTGET）

CRT 画面データの入力

⑥ CRT－CLOSE モジュール （TCLOSE）

CRT 端末の占有解除

⑦ ファンクション・コード変換 （ST010）

ファンクション・コードのコード変換

⑧ 後処理用メッセージ表示 （ST080）

画面処理終了のためのメッセージ表示

⑨ 予約受付ファイル編集 （YH105A）

宿泊予約データを予約受付ファイル・レコード形式に編集する。

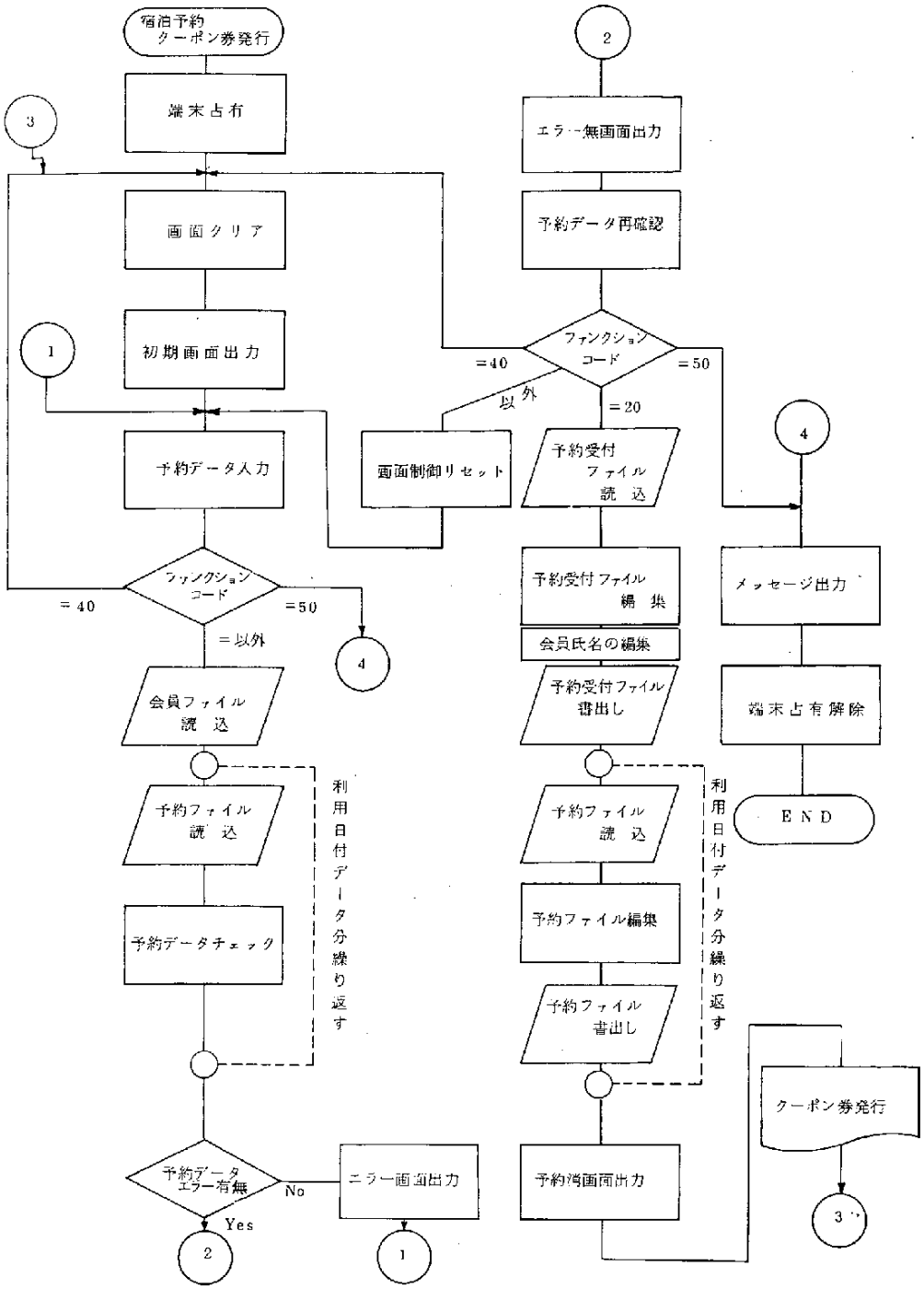
⑩ 予約ファイル編集 （YH106A）

宿泊予約データを予約ファイル・レコード形式に編集する。

⑪ データチェック （YH107A）

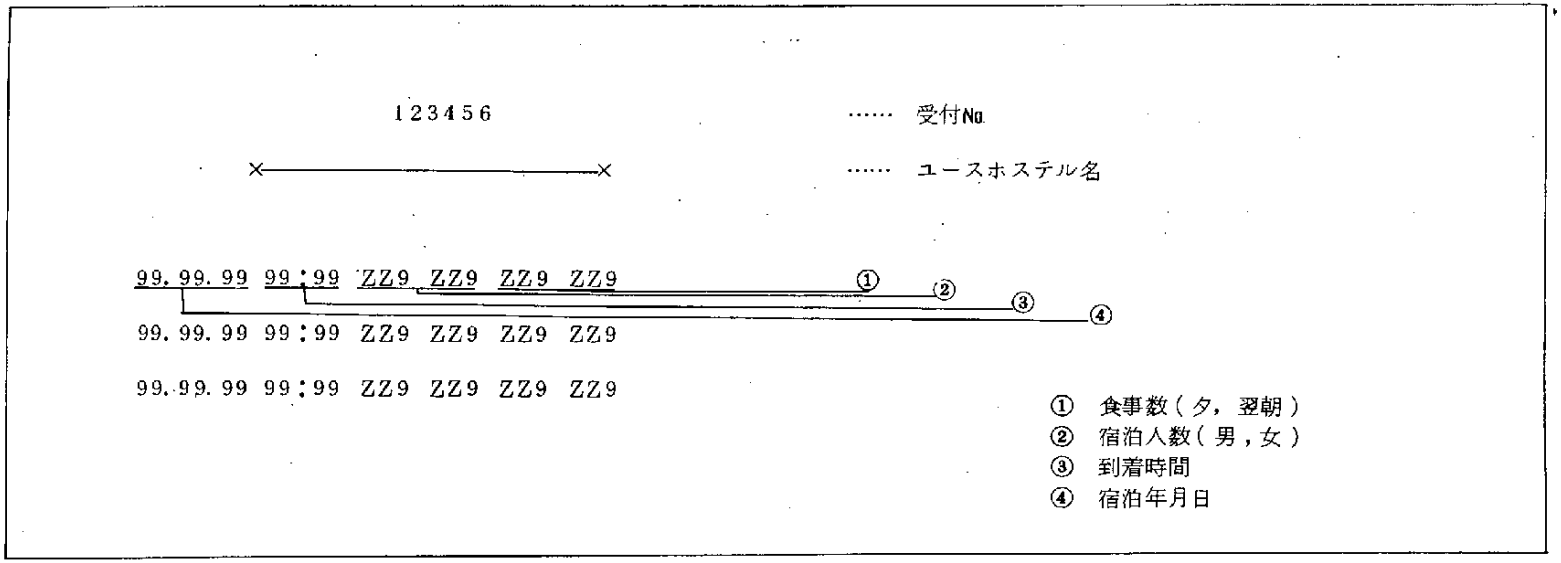
宿泊予約データの正誤チェック

(4) プログラムの流れ


宿泊予約
クーポン券発行
端末占有
3
画面クリア
1
初期画面出力
予約データ入力
ファンクション
コード
=40
=50
=以外
4
会員ファイル
読込
予約ファイル
読込
予約データチェック
利用日付データ分繰り返す
予約データ
エラー有無
No
Yes
エラー画面出力
2
1
2
エラー無画面出力
予約データ再確認
ファンクション
コード
=40
=50
以外
=20
画面制御リセット
予約受付
ファイル
読込
予約受付ファイル
編集
会員氏名の編集
予約受付ファイル
書出し
予約ファイル
読込
予約ファイル編集
予約ファイル
書出し
利用日付データ分繰り返す
予約済画面出力
4
メッセージ出力
端末占有解除
END
クーポン券発行
3

ＹＨ　宿　泊　予　約　券

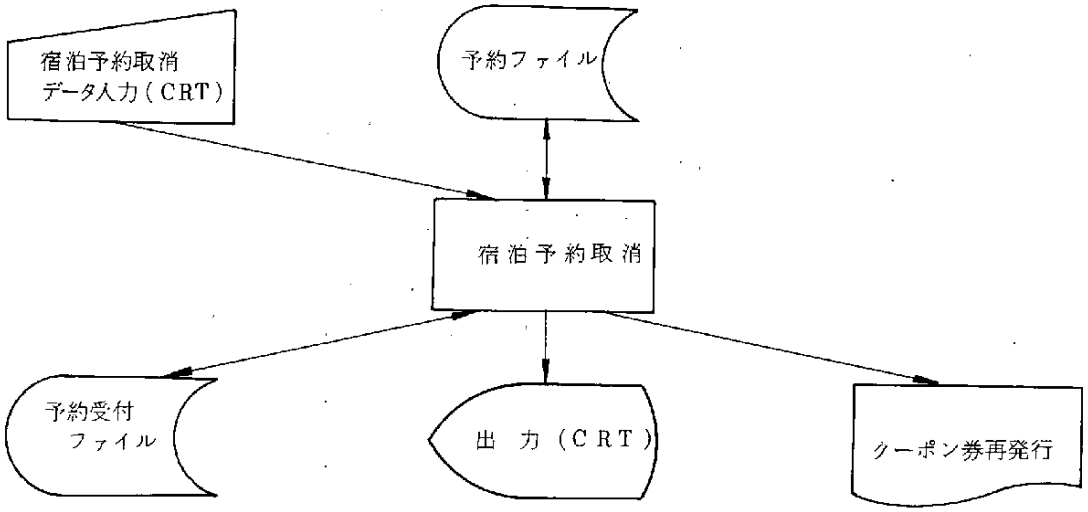
ＹＨ宿泊予約券　　Ｅ０１００１　　宿泊予約クーポン券発行　　ＹＨ１１００



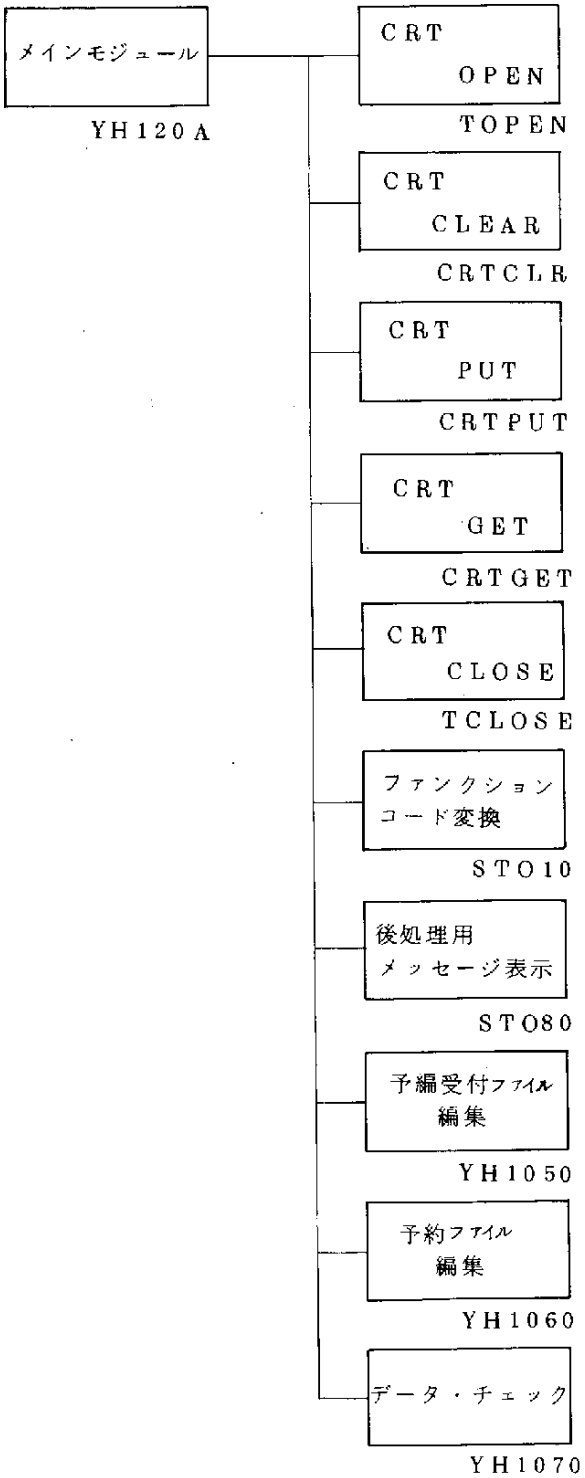
へ）宿泊予約取消　（YH1200）

(1)　処理概要

ＣＲＴ から入力された宿泊予約取消データから予約受付ファイル，および予約ファイルの該当データを更新し，宿泊が有る場合はクーポン券の再発行をする。



(2) プログラムの構造


メインモジュール
YH120A
CRT OPEN
TOPEN
CRT CLEAR
CRTCLR
CRT PUT
CRTPUT
CRT GET
CRTGET
CRT CLOSE
TCLOSE
ファンクション コード変換
STO10
後処理用 メッセージ表示
STO80
予編受付ファイル 編集
YH1050
予約ファイル 編集
YH1060
データ・チェック
YH1070

(3) モジュールの機能概要

① メイン・モジュール （YH120A）

CRT 画面にキー入力された宿泊予約取消データに正誤チェック を施し，正当性が確認された場合に，予約受付ファイルおよび予約ファイルを更新する。

また，同時に必要に応じてクーポン券の再発行を行なう。

② CRT－OPEN モジュール （TOPEN）

CRT 端末の占有

③ CRT－CLEAR モジュール （CRTCLR）

CRT 画面バッファの内容クリア

④ CRT－PUT モジュール （CRTPUT）

CRT 画面へのデータ表示

⑤ CRT－GET モジュール （CRTGET）

CRT 画面データの入力

⑥ CRT－CLOSE モジュール （TCLOSE）

CRT 端末の占有解除

⑦ ファンクション・コード変換 （ST010）

ファンクション・コードのコード変換

⑧ 後処理用メッセージ表示 （ST080）

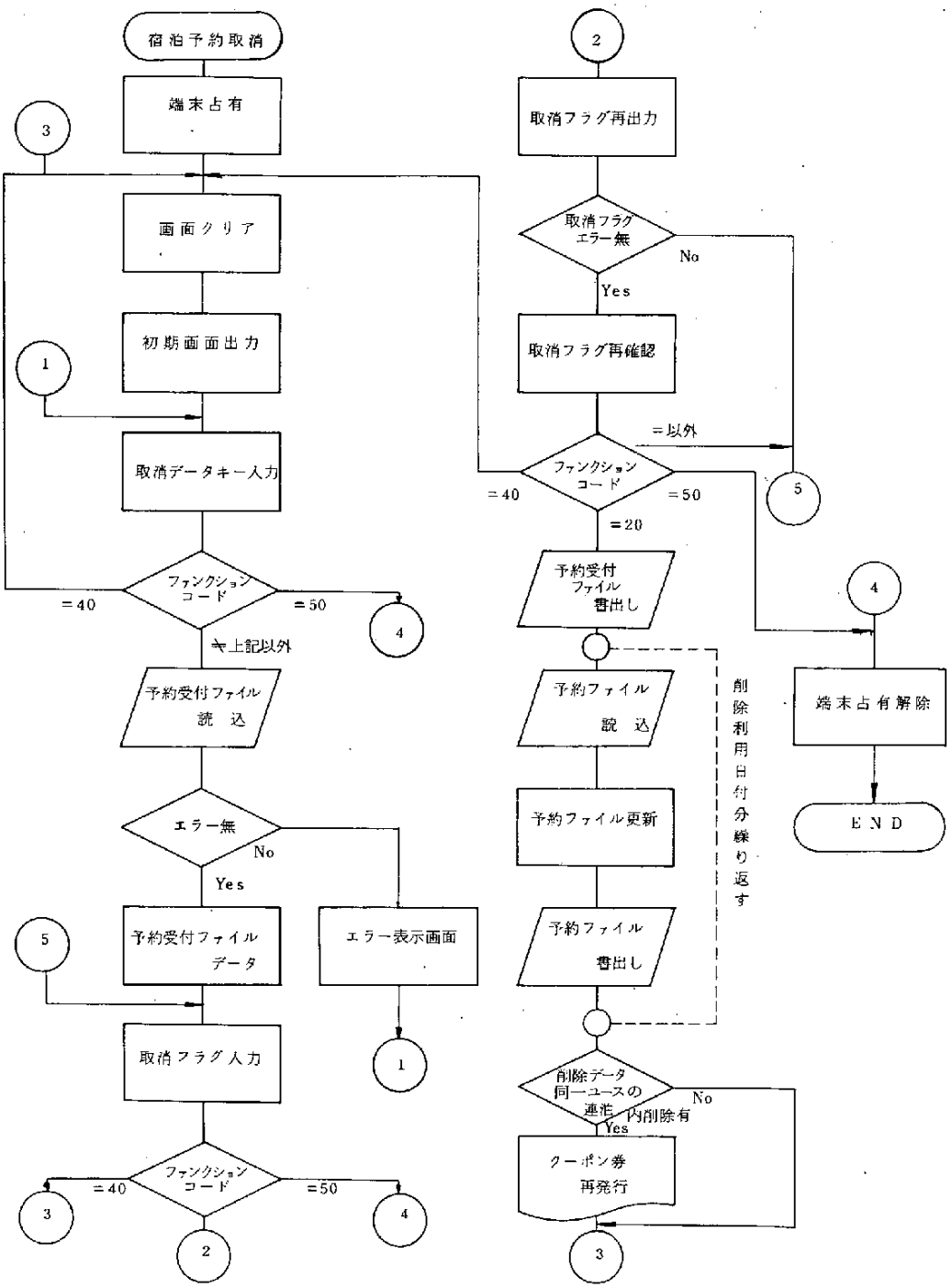
画面処理終了の為のメッセージ表示

⑨ 予約受付ファイル・編集 （YH1050）

⑩ 予約ファイル・編集 （YH1060）

⑪ データ・チェック （YH1070）

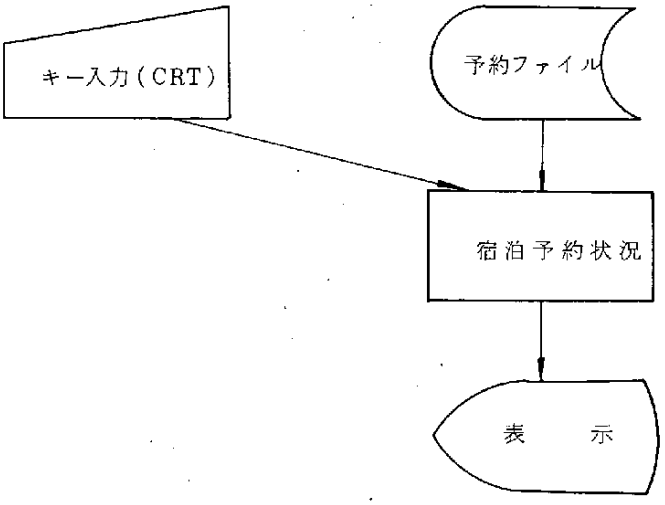
(4)　プログラムの流れ


宿泊予約取消
端末占有
3
画面クリア
初期画面出力
1
取消データキー入力
ファンクション
コード
=40
=50
4
≠上記以外
予約受付ファイル
読込
エラー無
No
Yes
5
予約受付ファイル
データ
エラー表示画面
取消フラグ入力
1
ファンクション
コード
=40
=50
3
4
2
2
取消フラグ再出力
取消フラグ
エラー無
No
Yes
取消フラグ再確認
≠以外
ファンクション
コード
=40
=50
5
=20
予約受付
ファイル
書出し
予約ファイル
読込
予約ファイル更新
予約ファイル
書出し
削除利用日付分繰り返す
削除データ
同一ユースの
連泊内削除有
No
Yes
クーポン券
再発行
3
4
端末占有解除
END

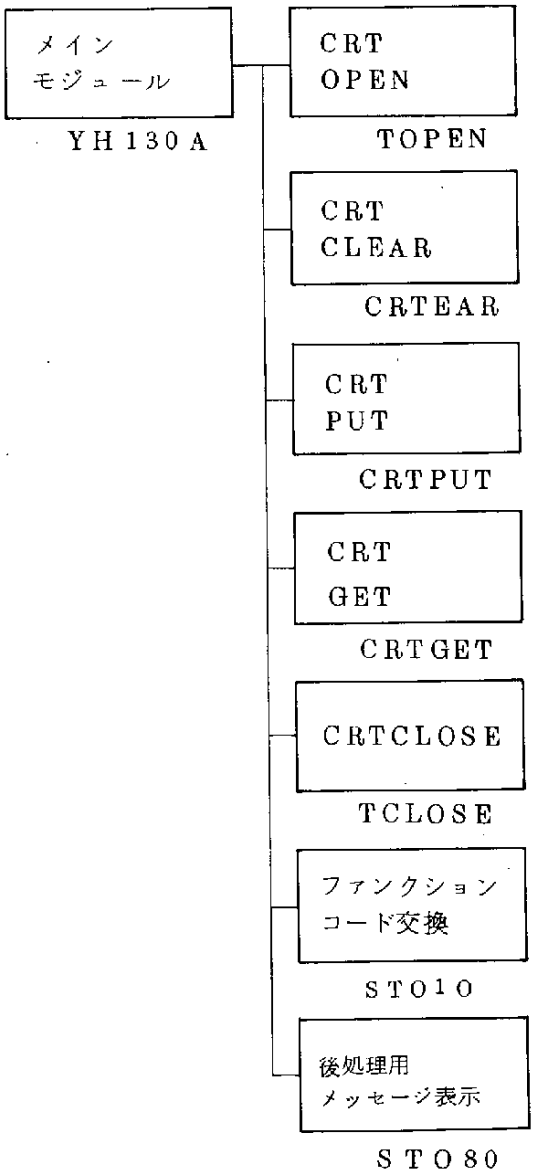
ト）宿泊予約状況問い合せ　（YH1300）

(1)　処理概要

CRT から入力された宿泊予約状況問い合せに関する検索 キー より予約ファイルの該当データを CRT へ表示する。



(2) プログラムの構造


メイン
モジュール
YH130A
CRT
OPEN
TOPEN
CRT
CLEAR
CRTEAR
CRT
PUT
CRTPUT
CRT
GET
CRTGET
CRTCLOSE
TCLOSE
ファンクション
コード交換
STO10
後処理用
メッセージ表示
STO80

(3) モジュール機能概要

① メイン・モジュール （YH130A）

CRT 画面に入力された予約状況照会キー・データを予約ファイルの検索キーとして，予約ファイル・レコードの内容を CRT 画面に表示する。

② CRT－OPEN モジュール （TOPEN）

CRT 端末の占有

③ CRT－CLEAR モジュール （CRTCLR）

CRT 画面バッファの内容クリア

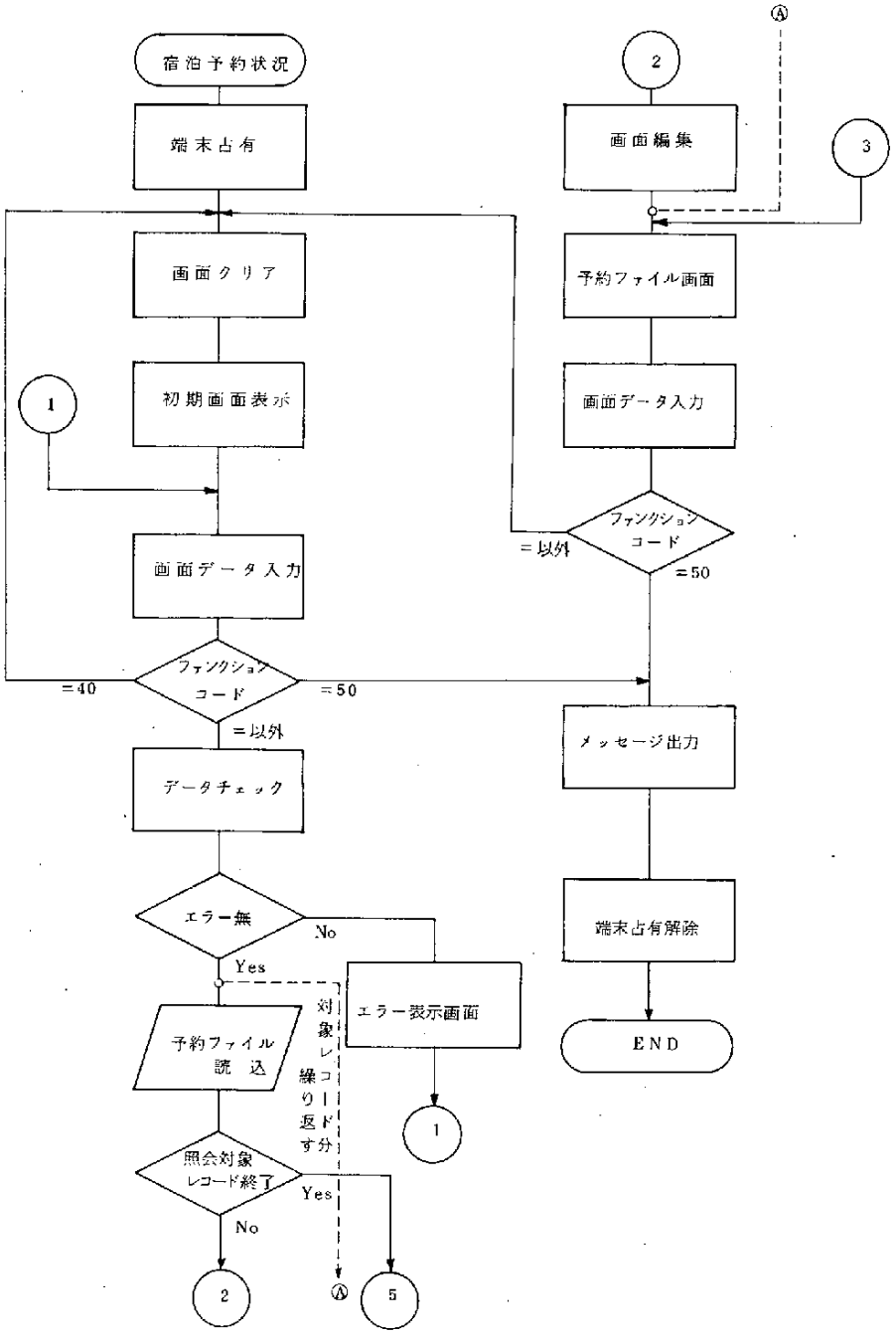
④ CRT－PUT モジュール （CRTPUT）

CRT 画面へのデータ表示

⑤ CRT－GET モジュール （CRTGET）

CRT 画面データの入力

(4) プログラムの流れ


宿泊予約状況
端末占有
画面クリア
初期画面表示
1
画面データ入力
ファンクションコード
=40
=50
=以外
データチェック
エラー無
No
Yes
予約ファイル読込
照会対象レコード終了
Yes
No
2
5
対象レコード繰り返す分
エラー表示画面
1
2
画面編集
3
予約ファイル画面
画面データ入力
ファンクションコード
=以外
=50
メッセージ出力
端末占有解除
END

2) モジュール仕様

イ) 宿泊予約・クーポン発行メイン・モジュール　(YH110A)

(1) 機能概要

① 初期処理

② 宿泊予約データ入力，ファンクション・コードチェック

③ 宿泊予約データ・チェック

④ 〃 表示

⑤ 〃 表示画面の再確認

⑥ 予約受付ファイル，予約ファイル更新

⑦ 宿泊予約クーポン券発行

⑧ 終了処理

(2) 受け渡し場所

① 呼ぶモジュール

	呼び名	モジュール名	受け渡し場所	情報区分
1	CRT−OPEN	TOPEN	メッセージ・コントロール・ブロック	iN
2	CRT−CLEAR	CRTCLR	メッセージ・コントロール・ブロック 画面クリア・パラメータ	iN iN
3	CRT−PUT	CRTPUT	メッセージ・コントロール・ブロック フィールド定義テーブル データ・エリア	iN iN/OUT
4	CRT−GET	CRTGET	メッセージ・コントロール・ブロック フィールド定義テーブル データ・エリア	iN iN/OUT OUT
5	CRT−CLOSE	TCLOSE	メッセージ・コントロール・ブロック	iN
6	ファンクション・コード変換	ST010	コード変換エリア	iN/OUT

	呼　び　名	モジュール名	受け渡し場所	情報区分
7	後処理用 メッセージ表示	ST080	メッセージ・コントロール・ブロック	iN
8	予約受付ファイル・編集	YH1050	共通領域 予約受付ファイル・レコード	iN iN／OUT
9	予約ファイル・編集	YH1060	共通領域 予約ファイル・レコード 処理ポインタ	iN iN／OUT OUT
10	データ・チェック	YH1070	共通領域 予約ファイル・レコード チェック情報領域 処理ポインタ	iN iN／OUT iN／OUT OUT

(3)　処理条件

①　初期処理

ⓐ　会員ファイル，予約ファイル，予約受付ファイルのオープン，CRT端末占有

ⓑ　CRT データエリア（固定値）の退避

ⓒ　CRT の画面バッファ消去

CRT データエリアの初期値化（①ⓑの退避データ格納）

ⓓ　システム日付の設定

CRT データエリアへの編集

ⓔ　初期画面表示

Ⓘ　全画面を表示対象とする。

Ⓘ　ヘッダー情報変更

- 出力後カーソル位置……ファンクション・コード入力フィールド
- 処理開始項目№
- 〃 終了 〃

} 全画面入力フィールド

② 宿泊予約データの入力

ⓐ 入力条件設定と入力

入力対象項目

- ファンクション・コード
- 会員番号
- 利用年月日，ユース・ホステルコード，男女人数
- 夕・朝食数，到着時刻

ⓑ ファンクション・コード判定

① ファンクション・コードがスペースなら③項へ分岐する。

② ファンクション・コードのコード変換

③ ②の復帰情報に依る処理分岐条件

No.	ファンクション変換後，コード	処　理	分　岐　先
1	＝ '40'	打切	①　ⓒ
2	＝ '50'	終了	⑪
3	上記１，２以外		③

③ 会員番号の正当性チェック

ⓐ 会員番号のNUMERiC（数字）チェック

NUMERiCでなければチェック情報にフラグを付与し，④項へ分岐する。

ⓑ 会員番号の範囲，および登録済チェック

会員ファイルを入力し，検索キーがエラーならばチェック情報にフラグを付与し，④項へ分岐する。

④ 宿泊予約データのチェック

ⓐ 処理ポインタの設定

ⓑ 予約ファイルの読込み

エラーであればチェック情報にフラグを付与する。

ⓒ　データチェック・ルーチンの呼び出し

ⓓ　CRT データエリアの利用日が終了する迄，④項の処理を繰り返す。

ⓔ　宿泊予約データ再入力のためのフィールド定義情報の再設定

- 全項目のアンプロテクト
- 入力対象は全項目対象とする
- 画面表示ルーチンの呼び出し後，②項へ分岐する。

⑤　宿泊予約データのチェック済画面の表示

ⓐ　CRT データエリアへのデータ編集

受　け　項　目	送　り　項　目
CRTPUTのデータエリア	CRTデータエリア
該　　当　　部	入　力　項　目
〃	ホステルコードに対する 名称（予約F上）
'NO' 'OK'	チェック情報に依る （　　） エラーフラグチェック (1)　エラー有　（＝1） (2)　エラー無　（＝0）

ⓑ　チェック・エラー処理

①　エラー表示はチェック・エラー項目を対象とする。

②　フィールド定義情報内変更フィールドの変更

ⓒ　チェック正常処理

①　正常データ表示はチェック情報のエラーフラグが全て'0'の場合を対象とする。

②　フィールド定義情報内変更フィールドの変更

ⓓ　表示データのエラー有無による処理分岐

チェック情報のエラーフラグがＡＬＬ'０'であれば⑥項へ分岐する。

否であれば前記設定条件で，エラー画面表示ルーチンを呼び②項へ分岐する。

⑥　宿泊予約データの再確認

ⓐ　フィールド定義情報の再設定

- 全項目のプロテクト
- 入力対象はファンクション・コードのみとする。

ⓑ　ファンクション・コードの入力

ⓒ　ファンクション・コード判定

ⓘ　ファンクション・コードがスペースなら④項へ分岐する。

ⓙ　ファンクション・コードのコード変換

ⓚ　ⓙの復帰情報に依る処理分岐条件

No.	ファンクション変換後，コード	処　理	分　岐　先
1	＝'４０'	打 切	①ⓒ
2	＝'５０'	終 了	⑪
3	＝'２０'	発 行	⑦
4	上記 1, 2, 3 以外		⑥ⓒ

⑦　予約受付ファイルの更新

ⓐ　予約受付ファイルの入力

ⓑ　予約受付ファイル・レコードの編集

ⓘ　予約受付ファイル編集ルーチンを呼ぶ

ⓙ　会員名の編集

ⓒ　予約受付ファイル・レコードの出力

⑧　予約ファイルの更新

利用日付データ分，繰り返す。

ⓐ 予約ファイルの入力

ⓑ 予約ファイル・レコードの編集

(i) 処理ポインタ更新

(ii) 予約ファイル編集ルーチンを呼ぶ

ⓒ 予約ファイル・レコードの出力

⑨ 宿泊予約済処理

ⓐ 宿泊予約済データの画面表示（受付番号付加）

ⓑ 宿泊予約クーポン発行

受け項目	送り項目
クーポン券出力エリア	予約受付ファイル・レコード内容
該当領域	クーポン券該当項目

⑩ ①ⓒへ分岐する。

⑪ 宿泊予約クーポン券発行終了処理

ⓐ 予約ファイル，予約受付ファイルのクローズ

ⓑ 後処理用終了メッセージ表示

ⓒ CRT 端末の占有解除

⑫ プログラム終了

ロ) 宿泊予約取消メイン・モジュール（YH120A）

(1) 機能概要

① 初期処理

② 宿泊予約取消データ・キー入力，ファンクション・コード・チェック

③ 宿泊予約取消データ・チェック

④ 〃 表示

⑤ 〃 表示画面の再確認

⑥ 予約受付ファイル，予約ファイル更新

⑦　宿泊予約クーポン券の再発行

⑧　終了処理

(2)　受け渡し場所

①　呼ぶモジュール

	呼　び　名	モジュール名	受け渡し場所	情報区分
1	CRT−OPEN	TOPEN	メッセージ・コントロール・ブロック	iN
2	CRT−CLEAR	CRTCLR	メッセージ・コントロール・ブロック 画面クリア・パラメータ	iN iN
3	CRT−PUT	CRTPUT	メッセージ・コントロール・ブロック フィールド定義テーブル データ・エリア	iN iN／OUT
4	CRT−GET	CRTGET	メッセージ・コントロール・ブロック フィールド定義テーブル データ・エリア	iN iN／OUT OUT
5	CRT−CLOSE	TCLOSE	メッセージ・コントロール・ブロック	iN
6	ファンクション ・コード変換	ST010	コード変換エリア	iN／OUT
7	後処理用 メッセージ表示	ST080	メッセージ・コントロール・ブロック	iN
8	予約受付ファイル 編集	YH1050	共通領域 予約受付ファイル・レコード	iN iN／OUT
9	予約ファイル 編集	YH1060	共通領域 予約ファイル・レコード 処理ポインタ	iN iN／OUT OUT
10	データ・チェック	YH1070	共通領域 予約ファイル・レコード チェック情報領域 処理ポインタ	iN iN／OUT iN／OUT OUT

(3) 処理条件

① 初期処理

ⓐ 予約ファイル，予約受付ファイルのオープン処理

ⓑ CRT データ・エリア（固定値）の退避

ⓒ CRT の画面バッファ消去

CRT データ・エリアの初期値化

（①ⓑ項の退避データ格納）

ⓓ システム日付の設定

CRT データ・エリアへの編集

ⓔ 初期画面表示

② 宿泊予約取消データの入力

ⓐ 入力条件設定とキー入力

入力対象項目（初期画面）

No.	入力対象項目
1	ファンクション･コード
2	会員番号
3	予約受付番号

ⓑ ファンクション・コード変換

ⓘ スペースのとき，③項へ分岐する。

ⓙ スペース以外のとき，コード変換処理を行う。

ⓚ ⓙの復帰情報による処理分岐条件

No.	ファンクション変換後，コード	処　理	分　岐　先
1	＝'40'	打 切	① ⓒ
2	＝'50'	終 了	⑪
3	上記1，2以外		③

③　会員番号及び予約受付番号の正当性チェック

ⓐ　NUMERiC チェック

NUMERiC 以外であれば，チェック情報を設定し，④項へ分岐する。

ⓑ　予約受付ファイルの登録済チェック

予約受付番号を検索 キー として，予約受付ファイルを参照し，参照エラーであれば，チェック情報を設定し，④項へ分岐する。

チェック OK の場合，⑤項へ分岐する。

④　エラー画面表示処理

⑤　予約受付ファイル・データの画面表示

ⓐ　CRT データ・エリアへのデータ編集

受　け　項　目	送　り　項　目
CRT　PUT のデータ・エリア	CRT データ・エリア
該　当　部	キー入力の｛会員番号 / 予約受付番号
〃	予約受付ファイルの該当項目

ⓑ　画面表示

ⓒ　取消フラグ・キー入力

ⓓ　ファンクション・コード変換

①　スペースのとき，⑥項へ分岐する。

②　スペース以外コード変換処理を行う。

③　②の復帰情報による分岐処理

No.	ファンクション変換後，コード	処　理	分　岐　先
1	＝'40'	打切	① ⓒ
2	＝'50'	終了	⑪
3	上記 1，2 以外		③

⑥　取消フラグ表示画面の再出力

ⓐ　画面表示（'*'表示を付加）

ⓑ　取消フラグのエラー判定

(i)　正常であれば，⑥ⓒ項へ分岐する。

(ii)　エラーであれば，⑤ⓒ項の取消フラグ・キー入力処理へ分岐する。

ⓒ　取消フラグ再確認

プロテクト（ALL）入力エリア

ⓓ　ファンクション・コード変換

(i)　スペースのとき，⑦項へ分岐する。

(ii)　スペース以外コード変換処理を行なう。

(iii)　(ii)の復帰情報による分岐処理

No.	ファンクション変換後，コード	処　理	分　岐　先
1	＝'40'	打切	① ⓒ
2	＝'50'	終了	⑪
3	＝'20'	継続	⑦
4	上記 1，2，3 以外		⑤ ⓒ

⑦　予約受付ファイルの更新処理

ⓐ　予約受付ファイル・レコードの編集

ⓑ　予約受付ファイル・レコードの出力

⑧　予約ファイルの更新処理

ⓐ　予約ファイルの読込み

ⓑ　予約ファイル・レコード編集

ⓒ　予約ファイル・レコードの出力

ⓓ　上記，消除利用日付分処理を行なう。

⑨　宿泊予約クーポン券の再発行

受　け　項　目	送　り　項　目
クーポン券出力エリア	予約受付ファイル・レコード内容（WK）
該　当　領　域	クーポン券該当項目

⑩　①ⓒへ分岐する。

画面初期状態へ戻る。

⑪　終了処理

ⓐ　予約ファイル，予約受付ファイルのクローズ

ⓑ　後処理用終了メッセージ表示

ⓒ　CRT 端末の占有解除

ⓓ　プログラム終了

ハ) 宿泊予約状況問い合せメイン・モジュール （YH130A）

(1) 機能概要

① 初期処理

② 宿泊予約情況問い合せキー，およびファンクション・コード入力

③ 入力データ・チェック

④ 宿泊予約情況データの読み込み，画面編集

⑤ 〃 の画面表示

⑥ 宿泊予約情況問い合せ継続判定

⑦ 本プログラム終了処理

(2) 受け渡し場所

① 呼ぶモジュール

	呼び名	モジュール名	受け渡し場所	情報区分
1	CRT−OPEN	TOPEN	メッセージ・コントロール・ブロック	iN
2	CRT−CLEAR	CRTCLR	メッセージ・コントロール・ブロック 画面クリア・パラメータ	iN iN
3	CRT−PUT	CRTPUT	メッセージ・コントロール・ブロック フィールド定義テーブル データ・エリア	iN iN/OUT
4	CRT−GET	CRTGET	メッセージ・コントロール・ブロック フィールド定義テーブル データ・エリア	iN iN/OUT OUT
5	CRT−CLOSE	TCLOSE	メッセージ・コントロール・ブロック	iN
6	ファンクション ・コード変換	ST010	コード変換エリア	iN/OUT
7	後処理用 メッセージ表示	ST080	メッセージ・コントロール・ブロック	iN

(3) 処理条件

① 初期処理

ⓐ 予約ファイルのオープン，CRT 端末占有

ⓑ CRT データ・エリア（固定値）の退避

ⓒ CRT の画面バッファ消去

CRT データ・エリアの初期値化（①ⓑの退避データ格納）

ⓓ システム日付の設定

CRT データ・エリアへの編集

ⓔ 初期画面表示

(i) 画面の1 LiNE～2 LiNE目迄を表示対象とする。

(ii) ヘッダー情報変更

- 出力後カーソル位置……ファンクション・キー入力
- 処理開始項目〃
- 〃 終了 〃

} 全画面入力フィールド

② 宿泊予約状況問い合せキーの入力

ⓐ 入力条件設定と入力

(i) 入力対象項目

- ファンクション・コード
- 年月日
- ブロック及び支部コード

(ii) ヘッダー情報変更

- 処理開始項目〃
- 〃 終了 〃

ⓑ ファンクション・コード判定

(i) ファンクション・コードがスペースなら，③項へ分岐する。

(ii) ファンクション・コードのコード変換処理を行う。

(iii) (ii)の復帰情報に依る処理分岐条件

No.	ファンクション変換後，コード	処　理	分　岐　先
1	＝'40'	打切	① ⓒ
2	＝'50'	終了	⑦
3	上記 1，2 以外	-	③

③　入力データ・チェック

ⓐ　チェック条件

CRT データ・エリア	チェック条件
年　月　日	1.　数字である。 2.　月が 1 月～12 月である。 3.　月別の最大日数の範囲である。
ブロック，支部コード	1.　数字である。

ⓑ　チェック・エラー処理

①　エラー表示はチェック・エラー項目を対象とする。（エラー・メッセージ出力指定）

②　フィールド定義情報内変更フィールドの変更

③　画面表示ルーチンを呼び出し後，再入力のために②項へ分岐する。

④　宿泊予約情況データの入力と画面編集

ⓐ　宿泊予約状況問い合せキー・データを検索キーとして，該当する全レコードを入力対象とする。

ⓑ　該当レコードの終了判定

①　レコード終了時（ END マーク検出時）

②　ブロック・支部コード　≒　ブロック・支部コード

（検索キー）　　（入力レコード）

③　①，②いづれかの条件が成立すると，⑤項へ分岐する。

ⓒ 表示画面のためのデータ編集

① 本処理は１ホステル（１レコード）分，処理する。

受け項目		送り項目
CRT PUTのデータ・エリア		予約ファイル対象レコード
タイトル部	ユース・ホステルチク部名称	ユース・ホステルコード（ブロック・支部コード）
	年　月　日	年　月　日
ディテール部	談　当　部	ユース・ホステルコード
		ユース・ホステル名
		宿泊予約可能人員（男）
		〃　予約済　〃　（男）
		〃　予約可能人員（女）
		〃　予約済　〃　（女）
		〃　予約可能人員（男＋女）
		〃　予約済　〃　（男＋女）
		食事予約提供可否

② ファイル定義テーブルへの設定

ヘッダー情報

- 処理開始項目№
- 〃 終了 〃 （編集毎に更新）
- 出力後カーソル位置（ファンクション・コード入力フィールド）

変更フィールド

- プロテクトする

③ データ編集のための制御情報設定

画面表示データ・エリアへの編集位置

④ 予約ファイルの次対象レコード入力処理④項へ分岐する。

⑤　予約情況画面の表示

①　画面の1 LiNE～25 LiNE 目迄を表示対象とする。

②　変更フィールド

・　プロテクト（ALL プロテクト）

但し，ファンクション部除く。

⑥　宿泊予約情況問い合せ処理の継続判定

ⓐ　入力条件設定と入力

①　入力対象項目

・　ファンクション・コード

ⓑ　ファンクション・コード判定

①　ファンクション・コードがスペースなら①ⓒへ分岐する。

②　スペース以外ならファンクション・コードのコード変換処理を行う。

③　②の復帰情報に依る処理分岐条件

No.	ファンクション変換後のコード	処　理	分　岐　先
1	＝'50'	終了	⑦
2	1 以外	続行	① ⓒ

⑦　宿泊予約情況問い合せ終了処理

ⓐ　予約ファイルのクローズ

ⓑ　後処理用終了メッセージ表示

ⓒ　CRT 端末占有解除

⑧　プログラム終了

結　　び

本年度，昨年度実施した社会福祉関連機関等の調査・情報システム構築のためのモデル機関の選定・情報システムの基本構想の検討および概略設計に引続きその成果をもとに，システム設計・その一部について実験モデル・システムとしてプログラムを作成しました。

しかし，将来の実用化に際しては，ハードウェア特に端末装置・通信回線を含むコンピュータ機器の設備投資資金の確保・運用者サイド（ユース・ホステル協会，ホステル，案内所）の運用体制の整備が必要であります。さらに本情報システム研究開発の成果を踏えて実用化システム開発のための開発体制・開発要員の確保が必要であり，これらの条件が揃うことが不可欠であります。

なお，実用化システムが開発され，全国にあるユース・ホステル協会，ホステル，案内所等約1000の施設が，情報ネットワークにより緊密な連繋を持って運営された暁には，運営の合理化・サービスの向上等に多大な効果を発揮するとともに，青少年の旅行意欲を高揚し社会教育的意義はきわめて高いと考えます。

付録　図番表番一覧表

付　録　　図　番　一　覧　表

図番号	名称	頁
図1－3－1	宿泊情報管理システム処理概念図	4
1－3－2	宿泊予約状況問い合せ処理概念図	7
1－3－3	宿泊予約・クーポン発行処理概念図	8
1－3－4	宿泊予約取消処理概念図	9
1－3－5	宿泊予約変更処理概念図	10
1－3－6	行事予約処理概念図	11
1－3－7	行事予約取消・変更処理概念図	12
図2－1－1	ユース・ホステル別，日別予約状況処理入力例	16
2－1－2	ユース・ホステル別，日別予約状況表示例	16
2－1－3	ユース・ホステル別，日別予約状況処理システム・フロー	17
2－1－4	日別，地区ユース・ホステル別予約状況処理入力例	18
2－1－5	日別，地区ユース・ホステル別予約状況表示例	18
2－1－6	日別，地区ユース・ホステル別予約状況処理システム・フロー	19
2－1－7	行事予約状況問い合せ処理入力例	20
2－1－8	行事予約状況問い合せ処理表示例	20
2－1－9	行事予約状況問い合せ処理システム・フロー	22
2－1－10	宿泊予約・クーポン発行処理入力例	23
2－1－11	宿泊予約処理入力フォーマット	24
2－1－12	宿泊予約処理データ入力例	24
2－1－13	宿泊予約・クーポン発行処理システム・フロー	27
2－1－14	宿泊予約取消処理入力例－1	28
2－1－15	宿泊予約取消処理表示例	29
2－1－16	宿泊予約取消処理入力例－2	29

図番号	名称	頁
図 2－1－17	宿泊予約取消処理システム・フロー	31
2－1－18	宿泊予約変更処理入力例－1	32
2－1－19	宿泊予約変更処理表示例	33
2－1－20	宿泊予約変更処理入力例－2	33
2－1－21	宿泊予約変更処理システム・フロー	35
2－1－22	行事予約処理入力例－1	36
2－1－23	行事予約処理入力フォーマット	37
2－1－24	行事予約処理入力例－2	37
2－1－25	行事予約処理システム・フロー	39
2－1－26	行事予約取消・変更処理入力例－1	40
2－1－27	行事予約取消・変更処理表示例	41
2－1－28	行事予約取消・変更処理入力例－2	41
2－1－29	行事予約取消・変更処理システム・フロー	43
2－1－30	予約データ・ファイル修正処理入力例－1	44
2－1－31	予約データ・ファイル修正処理表示例－1	45
2－1－32	予約データ・ファイル修正処理入力例－2	45
2－1－33	予約データ・ファイル修正処理表示例－2	46
2－1－34	予約データ・ファイル修正処理入力例－3	47
2－1－35	予約データ・ファイル修正処理システム・フロー	48
2－1－36	宿泊予約表作成処理システム・フロー	49
2－1－37	ユース・ホステル別予約利用実績表作成処理システム・フロー	50
2－1－38	案内所別処理別利用実績表作成処理システム・フロー	51
2－1－39	案内所別入金集計表作成処理システム・フロー	52
2－1－40	ユース・ホステル別入金集計表作成処理システム・フロー	53
図 2－2－1	キー・ボードのキー配列（案）	55

図番号	名称	頁
図2－2－2	入出力帳票関連図	56
2－2－3	ユース・ホステル宿泊予約・変更申込書の様式	66
2－2－4	行事予約・変更申込書の様式	66
2－2－5	ユース・ホステル宿泊利用予約クーポンの様式	67
2－2－6	宿泊予約表の様式	67
2－2－7	ユース・ホステル別予約利用実績表の様式	68
2－2－8	案内所別処理別利用実績表の様式	69
2－2－9	案内別入金集計表の様式	70
2－2－10	ユース・ホステル別入金集計表の様式	71
図2－3－1	システムとファイル関連図	72
2－3－2	会員データ・ファイルの様式	74
2－3－3(1)	予約データ・ファイルの様式	78
2－3－3(2)	〃	79
2－3－4	経理データ・ファイルの様式	81
2－3－5	予約明細テープの様式	83
2－3－6	処理とデータ・ファイル関連図	85
図3－1－1	実験モデル・システム処理概念図	95
3－1－2	実験モデル・システム概要図	97
3－1－3	会員登録処理フロー	98
3－1－4	ホステル登録処理フロー	99
3－1－5	予約ファイル作成処理フロー	100
3－1－6	宿泊予約状況問い合せ処理フロー	101

図番号	名称	頁
図3－1－7	宿泊予約・クーポン発行処理フロー（その1）	102
3－1－8	〃（その2）	103
3－1－9	宿泊予約取消処理フロー	104

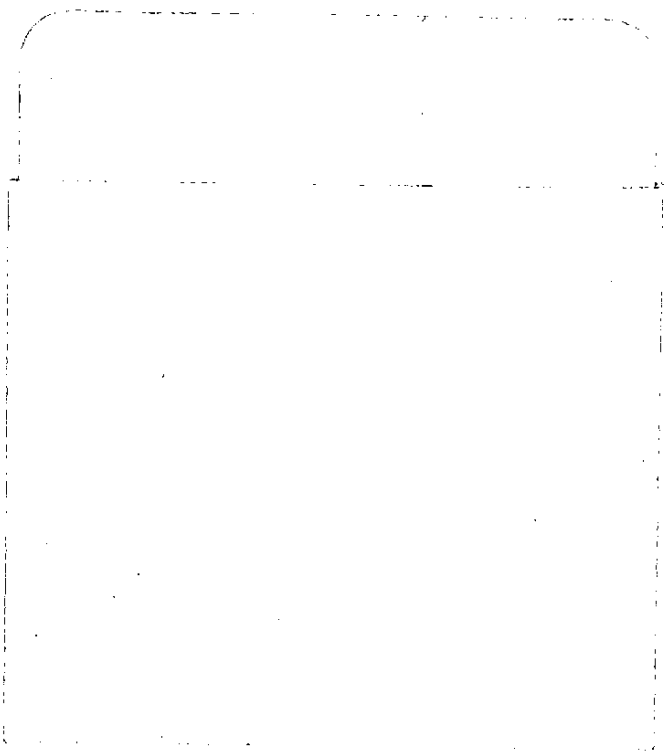
表　番　一　覧　表

表番号	名称	頁
表1－3－1	宿泊情報管理システムの構成	5
表2－1－1	行事の種類	21
表2－2－1	入出力端末装置の基本仕様	54
2－2－2	入出力帳票一覧表	57
2－2－3(1)	入力帳票項目一覧表	58
2－2－3(2)	〃	59
2－2－4(1)	出力帳票項目一覧表	60
2－2－4(2)	〃	61
2－2－4(3)	〃	62
2－2－4(4)	〃	63
2－2－4(5)	〃	64
2－2－4(6)	〃	65
表2－3－1	会員データ・ファイル項目一覧表	73
2－3－2(1)	予約データ・ファイル項目一覧表	76
2－3－2(2)	〃	77
2－3－3	経理データ・ファイル項目一覧表	80
2－3－4	予約明細テープ項目一覧表	82
2－3－5	ファイル編成方式一覧表	86
2－4－1	コード体系一覧表	94
表3－1－1	処理方式と処理対象	96
表3－2－1	プログラム一覧表	106

—— 禁 無 断 転 載 ——

昭 和 55 年 3 月 発 行

発行所　財団法人　日本情報処理開発協会
東京都港区芝公園３丁目５番８号
機 械 振 興 会 館 内
ＴＥＬ（434）８２１１（代表）

印刷所　正　文　社
東京都文京区本郷３丁目３８番１４号
TEL(815)7271 （代表）

54−S 004